

記事の内容

No.1416 二〇一三年九月十五日

一面 自治労第八十六回定期大会（八／二十六～二十八 大阪ホール）

地公賃金 政治対応に議論集中

影響力ある運動へ総務省対策を強化

氏家体制がスタート

豊岡公災認定のたたかいを発言

迅速・公平な補償求める

県人事委へ申し入れ（九／三）

総合的見直しは拙速

指定管理で学習会（三田市職労）

サービス低下が懸念

しこう

いまいち座 憤りの押印 大西英剛

二面 県本部第六十三回定期大会基調（要旨）

職場のたたかい持ち寄ろう

組織強化が重要課題

県本部第六十三回定期大会（案内）

No.1417 二〇一三年十月一日

二面 第十五次沖繩視察団（九／七～九）

強まる沖繩切り捨て

沖繩に学び反基地闘争を強化

沖繩視察団参加者の感想

県民の暮らし脅かす米軍基地

米軍を過剰に優遇 政府の愚行知る

えさきさんが単組訪問（九／十一～十三）

職場の現状を聞く

共済労組からは要請書も

県議会に請願書提出（九／二十四）

地方財政の充実求める

しこう

いまいち座 状況はコントロールされている

おやすみ漫

二面 評議会の総会報告①

町職連協（九／十三 佐用町文化情報センター）

課題確認し、新たな一歩

再任用の制度化を

一三確定で全単組が交渉

公共民間協（九／十四 神戸市フルーツフラワーパーク）

仲間の支援が重要

みのり労組の雇用確保へ

日本ヘルス労組と初交流

委託職場の労安などで議論

現業公企闘争統一行動日は二十五日

九月十八日闘争委員会を発足

新規加盟単組紹介

競走会労組尼崎

公正なレース運営に尽力

No.1418 二〇一三年十月十五日

一面 第六十三回県本部定期大会（九／二十七～二十八 神戸市舞子ビラ）

厳しいからこそ団結を

改憲阻止の運動強める

大野、隅田新副委員長を選出

法人格取得へ規約改正

本多委員長あいさつ

働く者の分岐点となる大会

改憲勢力と抗する

県本部組織内候補

しこう

いまいち座 こんなことにならなければよいが…

吉田ノボ

二面～三面 経過報告 雇用確保、賃下げ阻止に奮闘

経過報告で六人が発言

復興支援できる体制を 兵庫県職労 大西代議員

一時金の水準を守る 尼崎競艇労組 小川代議員

控訴審の支援も 豊岡市職労 川端代議員

労使対等にこだわる 高砂市職 石野代議員

不当な扱いは許さない 全国一般兵庫労組 西川

代議員

三年で雇い止めは不当 相生市職 大道代議員

方針で十二人が発言

賃金の復元めざす 兵庫県職労 金本代議員

総合的見直しに懸念 神戸市従 吹田代議員

共済制度の充実を 市町村共済労組 生駒代議員

市民と「平和」考える 明石市職労 船曳代議員

「憲法たんば」で上映会 丹波市職労 堀内代議員

交通基本法制定めざす 神戸交通労組 平田代議員

特養の民営化で交渉 淡路市職労 谷添代議員

組合費の引き下げを 神戸市職労 門野代議員

自主福祉の強化で要請 高砂市職 山下代議員

青年部の活動発言 豊岡市職労 藤原代議員

図書館の直営守る 三田市職労 前川代議員

非正規の雇用守る 丹波臨職労 南代議員

退任役員

新執行部体制

強まる改憲の動きを許さず、平和・人権・民主主義

を確立するたたかいを強化する決議

二単組の加盟承認

南但広域労組・北播磨ユニオン

評議会の総会報告②

青年部（九／十五 ひょうご共済会館）

新部長に藤原さん

「疲弊した職場を変えよう」

臨職評（十／五 神戸市教育会館）

雇い止め阻止のポイントを学習

女性部（九／十五 ひょうご共済会館）

育休の延伸を復元

取り組みの成果持ち寄る

障労評（九／二十一～二十二 神戸フルーツフラ

ワーパーク）

差別解消法を学ぶ

職場で合理的配慮求めよう

公企評（九／二十一～二十二 淡路市）

苦情処理会議の設置へ

但丹Bの組織化へ努力も

滋賀県あいは野で反対集会（九／三十）

オスプレイ来るな！

No.1419 二〇一三年十一月一日

一面 現業・公企統一闘争

明石・新規採用再開へ

直営堅持へ奮闘

苦情処理設置も一定前進

現業・公企闘争総決起集会（十／十五）

人事院報告に備えよう

対県交渉 現業・公企闘争委員会（十／十 神戸市教育会館）

違法の放置許さない

苦情処理、シルバーの実態追及

青年女性交流会

「仕事に誇りを持つ」

要求の根拠づくりが重要

西脇・村井さん 無投票で二期目当選

神戸など全推せん候補が当選

SAYAMAみえない手錠をはずすまで 完成上映会（案内）

しこう

豊岡裁判闘争

二面

「気持ち切り替え頑張る」

十月十六日控訴審第一回期日

働く女性の交流集会（十／二十七 ひょうご共済会館）

無駄な時間を大切に

香山リカさんが講演

部落解放第三十四回県研究集会（十／十九〜二十 豊岡市）

憲法の危機訴える

県、神戸ともに勧告は見送り

県の独自カット回復には触れず

黒豆収穫祭（十／十九 篠山市）

マジック、抽選会など家族も一緒に楽しむ

県本部第三十三回囲碁・将棋大会（案内）

二〇一三年十一月十五日

No.1420

一面

県本部単組オルグで意思統一（十／九〜二十七）

雇用と年金の接続を

賃金抑制許さない

但馬丹波ブロック

阪神淡路ブロック

県市町振興課と交渉（十一／五）

給与削減は今年度限り

企業職員の苦情処理も追及

国会議員へ要請行動（十／二十九）

地域財源を保障せよ

しこう

いまいち座 かくれんぼしてる間に寝てしまい

長谷川昭三

二面 第五十回護憲大会（十一／三〜五 那覇市）

憲法理念を広げよう

沖繩から「平和・人権」を考える

連合兵庫第十四回定期大会（十／三十一 神戸市）

辰巳さんが副事務局長に

地公賃金問題で支援求める

自治労臨職集会（十／二十 東京ビッグサイト）

雇用上限撤廃継続の運動を

秘密保護法案を廃案に

民主主義の根幹ゆるがす

集団的自衛権の行使とセット

県本部書記の紹介 孫可耶さん

二〇一三年十二月一日

No.1421

一面 一三確定闘争勝利 県本部決起集会（十一／八 県庁前）

地公波及に区切りを

賃金削減は三月末で終了

確定闘争第一波

神戸 住居手当の原資確保

青年女性決起集会

町職連協単代会議（十／二十八）

再任用の実施めざす

条例化止まりの実態を改善

特定秘密保護法の廃案求め座り込み（十一／十九〜二十一 三宮マルイ前）

民主主義の根幹ゆるがす

神戸町 山名さん無投票で再選

十一月十二日町長選挙

しこう

二面

いまいち座 氾濫する横文字… 大植賢

三田市職労 図書館の指定管理導入に反対

市民とともに考える

各戸ピラや講演会

高砂市職 ストの要因は当局に

「処分を撤回せよ」

各地域ブロックが総会

阪神淡路（十／三十 淡路市北淡震災記念公園）

非正規の処遇改善を

猪名川、芦屋、尼崎が発言

播磨（十一／一 高砂市）

スト処分の撤回、雇用と年金の接続を

但馬丹波（十一／十五 豊岡市民会館）

地公波及の成果確認

ブロックの連帯で国下回る

No.1422 二〇一三年十二月十五日

一面 確定闘争第二波

地公削減の終了確認

三木は独自カット解除に

青年女性地域別学習会に二六人

三田市 図書館指定管理反対講演会（十一／二十三）

指定管理なじまない

伊万里の盛市議招き講演会

県本部公営競技評・秋季オルグ（十二／三）

労使関係正常化

経営改善が課題

しこう

いまいち座 数の暴挙Ⅱ強権 大西英剛

部落解放兵庫県民共闘会議（十一／十九）

就職差別撤廃申入

統一用紙の活用求める

ネット募集の対応課題

第四回ピース・セミナー（十一／十三・二十）

憲法、労働法制改悪

大衆運動の強化を

阪神淡路ブロックフットサル交流会

女性選手も参加

人権週間にあわせ

反差別のたたかひの運動課題を考える

本人通知を全自治体で

住民の人権守るのは行政責任

新規加盟単組紹介

南但広域労組

組合も役員も初めて

No.1423 二〇一四年一月一日 新年号

一面 自ら活動して他を動かすは水なり

本多委員長あいさつ

処分撤回、組織強化

元気にかけつけよう

県本部役員・書記一同

二面 「新春座談会」官兵衛飛躍の地ひょうご

地域の発信に奮闘

ドラマ決定の裏側で

新発見、官兵衛の書状

市内あちこちに目薬の木も

官兵衛ゆかりの地(案内)

三面 近畿地連結六十周年カンボジア訪問

教師の育成が必要

自治労支援の寺小屋教室

自治労の国際支援活動

エフアジヤパンと連携

子どもの育ちと学びを支援

私たちも自治労とともに頑張ります

新春クロスワードクイズ

No.1424 二〇一四年二月一日

一面 県本部旗開き(二/九 神戸市・ラッセホール)

力を蓄える一年に

厳しい時代と立ち向かおう

女性部・臨職評合同学習会(二/十九 ひょうご共済会館)

「仕事を頼みづらい」

正規・非正規の思い出し合う

高砂市職 四七七分の署名を提出

処分撤回、賃金カット復元求め

県本部春闘討論集會に参加を(案内)

しこう

二面 いまいち座 豆がたりない! おやすみ漫

反行革予算要求闘争(二/二十四)

人員不足を訴える

欠員補充、保育士採用引き出す

第三十三回囲碁・将棋大会優勝者

本因坊 高橋正行さん

名人 丸尾 力さん

「震災とアスベスト」シンポ(二/十八 神戸市勤労会館)

震災時の状況から今後の課題を検証

書籍紹介

「産業別統一賃金をめざして」

全員署名に取り組もう(案内)

給与制度の総合的見直しに反対!

No.1425 二〇一四年二月十五日

一面 二〇一四春闘討議資料

賃上げで生活改善を勝ち取ろう

総合的見直し反対

全単組で取り組み強化

1 二〇一四春闘をめぐる情勢

二〇一四春闘の行動日程

しこう

いまいち座 頑張れ! イクメン 吉田ノボ

二〇一四春闘のヤマ場は三月十四日

2 二〇一四春闘の具体的な取り組み

3 人事院の給与制度の総合的見直し

4 人員確保および雇用と年金の接続

5 臨時・非常勤等職員の処遇改善

6 民間・中小の労働条件底上げ

7 平和・人権・政治闘争の推進

連合兵庫・官公部門連絡会総決起集會(案内)

県本部結成六十年(一九五四〜一九六三年)

賃金闘争の礎を築く

人勧見送り打破した産別運動

新春クイズ回答

No.1426 二〇一四年三月一日

一面 県本部第一九六回中央委員会(二/七 ひょうご共済会館)

給与制度見直しさせない

春闘方針・六十周年記念事業を承認

全国統一行動日は三月十四日(案内)

県本部春闘討論集會(二/八 ひょうご共済会館)

地域間格差つけるな

賃上げ競争はやめよう

高砂市長交渉(二/十二)

高砂市長より謝罪

労使正常化に向け確認

青年女性部が春闘討論会(二/二)

不満を要求に、模擬交渉

しこう

二面 いまいち座 だぶるばいんど

二〇一四春闘討論集會分科会報告①

給与制度の総合的見直し

全国で同じ仕事をしていて賃金差は不当

雇用と年金の接続

希望者全員の再任用 格付けの引き上げを

生活実態アンケートから春闘強化を

要求額は二・七〜三・二万円

人員増、労働量の軽減を

阪淡ブロック

播磨ブロック

臨職評 全単組学習合宿(二/二十五〜二十六 篠山新たんば荘)

悔しかった毎年の試験

財政難で全体討議

震災と心のケアを考えるシンポジウム(案内)

福島の実状から考える公開学習会(案内)

No.1427 二〇一四年三月十五日

一面 二〇一四春闘 井戸知事に申し入れ(二/二十八)

「実効性ある再任用」「非正規の処遇改善」

賃上げにこだわる

公共民間協 春闘学習会(三/一 県本部会議室)

安全衛生の前進へ要求

春闘の取り組み確認

現業闘争交流会(二/十四〜十五 フルーツワーカー)

ワーパーク

新規採用の成果共有

統一闘争の中間総括で議論

スト批准投票七三・七二%で成功

県本部は〇・七ポイント増

連合がシンポジウム(三〇/一)

限定正社員導入は賃金労働条件低下に

しこう)

いまいち座 波任せ 長谷川昭三

二面 一四春闘討論集会分科会報告⑦

非正規の処遇改善と組織化

未組織への情報提供

正規との連携が鍵

町職連協の取り組み

町職運動の前進へ

「できること」を模索

統一交渉を振り返る集い 自治研センター・町職連協(三〇/十五)

町村会交渉の教訓振り返る

全国に誇れる制度

県本部結成六十年(一九六四〜一九七三年)

統一行動、ストを重ね

人勤の完全実施を実現

シンボルマークを決定

第二十四期労働学校受講生を募集(案内)

No.1428 二〇一四年四月一日

一面 新入組員へのメッセージ

南あわじ市職労 青年女性部が新入職員に説明会

組合は成長できる場

人事院交渉で一八二万筆の署名提出(三〇/五〜七)

地域間格差の拡大は不当

賃金引き上げへ連合兵庫が集会(三〇/八 東遊園地)

都市交評、春闘学習会開く(三〇/二十 県本部会議室)

交通の必要性訴え取り組み進めよう

豊岡裁判闘争

高裁も「公務上」認める

基金本部 上告断念、判決確定へ

しこう)

いまいち座 使ってるの？使われているの？

大植 賢

二面 戦争をさせない一〇〇〇人委員会 三・二〇出発集

会

「集団的自衛権」の容認反対

地域・職場で全国署名を

県本部 振興課交渉(三〇/十一)

不適切な再任用の運用調査を約束

シンポジウム 震災と心のケア(三〇/九 神戸市)

孤立させないことが大切

県本部結成六十年(一九七四〜一九八三年)

国民生活を引き上げ

職場改善から健福闘争へ

結成六十周年事業の紹介

No.1429 二〇一四年四月十五日

一面 新入組員へのメッセージ

組合を盛り上げたい藤原青年部長

多くの仲間をつくろう

公営競技評 春闘学習会(三〇/二十七 尼崎市)

実態がたまたか根拠

総務大臣・人事院 春闘最終交渉

意見聞き、検討・対応

勧告に向け交渉、行動を強化

二〇一四反行革・組織集会(案内)

第17回平和・人権・環境を考える集い(案内)

しこう)

いまいち座 物価が上がれば人気は下がる大西英剛

戦争をさせない全国署名で止めることができる

病院集会 衛生医療評(三〇/七ひょうご共済会館)

「年休が権利、知らなかった」

第九回県本部卓球大会(三〇/十五 養父市)

優勝は神戸市職労

県本部結成六十年(一九八四〜一九九三年)

たたかいは楽しく

自分たちが声あげてはじまる

5・3兵庫憲法集会(案内)

六十周年記念事業(案内)

ゴルフロングランコンペの案内

No.1430 二〇一四年五月一日

一面 第二十四期労働学校・前期(四〇/十九〜二十

うご共済会館)

労組や賃金の基礎学ぶ

六月二十七日 臨時大会

法人格取得も確認

第三十一回保育を考えるつどいに参加を(案内)

新制度下で課題山積

戦争をさせない全国署名スタート 一人五筆以上

稲美町長選

古谷博さんが三期目に挑む

連合兵庫

労働保護ルール改悪阻止で訴え

五月十五日は休刊とします(案内)

しこう)

いまいち座 できるか！ STAP細胞？

おやすみ漫

二面 青年女性部 播磨・但丹で春闘期交流会

泊りで夜まで懇親深める

県本部青年部 神戸交通労組と交流(四〇/五)

尼崎斎場で職場安全点検(三〇/二十五)

休憩とれない、高温・騒音

県本部結成六十年

阪神淡路大震災からの復興

直営の大切さ実感

六十周年記念事業(案内)

No.1431 二〇一四年六月一日

一面 反行革・組織集会(五〇/十六〜十七 加西市)

組合員の声を要求に

基本はオルグと学習会

分科会 反行革・人員確保

まずは超勤の縮減を

人員要求の実態つかもよう

分科会 男女がともに担う

「三役に女性はいない」

組織実態点検し議論深める

少年野球大会に協賛

「自治労カップ」に三十六チーム出場

加古川市議会選挙

松崎さんを推せん

6月22日投票

稲美町長 古谷博さん

無投票で三選果たす

労働安全衛生集會に参加を(案内)

しこう

いまいち座 俺たちみんなサルだからどうぞ

地球人

二面 五・三兵庫憲法集會(五/三 神戸市勤労会館)

いのちとくらし、平和を守る憲法

改憲でなく、理念の実現を

戦争をさせない全国署名に協力を(案内)

労働学校後期講座(五/十~十一 三木市)

忙しいときほど交流が必要

まんが集団 第二十七回例会(四/二十六)

筆を使った描き方学ぶ

新書記紹介 瀬合 宏江さん

「間違えないよう必死です」

県本部結成六十年(二〇〇四~二〇一三年)

労使協議をしっかりと

合併はスタートまでが重要

No.1432 二〇一四年六月十五日

一面 第一四七回自治労本部中央委員会(五/二十七)

二十八 仙台市)

政治方針 組織討議へ

豊岡裁判からの課題発言

公災制度の改善を

反行革集會の分科会報告

分科会 給与制度見直し

評価制度に議論集中

四月の地公法改正を受けて

分科会 非正規の継続雇用

横行する雇用止め

委託や試験制度、課題を交流

県に申し入れ八月末実施の総合防災訓練(六/三)

米軍参加は中止を

結成六十周年 記念講演会(案内)

しこう

いまいち座ダブルバインド

二面 ナースアクション(五/三十一 私学会館)

過酷な夜勤実態、改善が必要

電車寝過ごし何度も

明石アスベスト災害

公災認定求め支援団体を結成

狭山事件の再審を求める市民集會(五/二十三 東

京)

証拠開示と事実調べを

県本部スポーツ大会

出場めざし各ブロックで熱戦

県本部人権学習会(案内)

No.1433 二〇一四年七月一日

一面 第十七回平和・人権・環境を考える集い(六/七

丹波市柏原住民センター)

政府の安全保障論を批判

沖繩の戦場化を想定

フォーラムひょうご総会・学習会(六/二十一 神

戸)

一〇〇〇人委員会を結成

集团的自衛権反対の運動強める

人員確保・男女平等・一時金闘争

重点職場取りあげ交渉

西脇 来年度四十一人採用を確認

加古川市議会選挙(六/二十二)

松崎さん七期目の当選果たす

人事院に要請はがきを(案内)

しこう

いまいち座ためこみすぎないで!! 大植 賢

二面 第三十一回保育を考えるつどい(六/二十二 豊岡

市)

子ども・子育て支援制度

現場の思いを支援事業計画に

県本部労働安全衛生集會(六/十七)

「メンタルで休む人多い」

上野さん 予防活動の重要性訴える

臨職評が対県交渉で確認(六/十二)

試験の仕方は工夫を

雇用は協議が必要

戦争をさせない一〇〇〇人委員会

全国署名一七五万筆を提出

国会前阻止行動も継続

第三十六回県本部女子バレーボール大会(六/十四

丹波市柏原住民センター)

南あわじが見事優勝

No.1434 二〇一四年七月十五日

二面 第六十四回県本部臨時大会(六/二十七 新長田ビ

フレホール)

人勤期のとりくみ強化を確認

新委員長に森蔭さんを選出

副委員長に左川さん、書記長に尾西さん

十一人から補強意見

格差は不当、アスベスト審査請求

再直営化を視野、米軍参加反対

執行委員の確認

県本部結成六十年記念集會

功労者を表彰

広瀬危機管理官が記念講演

しこう

いまいち座 集团的自衛権 憲法解釈容認 「総理、

お先にどうぞ」 大西英剛

「見直し」で二割以上の格差

県本部単組代表者会議(七/三 ひょうご共済会館)

人事院要請はがき集中を

集团的自衛権 閣議決定抗議

国民ぬきの変更許せない

憲法を守る、関連法阻止

「平和・人権・環境の集い」分科会報告

分科会 地域の平和運動

丹波と明石、反核リレーを紹介

「担い手づくり」などで交流

分科会 集团的自衛権

反動政治状況を検証

一〇〇〇人委員会・ひょうご全単組の賛同団体を(案内)

No.1435 二〇一四年八月一日

一面 七・二九中央行動

人事院「見直し」に固執

はがき行動、交渉を強化

県人事委員会に申し入れ(七/十八)

反対の意見反映

賃金水準確保を

第三十回反核リレーがスタート(七/十六 県庁前)

集团的自衛権は断じて認めない

青年女性中央大交流会(七/十一~十三 山梨県)

職種別分散会で改善点をさぐる

淡路地区保育所学習交流会(七/十五 淡路市)

減り続ける正規保育士

増員、処遇改善を

しこう

いまいち座 こんなものが出てきたおやすみ漫

衛生医療評議会 対県交渉(七/十五)

「医療勤務環境改善センター」は情報交換を

人員確保、労働条件改善へ

第三十六回県本部野球大会(七/五・八 加西市)

篠山八回目の優勝

神戸市従と近畿大会へ

各地域ブロックで新入組合員交流会

阪神淡路ブロック

若年層は低賃金

泊りで交流深める

播磨ブロック

賃金の基礎を学ぶ

夜はバーベキュー

但馬丹波ブロック

縄跳びで汗流す

五十五人が参加

平和・人権・環境の集い分科会報告

分科会 国際結婚にまつわる支援

離婚や親権など相談事例から学ぶ

明石海峡ぐるり〜んクルーズ(案内)

No.1436 二〇一四年八月十五日 人事院勧告特集号

一面 人事院勧告と報告

職員の給与等に関する報告

月例給・一時金七年ぶり増も

「給与制度の総合的見直し」を一方的に勧告

声明 公務員労働組合連絡会

二面~三面 人事院勧告と報告(二面の続き)

四面~五面 行政職棒給表(二)

六面 行政職棒給表(二)

七面 人事院勧告と報告(二面の続き)

八面 給与等に関する報告の骨子

No.1437 二〇一四年九月一日

一面 一四人勤と課題①

地公の賃下げ狙う

一四確定期は、ベア実施に全力

第十六次沖繩視察団(七/十一~十三)

防衛局が工事強行

辺野古新基地建設反対へ支援と行動を

「第三十回自治労水週間」でツアー(八/六 神出

浄水場)

浄水の流れを学ぶ

平和の火リレー到着(八/六)

県内自治体を八〇〇人が走り抜く

しこう

いまいち座 「起承転結」 吉田ノボ

但丹ブロック 七月に公企評を結成

三六協定締結、議長に吉谷さん

尼崎市バス民間移譲問題

「真摯に対応」を確認

第三十六回自治労近畿地連スポーツ大会(八/四~

五 京都市)

神戸市従が全国大会

南あわじ、篠山は惜敗

各ブロックで職場安全点検

阪淡ブロック

ボルトや夜間照明(水道)

安全衛生委の開催(給食)

播磨ブロック

廊下に物が多い(病院)

清掃は台風接近で中止

但丹ブロック

結露対策を(水源地)

台車の改良必要(給食)

県本部まんがコンクール募集中(案内)

* * * *

ネットワーク情報

No.141 二〇一三年十二月二十日

「高砂市職不当処分撤回」を求める決起集会(十二

月十七日)

労使対等の原則を無視するな!

決議文

自治ひろこ

1416号

2013. 9. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/森藤 守 / 編集人/西岡 裕

当面の日程

- 16日 第4回男女がともに担う県本部委員会(県本部)
- 18日 現業公企闘争委員会(県本部)
- 20日 公企評第15回総会(津名ハイツ)
- 21日 第30回自治体に働く障害労働者のつどい(フルーツフラワーパーク)

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

自治労第86回定期大会

地公債金に議論集中 政治対応に議論集中

影響力ある運動へ 総務省対策を強化

8月26、28日自治労第86回定期大会が大阪城ホールで開催され、今後2年にわたる運動方針などを決定した。大会討論では、国の要請による地公債金削減阻止のたたかいについて議論が集中。本部に対し国会、総務省対策、取り組みの強化を求めた。本部は、引き続き未実施自治体へのペナルティを行わせないよう取り組みなどと答弁した。また、1日目終了後、大阪府本部の主催で、自治の未来を「劇場型政治」から取り戻す大阪集会所が開催され、大会参加者も合流し、公務員を敵視する維新の会、橋下市長らの政治手法を批判、堺市長選挙で勝利をめざすと決起した。

氏家体制がスタート

自治労第86回定期大会にも圧倒的多数で可決された。第1号議案の014「15年度運動方針案」も5つ議員(副委員長)が、運動方針に関連し豊岡公災認定代議員の多くは、全国統一闘争として取り組んだ。国の要請による地公債金引き下げ強要に対する取り組みについて触れ、本部に対し「国総務省の対策強化などを求めた。また、政治情勢については、「民主進歩・社民党支援」を継承しつつ他政党に所属する議員とも課題」に連携を模索する



全国から4400人が結集。現評の仲間が屋上で盛り上げた(左)

一闘争として取り組んだ。国の要請による地公債金引き下げ強要に対する取り組みについて触れ、本部に対し「国総務省の対策強化などを求めた。また、政治情勢については、「民主進歩・社民党支援」を継承しつつ他政党に所属する議員とも課題」に連携を模索する

との「今後の政治対応について」にも議論が集中した。代議員からの発言に対し、本部は地公債金に関する強化、政治対応については従来のスタンスが基本と答弁した。

総合的見直しは拙速

県人事委へ申し入れ

県本部は、9月3日県人事委員会に対し、今年度の勧告に向けて、県職労とともに申し入れを行った。冒頭、本多義弘委員長から、青山善敬人事委員長に対し「出店を呼びかけ、県本部は現評の仲間が、フロンティアを出店し販売した。」

え、以下のとおり申し入れ見解を求めた。
①人事院は、給与制度の総合的見直しを報告したが、給与の構造改革完了後2年しか経過しておらず、拙速といわざるを得ない。
②「技能労働の給与のあ

迅速・公平な補償求める 豊岡公災認定のたたかいを発言



発言する副委員長

豊岡市の公務災害認定の取り組みは、02年5月の発生から11年が経過した。被災者の家族や当該労組、県本部で「支える会」を結成し、支える体制をつくらせて7年という歳月はあまりにも長すぎる。公務災害認定の本旨ともいえる「迅速かつ公平な補償」とは、かけ離れている。10年10月に行政訴訟を起こし、今年6月25日に地裁で「勝利判決」を勝ち取り、家族は「夫の無念を晴らすことができた」と、思いを述べている。しかし、基金本部はこの判決を不服として、高裁へ控訴し、10月には第1回期日がはじまる。公務災害認定申請に対する本部としての取り組み強化を要請する。

しこう

人生とはわらんもんだ。40年前、公務員になったときは土木部長ぐらいにはなりたいと思っていた。そんなとき、1人の先輩役員が「人よ上の生活をめざしたらエエ。でもなあ、お前が上がるとで位く者が2人3人おとることを忘れたらアカンで」といった。その一言が自分の生き方を変える転機となった▼以降、公務員生活26年、組合役員生活31年である▼「労働者は義務と権利がある。義務は仕事をこなすことで果たせるが、権利は自分が知ろうとしない限り手にしない。③県の団告は、県内自治体のほか他団体にも大きく影響する、あるべき地公債金削減を告発し人事院報告に追随することのないよう求める」と要請した。人事委員会は、現在民間給与実態調査の作業分析中。給与実態調査は行わなかった。申し入れに対しては「明解な回答は行わなかった。が「申し入れ内容、国が府県の動向を考慮し、特例削減をふまえ、内容を検討したい」とした。なお、勧告日は例年10月中旬となっている。

サービス低下が懸念 指定管理で学習会

三田市職労

三田市は、6月議会で、これまで労使が直営堅持を確認していた、図書館に指



業務の重要性を訴える組合員

定管理者制度を導入すると一方的に表明した。組合はもとより、図書館の利用者ら市民も寝耳に水の状況。三田市の図書館を考える市民の会」が結成され、急遽、請願署名が取り組まれ、8月末からの短期間で2700筆を集約した。

この情勢を受けて、市職労は、8月22日に市内で「指定管理者制度について」学習会を開催し82人が参加した。講師の菊地憲之・県本部執行委員は、先行事例をあげ、サービス低下が懸念され、職員の雇用問題にも波及すると指摘した。最後に、図書館の組合員は、「同規模自治体で三田市が貸し出し冊数など2位。司書の業務が取り重み重ねた経験で、利用者が求

いまいち座

憤りの押印



大西 英剛 (兵庫県職労)

職場のたたかい持ち寄ろう



労働者間の連帯である春闘

組織強化が重要課題 (第63回大会)

活発な大会論議を

県本部は9月27、28日、第63回定期大会を開き、大会基調では、3つの柱から重点課題をあげている。

1つは、「職場」組合員を起點とした組合運動の再構築。「仕事の高度化、責任と労働密度が高まる中、賃金労働条件のみならず、働き方をサポートし、場合によっては個人的なトラップに対する「世話役」を義務として改めて位置づけなおすことを提起、あわせて、単組運動と産別組織を強化することとしている。

新しい公務員制度の実現と生活改善及び賃金闘争の取り組み

連合自治労が、民主党政権のもと、労働協約締結権や消防職員の団結権などを求めることをめざし、公務員制度改組法案は、昨年11月の衆議院解散により廃案となりました。公務員給与に引き上げ圧力が強まり、公務員給与と勤務条件は致命的影響を受けかねない状況にあることを改めて認識する必要があります。

平和人権環境を守る取り組みと脱原発の推進

政府自民党は、憲法改正の発議要件緩和のため憲法96条改正をめぐり、そのれにより第9条の改悪、国防軍の創設、集団的自衛権の行使を自論しています。現行憲法の基本理念である平和主義を堅持すべく、憲法改正、憲法解釈の変更をさせない取り組みを強化し、また、普天間基地の即時返還など、在日米軍基地の縮小撤去を求め平和

産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

公共サービス労働者の総結集の取り組み

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

団結を強め未来を切り開こう 県本部第63回定期大会

とき 9月27、28日 / ところ 舞子ビラ神戸

あけている。格差是正のためには、当事者の参画とともに、正規、非正規がともに問題解決に向かう体制が必要不可欠としている。臨時非常勤等職員の組織強化に、改めて組織の総力をあげて取り組むとしている。

反地方草率反合理化を要求し人権保障の拡充、職員の権利安全衛生を働き、職場づくり

小泉構造改革は、民間委託の賃金切り下げや自治体による人員削減を推し進めた。以降、地方公務員数は減り続け、兵庫県内市町では、2011年までの5年間で399人(11.9%)も減少しています。公共サービスの民間委託や民営化は、地方自治体や責任者に押し付け、提供責任の放棄に止まらず、受益負担者目で住民に新たな負担を求め、非正規労働者の拡大にもつながります。

安心・安全信頼の社会保障制度の確立と住民の健康と福祉を守るたたかい

少子高齢化、人口減少、高齢者世帯、単身世帯の急増に加え、社会保険の適用から排除されている派遣・パート労働者の増加など、非正規労働者の増加など、低賃金などの理由で、労働者が職を去る状況が続いています。サビシスの質を確保するためには、労働者が働き続けられる処遇と賃金が確保された、ディートワークが必要で、政治的に、非正規雇用から

平和人権環境を守る取り組みと脱原発の推進

政府自民党は、憲法改正の発議要件緩和のため憲法96条改正をめぐり、そのれにより第9条の改悪、国防軍の創設、集団的自衛権の行使を自論しています。現行憲法の基本理念である平和主義を堅持すべく、憲法改正、憲法解釈の変更をさせない取り組みを強化し、また、普天間基地の即時返還など、在日米軍基地の縮小撤去を求め平和

産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

公共サービス労働者の総結集の取り組み

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

団結を強め未来を切り開こう

とき 9月27、28日 / ところ 舞子ビラ神戸

メンタル不調、過労死や自殺に追い込まれる職員も後を絶ちません。また、安全衛生委員会が設置されていない職場も少なくないこと。臨時非常勤等職員は行方不明の提供に欠くことのできない重要な担い手と。臨時非常勤等職員は行方不明の提供に欠くことのできない重要な担い手と。臨時非常勤等職員は行方不明の提供に欠くことのできない重要な担い手と。

安心・安全信頼の社会保障制度の確立と住民の健康と福祉を守るたたかい

少子高齢化、人口減少、高齢者世帯、単身世帯の急増に加え、社会保険の適用から排除されている派遣・パート労働者の増加など、非正規労働者の増加など、低賃金などの理由で、労働者が職を去る状況が続いています。サビシスの質を確保するためには、労働者が働き続けられる処遇と賃金が確保された、ディートワークが必要で、政治的に、非正規雇用から

平和人権環境を守る取り組みと脱原発の推進

政府自民党は、憲法改正の発議要件緩和のため憲法96条改正をめぐり、そのれにより第9条の改悪、国防軍の創設、集団的自衛権の行使を自論しています。現行憲法の基本理念である平和主義を堅持すべく、憲法改正、憲法解釈の変更をさせない取り組みを強化し、また、普天間基地の即時返還など、在日米軍基地の縮小撤去を求め平和

産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

公共サービス労働者の総結集の取り組み

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

団結を強め未来を切り開こう

とき 9月27、28日 / ところ 舞子ビラ神戸

府自民党は、生活保護水準の切り下げを強行した上に、普天間基地の抑留について社会保障給付の抑制を明言しています。安易な社会保障給付の抑制に反対し、持続可能な社会保障制度を構築するため、財源の確保、積極的な社会保障政策を推進します。

安心・安全信頼の社会保障制度の確立と住民の健康と福祉を守るたたかい

少子高齢化、人口減少、高齢者世帯、単身世帯の急増に加え、社会保険の適用から排除されている派遣・パート労働者の増加など、非正規労働者の増加など、低賃金などの理由で、労働者が職を去る状況が続いています。サビシスの質を確保するためには、労働者が働き続けられる処遇と賃金が確保された、ディートワークが必要で、政治的に、非正規雇用から

平和人権環境を守る取り組みと脱原発の推進

政府自民党は、憲法改正の発議要件緩和のため憲法96条改正をめぐり、そのれにより第9条の改悪、国防軍の創設、集団的自衛権の行使を自論しています。現行憲法の基本理念である平和主義を堅持すべく、憲法改正、憲法解釈の変更をさせない取り組みを強化し、また、普天間基地の即時返還など、在日米軍基地の縮小撤去を求め平和

産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

公共サービス労働者の総結集の取り組み

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

団結を強め未来を切り開こう

とき 9月27、28日 / ところ 舞子ビラ神戸

自治ひょうこ

1417号

2013. 10. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/森藤 守 / 編集人/西岡 裕

当面の日程

- 5日 臨職評第19回定期総会(神戸市教育会館)
- 12~13日 2013人権教育ひょうこスタディツアー in 高知
- 15日 2013現業・公企統一闘争勝利!県本部総決起集会(県民会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp



「共済制度の堅持」を求める要請書を提出した



えさぎたかし
オフィシャルモバイルサイト

職場の現状を聞く 共済労組からは要請書も

組織内のえさぎたかし 参議院議員が9月11、13日、県本部内19単組を訪問した。毎年、国会閉会中に単組訪問を行っているもので、兵庫に入るのは今回が初めて。えさぎさんは「改めて当選のお礼も述べたい」と口火を

切、職場の現状や悩みを熱心に聞いた。最初に訪問したのは市町村共済労組。共済制度の一元化の動向などで意見交換を行った。共済労組の生駒真紀委員長が、「共済制度は労働使でつくる民主的な制

えさぎたかしが単組訪問

度。そのメリットがもっとクローズアップされてもいい。制度を守るため一緒に頑張りたい」と投げかけた。

えさぎさんは、「労働基本権の制約という身分的な問題が、共済制度も異なる扱いがされてきた。基本権の動きが止まってる。今、そのことは主張して、かなければならない」と感じた。

強まる沖縄切り捨て

沖縄に学び反基地闘争を強化

第15次視察団



日本軍の司令部跡で説明を受けた

県本部は9月7日から3日間、15回目となる沖縄視察団を取り組んだ。「普天間基地へのオスプレイ配備」では、知事をはじめとする全首長、全議員が「オール沖縄」で反対したものの、県政府は配備を強行。さらに安倍首相は今年4月28日、「主権回復記念式典」を実施。沖縄からは「沖縄を切り捨てた日」と怒りの声があがっている。政府の「沖縄の負担を軽減する」との言葉はまこと口先だけで、実際は危険が高まるばかりだ。当然、反発は強まるが、その声を受け止めようとはしない。県本部は、沖縄戦の歴史と基地の現状、反基地闘争に学び、連帯する決意を固めた。

ため、普天間基地、嘉手納基地を視察した。「基地が沖縄経済を支えている」との主張は、今や通用しない。視察団は北谷町役場を訪問し、町職労

池原誠委員長から基地返還後の経済状況などの説明を受けた。「基地の跡地利用によって、税収は約50倍、雇用は20倍になった」と強調。また、水不足で県民が節水しても、米軍は水を使いたい放題。沖縄では米軍が優先されている実態を熱く訴え、兵庫の参加者は怒りを共感した。

2日目は、戦争の歴史に触れるコースとして、住民の避難所や陸軍病院として使われた糸数壕(ひめゆり、平和祈念資料館)を訪れた。

沖縄視察団 参加者の感想

県民の暮らし 脅かす米軍基地

今回、初日に普天間基地、嘉手納基地等を見学し、大変暑い中、北谷町役場屋上で北谷町職委員長より説明を受けた。土地が返還されても土壌汚染された土を除去するのに5年もかかっている話を聞いていた。多くのヘリコプターや戦闘機の爆音がし、県民の怒りを想像することができた。

平和祈念資料館は目をふさぎ



たくなるような写真も展示されており、二度とあのような悲惨な戦争を起こさないためにも反戦平和運動を今後とも取り組んでいかなければならないと深く感じた。

沖縄の現状を多少なりとも知ることによって今の平和に感謝した。今後ともこのような事業を

続けていただきたい。 丹波市職労・岡本

米軍を過剰に優遇 政府の愚行知る

自分がこれまでいかに沖縄、ひいては日本という国に無知であったかを感じ知らされた。沖縄戦がどのように展開していったか、なぜ沖縄でこれほどまでに悲惨な戦いが行われたのか、初めて知ることばかりであった。

現在の沖縄については、普天間飛行場、嘉手納基地などを視察した。テレビで基地を見たことはあったが、これほど住宅地に隣接しているとは思ってもみず、沖縄の方々の生活は、まさしく基地とともにあるのだと実感した。

最も衝撃を受けたのが北谷町職委員長の話であった。民家や校庭の児童を標的とした訓練、米軍に対して湯水のように税金を使用する日本政府など、愚行をあげれば枚挙に暇がない。

これまで私は、「戦争」は過去であり、歴史の悲惨な1ページであると思っていた。

しかし、沖縄では今も「戦争」が続いている。決して過去などではない。沖縄だけに犠牲を強いることは、同じ日本人として恥ずかしいと思う。「平和」は、当たり前前にそこに有るものではなく、1人ひとりその意義を考え、常に求め続けなければならないのだと感じた。 高砂市職

地方財政の充実求める

9月24日 県議会に請願書提出



民主党議員に要請

地方交付税総額の決定に当たっては、地方公共団体の担う役割を踏まえ、国と地方の協議の場での十分な協議のもとに決定することなど6点。

請願内容は、地方財政計画の充実、強化を求める意見書をあげるよう請願書を提出した。兵教組、兵庫高等学校組合と連名で取り組んだ。

紹介議員は、民主党 共産党の各党派と無所属議員3人。議員要請で森藤守書記長は、「地方固有の財源である交付税は地方のために使われなければならない」と訴え、理解を求めた。

いまいち庶



おやすみ漫

しこう

おもてなし 大賞にノミネートされるであろう滝川クリステルさんのプレゼンの効果があったのかどうか分らないが、オリンピックが2020年東京に招致されること決定した。私もオリンピックはテレビにかじりついて観戦する方だが、東京開催に素直に喜ばない。テレビ画面に安倍首相のうかれた顔が出た。た、チャンネルを切り替えたのは私だけであろうからなみに切り替えてもオリンピックのことばかり。首相の発言とは逆に、実際にはコントロールできていない福島の放射能汚染水問題。1000兆円を超える借金があるにも関わらず、五輪特需と国土強靱化計画が追い風となり今後10年間で行われるであろう多額の公共投資。その後控える五輪パブル。崩壊。五輪開催を被災地のみならずはどのように感じているのだろうか。思いうるに進んでいる。東日本大震災の復興復旧が最優先ではないか。第4の矢、とうかればかりではない。

総合的

強まる改憲の動きを許さず、平和・人権・民主主義を確立するたたかいを強化する決議

昨年12月の衆議院選と本年7月の参議院選で勝利し、国会の「ねじれ」を解消した自民党・安倍政権は、憲法改憲への動きを強めている。自民党がめざす憲法改「正」の狙いは、2012年4月に発表した「憲法改正草案」に見て取れる。

「憲法改正草案」全体を通した特徴は、①国民の義務を大幅に拡大し、権力に制限をかける「立憲主義」を否定して憲法の変質をはかろうとしている。②個人の自由や権利の上に「公益及び公の秩序」という国家の利益をおき、基本的人権に制約をかけようとしている。③戦力の不保持と交戦権の否認を定める憲法9条2項を変え、戦争ができる国への変質をはかろうとしていることである。

これらは、基本的人権の尊重、民主主義、平和主義を根拠とする憲法の三大原則に基づき、戦後、私たちが培ってきた価値観を徹底から覆すものであり、到底認めるところではない。

安倍政権は当初、憲法改正手続を定めた96条改「正」をめざしたが、それを拙速とみるや、今度は内閣法制局長官を交代させ、速憲とされた集団的自衛権を政府見解だけで変更する解釈改憲に踏み切ろうとしている。憲法改正の厳格な手続きを省き、国の根幹を変えようとする卑劣な動きも断じて許してはならない。

一方、尖閣諸島をはじめとする領有権の問題や、政府関係・国会議員の「侵略戦争の定義は見る方向により異なる」「従軍慰安婦は必要だった」など、歴史認識を歪曲する発言により、近隣諸国との関係は悪化している。政府はこうした動きを背景に11年ぶりに軍事費を増大させ、年末には「防衛大綱」を見直すと言っている。また、政府の姿勢は、在日外国人への排外主義を表面化させ、関係者に恐怖と怒りを与えるばかりか、長年にわたって地域で培ってきた信頼関係を壊そうとしている。差別と排除の論理は、沖縄の切り捨て、生活保護受給者への監視、公務員攻撃につながっており、差別的な政策を許さないたたかいをつくりあげていくことが求められている。

日本国憲法は、第12条で、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と述べている。政府・自民党が国民の自由や権利を奪おうとするなら、私たちは職場・地域で基本的人権を確立するたたかいを強めなければならない。公務員労働者の労働基本権も、反動的な情勢下であっても私たちの当然の権利として、その実現に向け全力をあげることが必要である。

自治労兵庫本部は、「憲法改正草案」の問題点の学習に取り組むとともに、在日米軍基地や原発による人権侵害とたたかう仲間との連帯を強め、職場・地域で平和・人権・民主主義を確立するたたかいに全力をあげるものである。

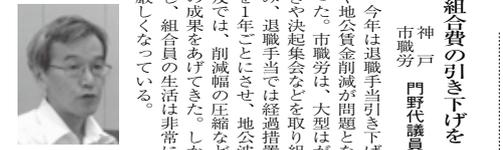
2013年9月28日

自治労兵庫本部第63回定期大会



左上から時計回りで、森藤書記長、服部副委員長、平瀬執行委員、大会宣言を読む山本執行委員

決議を提起する



組合費の引き下げを神戸市職労 門野代議員

3点について要望する。

- ①組合員の生活実態にみあった組合費の減額を行うこと
- ②被災地の組合には減額措置を行うこと
- ③この2点について、中央本部に要請すること

「組合員の減少が続いている中、減額は厳しい。一方、プロック交付金を充実させていくことを中央委員会に決定した。」

高砂市職 山下代議員

高砂では、共済基本型の加入率が割強維持している。しかし県内の加入率は11%程と低く、県本部、

自主福祉の強化に要請

高砂市職 山下代議員

高砂では、共済基本型の加入率が割強維持している。しかし県内の加入率は11%程と低く、県本部、

自主福祉の強化に要請

高砂市職 山下代議員

高砂では、共済基本型の加入率が割強維持している。しかし県内の加入率は11%程と低く、県本部、

自主福祉の強化に要請

高砂市職 山下代議員

高砂では、共済基本型の加入率が割強維持している。しかし県内の加入率は11%程と低く、県本部、

自主福祉の強化に要請

高砂市職 山下代議員

高砂では、共済基本型の加入率が割強維持している。しかし県内の加入率は11%程と低く、県本部、

差の拡大、技能労働職賃金の引き下げなど、問題だらけ。到底納得できるものではない。国に追随した勧告を行わないよう求めている。しかし現状で人事委員会

先日、神戸市の人事院報告が行われた。十分な労使協議と合意に形づくりに努力してほしい。あわせて、国による給与削減強要を許さないたたかいを強化する。神戸市長選が控えている。神戸市選は久えきそうさんを推して取り組んでいく。組合を敵視し、公務員労働を民間に委ねるような市政にはしてほしい。仲間のみなさんの支援を要

か、短期財政の4割が高齢者医療への支出となっており、個人参加も可能な「Pネット明石」と改名した。本年は「Pネット明石」を別に行っている。これは別に、95年から続く「明石平和の集い」がある。05年には大きな平和イベントにしよう、名称を「Pネット明石」に変更して、今年も福島の現状などを訴え、1200

し、市内の各種団体や労働者ネットワークを結成、翌年には、個人参加も可能な「Pネット明石」と改名した。本年は「Pネット明石」を別に行っている。これは別に、95年から続く「明石平和の集い」がある。05年には大きな平和イベントにしよう、名称を「Pネット明石」に変更して、今年も福島の現状などを訴え、1200

動を報告する。06年に昇職賞、篠山市職労、丹波市職労、当時のJ.P.労働組合支部などで結成した。以降、年2〜3回の映画上映会や講演会を企画し、組合員だけでなく市民と一緒に学べる場として定

交通基本法制定めさす

神戸交通 平田代議員

神戸市交3単組を代表して

特養の民営化で交渉

淡路市 谷添代議員

淡路市には、直営で運営している特別養護老人ホー

非正規の雇用を守る

丹波 臨働 南代議員

今年4月、市内で一番大きい倉庫センターが委託になった。当局は以降順次委託する計画がある。直営の方が経営がからぬ。直営の方が委託を進めていく。県本部、単組で連携して取り組むことが大切。

2単組の加盟承認

南但広域労組北播磨「三三三」

大会では、南但広域行政事務組合労働組合と北播磨総合医療センター職員ユニオンの県本部加盟を承認した。代表してあいさつした南但広域労組の清水武志委員長は、「まだわからないことばかり。組合員の力を合わせて頑張りたい」と決意を述べた。

青年部の活動発言

豊岡 市職 藤原代議員

青年部を代表して発言する。合理化は職場の中に表れるものであり、青年部では通常の取組に力を入れている。5月には、「合理化の

図書館の直営を守る

三田 市職 前川代議員

当局は来年4月から図書館を指定管理で運営しようとしている。労使で「直営

南但広域労組

南但広域行政事務組合労働組合と北播磨総合医療センター職員ユニオンの県本部加盟を承認した。代表してあいさつした南但広域労組の清水武志委員長は、「まだわからないことばかり。組合員の力を合わせて頑張りたい」と決意を述べた。

南但広域労組北播磨「三三三」

大会では、南但広域行政事務組合労働組合と北播磨総合医療センター職員ユニオンの県本部加盟を承認した。代表してあいさつした南但広域労組の清水武志委員長は、「まだわからないことばかり。組合員の力を合わせて頑張りたい」と決意を述べた。

南但広域労組北播磨「三三三」

大会では、南但広域行政事務組合労働組合と北播磨総合医療センター職員ユニオンの県本部加盟を承認した。代表してあいさつした南但広域労組の清水武志委員長は、「まだわからないことばかり。組合員の力を合わせて頑張りたい」と決意を述べた。

評議会の総会報告

2

青年部 新部長に藤原さん 「疲弊した職場を変えよう」

青年部は9月15日、第17回総会を神戸市内で開き、32単組45人が参加、開会式に藤原敏也さん、あいさつに立った平瀬朝太郎部長が出席した。



新部長の決意を述べる藤原さん。臨職評の新役員メンバー

オスプレイ来るな!



滋賀県 あいば野で反対集会 米軍機オスプレイを使用した日 本初の日米合同軍事演習が滋賀県 あいば野で開かれるのを前に、9月30日、「オスプレイ来るな!」合同演習反対集会が行われた。

雇止め阻止のポイントを学習

10月5日、神戸市教育会館で臨職評の第19回定期総会を31単組60人の参加で開催された。

女性部 育休の延伸を復元 取り組みの成果持ち寄る

9月15日、女性部は第17回総会をひょうご共済会館で開いた。27単組44人が参加し、「女性が健康で働き続けられる職場、社会をめざそう」と確認した。

差別解消法を学ぶ 職場で合理的配慮求めよう

障害労働者評議会は、9月21・22日、神戸フルーツで開かれた。

苦情処理会議の設置へ 但丹Bの組織化へ努力も

公企評は9月20・21日に淡路市内で第15回総会と公企集会を開き、36人が参加した。



労働者評議会第30回総会 体に関わる労働者のつどい



女性部総会代議員の様子、講演を行った相星さん、公企評の新役員



(写真上から) 女性部総会代議員の様子、講演を行った相星さん、公企評の新役員

じちろう マイカー共済 カーライフを応援する、頼れる補償



大切な愛車だから さまざまな損害に備えておきたい。 事故はもとより、盗難、いたずら、身の回り品の損害まで補償!

車両損害補償の 「おすすめ安心タイプ」 は 一般補償 + 付随諸費用補償

詳しくは組合まで お問い合わせください 全労協 自治労共済本部

自治ひろこ

1419号

2013. 11. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920

E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

当面の日程

- 8日 秋期闘争勝利！青年女性決起集会 (兵庫県民会館)
- 8日 2013確定闘争勝利！地方財政確立をめざす！ 県本部決起集会 (県庁前オアシス)
- 13日 第4回 ビース・セミナー第1講義 (神戸市勤労会館)



宮本副委員長をはじめとする県本部交渉団

対県交渉
 県本部現業公企闘争委員会は10月10日、神戸市教育会館で市町振興課等と対県交渉を行った。その後、現評は教育委員会、公企評は関係部局と交渉を行った。

振興課交渉では、「人事院報告に明記されている技能労働職の見直しなどについては各市町への助言

は行わないこと」を重点課題とし訴えた。賃金労働条件の決定は、労使合意が前提であることを改めて確認した。

昨年からの継続課題であった介護職員の職の位置付け問題は、「現業職、行政職の位置付けは各団体の判断」と無責任な回答であった。

だが、再度調査等を行い、助言することを確認した。清掃センターの広域化の問題では、センターの統合により、雇用問題が生じていることから、県としてしっかりと指導を行い、労使協議ができるよう求めた。

県教育委員会関係部局の交渉では、淡路市学校用務員に恒常的なシルバリーが活用される問題を追及。県教委は違法性を認識しながらも、「市の判断」と回答したため、引き続き協議の場を設定することを確認した。

公企評と関連部局との交渉では、篠山市で苦情処理調整会議未設置のまま公企職員への処分がなされた事例をあげ、県内の多くの自治体で未設置となっている実態の是正を求めた。これに際して、36協定のない現業が横行しているなど、当局が各種法令を守っていない実態を追及した。

明石 新規採用再開へ



統一闘争に向け決起集会を開いた

人事院報告に備えよう

10月15日、現業・公企統一闘争に向けた総決起集会を県民会館で行った。人事院が現業賃金の引き下げと民間委託の推進に言及する中、新規採用の実現、現業・公企労働者の権利確立に全力をあげることを確認した。県内から集まった37単組232人を前に、現業評議会の長谷川克彦議長は、「書面協定はまだ3割程度。権利いかしたたかいかい、何としても新規採用を勝ち取ろう」と述べた。続いて公企評の松井茂二副議長は、「ほとんどの自治体で苦情処理調整会議が未設置の状況を改善させよう」と呼びかけた。決意表明は、現評、公企評、臨職評の代表が行った。行(II)給与の適用問題に取り組みできた西宮水野の中野公紀さんは、「この間の取り組みで一定の成果を引き出してきたが、差別賃金であり、今後も改善を求め続ける」と述べた。

2013現業公企統一闘争が10月25日、1時間ストを背景にたたかれた。県内では、42単組が要求書を提出、15単組がストを配置した。「直営堅持」「苦情処理調整会議の設置」などを重点課題に25日未明まで粘り強い交渉が続いた。尼崎、明石で新規採用の方向性を確認したほか、高砂で苦情処理調整会議を設置するとの回答を引き出した。統一闘争前段には、闘争委員会主催で決起集会を開催した。

県職労は、当局が人事院報告などに触れ「対外的な批判を招かないよう定数給与の見直しにかかる取り組みが必要」と説明したものの「事前協議制」など従前の基本ルールを確認したため、ストを中止した。宝塚は、定数職場の欠員を認め、正規補充を確認。

今年度、重点課題に付け加えた苦情処理調整会議の設置では、高砂が調整会議未設置の状況で処分が実施されることの問題を指摘。当局は「設置する。内容は組合と協議したい」と述べた。

総決起集会の前段、青年部、女性部は現業公企闘争交流会を開いた。産別闘争として取り進む現業公企闘争の意義を呼びかけ、15単組25人が参加した。

直営堅持へ奮闘 苦情処理設置も一定前進

現・公統一闘争

尼崎は交通局の民間移管との課題を抱えながらも、欠員は正規補充との方向性を引き出した。

10年にならないうちで現業職員の採用が凍結されていた明石では、現業職場の将来像について交渉を重ね、15年度から採用を再開することを確認した。

青年女性交流会

「仕事に誇りを持つ」

要求の根拠づくりが重要



講演を行う村上さん

西脇村井さん
 無投票で2期目当選

神戸市を金推せん候補が当選
 10月27日投票で行われた神戸市長選各町議選において、県本部推せん候補5人は全当選を果たした。新人5人の争いとなった神戸市長選は、「新しいス

テージの神戸」をつくらうと訴えた久米元吉(久米補)が、16万1千889票を獲得して激戦区で初当選を果たした。西脇市議選の組織内の村井信樹補は、合併以来初の投票で2期目の当選。南あわじ市議選の森上ゆうじ候補は1万3千7百88票で3期目の当選。豊岡市議選の伊賀ひろし候補は2万6千2百88票で5期目の当選。新温泉町議選の中村茂候補は7万4千4百44票で初当選を果たした。

「特定秘密保護法」▼参院でも絶対多数を占めた安倍政権は、国民を縛る恐ろしい法案を投げかけた。1国家安全保障会議「設置法案」セツトである▼「特定秘密保護法」案は、外交防衛など安全保障に関する情報のうち、特に漏えいし日本の安全に著しい支障をおおせられるものを、一定期間「特定秘密」に指定し保護する法案だ。情報を漏らした場合、最大で懲役10年の罰則が科せられる▼この背景には「日米安全保障協定がある。日米が締結した一軍事情報包括保護協定では、軍事情報保護制度は、改革が掲げられていた▼憲法は国民主権を基本原則としているが、国民の知る権利や「報道の自由」は民主主義の根幹である。市民が如く開示される可能性がある▼憲法改正手続きのため一国民投票改正一法案成立にも意欲を燃やす安倍政権を思い通りにさせてはならない。「脱原発の取り組み」のように国民運動で制定を食い止めるたがいが急務となっている。

出発点とし、取り組みを積み上げてきた。12月には闘争委員会を開き、総括論議を深める。

県本部は7月から現業・公企の闘争態勢を確立し、職場単組の要求づくりを行った。

当で行っているが、これ以上人員削減と大変」と述べ、統一闘争で新規採用を勝ち取ることの大切さを訴えた。

しよう

SAYAMA
 みえない手錠をはずすまで

完成上映会の案内

50年を迎えた狭山事件。石川さんの無実をより多くの市民に知ってもらおうとドキュメンタリー映画が製作されました。上映会への申込、各地域での上映活動をお願いします。

完成上映会
 2013.11.12(火) 2014.1.13(月)
 各日第1回 開場14:00 上映14:40~
 第2回 開場17:30 上映18:10~
 兵庫県民会館県民ホール

問い合わせは県本部まで



子どもも大人も盛り上がった

黒豆収穫祭

マジック、抽選会など 家族も一緒に楽しむ

10月19日、県本部の黒豆収穫祭が篠山市収本で開催された。組合員と家族ら約250人が参加し、枝豆収穫、豆料理などを満喫した。心配された天候も収穫祭の間は回復、「今日は1日楽しみたい、交流を深めたい」と本多義弘委員長があいさつした。
神戸市役所の横田さんの協力で実施した子ども向けマジックショーは、その腕前に大人もビックリ。メインの抽選会では、地元のお菓子がたくさん並び、宿泊券など、豪華賞品が用意され喜びとため息が入り交った。



控訴審での支援を呼びかける川端代表

豊岡裁判闘争

10月16日 控訴審第1回期日

「気持ち切り替え頑張る」

豊岡過労自殺公務員災害認定闘争の控訴審第1回期日が10月16日に行われた。今年7月神戸地裁は、原告の主張を全面的に認める判断をしたが、被告の地方公務員災害補償基金が控訴していた。
被告の控訴理由は、①原判決の労働時間について②公務の質的過重性について③うつ病発症時期。書面のやりとりで終了した第1回期日の後、報告集を開き、被告の主張と原告の反論を確認した。

定闘争の控訴審第1回期日が10月16日に行われた。今年7月神戸地裁は、原告の主張を全面的に認める判断をしたが、被告の地方公務員災害補償基金が控訴していた。

控訴理由への反論を土居由佳弁護士が説明。①は判決の時間外労働の計算が間違っていたのは事実だが、再計算しても死亡前1ヵ月で79時間44分、2ヵ月で109時間33分となり、過労死水準にあることには変わりない。②について被告は「A4用紙2〜3ページの地域福祉計画の作成だった」と主張するが、

無駄な時間を大切に

働く女性の 交流集会

香山リカさんが講演

10月27日、第17回働く女性の交流集会がひょうご共済会館で開催された。実行委員会の藤原潤子さん(県本部女性部長)のあいさつ後、職場報告が行われた。続いて今回のテーマ

マである「職場にゆとりをとりもそうあなただの心と身体は元氣？」の講演が、香山リカさん(精神科医)により行われた。「私たちの生活は効率的になり、無駄な時間が全くない。しかし、無駄だと感じる時間こそ、心と身体が緊張せず休まっている。頑張り過ぎず、何とかならると思うようにすることも大切。アクションや失敗が起こった際、何が原因なのかと、あまり自分に向き合いたくない。身近な人やプロに相談すれば、解決策があることに気付ける。普段から少しずつ周囲に弱みを見せつつ、助け合えばいいのでは」と話した。



憲法の危機訴える 部落解放第34回県研究集会

部落解放研究第34回兵庫県集会在、10月19〜20日にかけて豊岡市・城崎大会議館を主会場として、県内から約350人が参加し開催された。

今日の改憲の流れは、これまでの反差別・人権擁護運動が築きあげてきた人権文化の破壊に繋がるとの認識のもと、「日本国憲法を守り、あらゆる人の人権が尊重される社会を築くために」をメインテーマとして、記念講演でも、大阪市立大学の林一教授を講師に、人権の視点から「日本国憲法」を講義する内容とされた。

2日目は、映画「見えない手錠をはずすまで」の金聖雄監督を交えて、シンポジウム「石川一雄さんの無罪を勝ち取るために」が持たれ、県民共闘の森蔭守事務局長が県民共闘としての狭山闘争への関わりや1日も早い石川さんの無実を勝ち取るために、今後も世論喚起や映画の上映運動に取り組んでいく決意を語った。



講演を行う香山さん

県本部第33回囲碁・将棋大会

参加者募集中

- 大会日程 12月7日(土)
- 会場 ひょうご共済会館
- 大会開催クラス
 - <囲碁の部>
 - 本因坊戦 四段以上
 - Aクラス 三段〜初段
 - Bクラス 二段〜初段
 - Cクラス 一段〜3級
 - <将棋の部>
 - 名人位戦 四段以上
 - Aクラス 三段〜初段
 - Bクラス 二段〜初段
 - Cクラス 一段〜3級
- 応募締切 11月14日(木)

県、神戸ともに 勧告は見送り

県、神戸ともに勧告は見送りを決めた。県人事委員会は10月10日、公民格差は月例給(49円・0.01%)、賃金削減後は2万8811円・7.58%の格差が極めて小さく、一時的な(△0.01%)も民間と均衡しているとして改定を見送った。課題であった住居手当は民間の支給額とおおむね均衡しているとして廃止には触れず、現給保障廃止、50歳代後半の昇給見送り、報告集の見直しは言及されなかった。
県職労、神戸市労連は、独自賃金カットの回復、現給保障廃止・高齢層の賃金抑制反対へ、全力でたたかひ抜く決意だ。

じちろう
マイカー共済
カーライフを応援する、頼れる補償

車両損害補償の
「おすすめ安心タイプ」は **一般補償 + 付随諸費用補償**



大切な愛車だから
さまざまな損害に備えておきたい。

事故はもとより、盗難、いたずら、身の回り品の損害まで補償!

詳しくは組合まで
お問い合わせください

全労協 全国労働者共済生活協会の
自治労共済本部
※日本自治労連労働者共済生活協会の

自治ひろこ

1420号

当面の日程

- 19日 仕事と生活の調和フェスタ (兵庫県公館)
- 20日 第4回 ビース・セミナー第2講義 (神戸労働会館)
- 23日 連合兵庫女性委員会第23回定期総会 (兵庫労働福祉センター)
- 連合兵庫青年委員会第24回定期総会 (ラッセホール)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

2013. 11. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

地域財源を保障せよ

10月29日 国会議員へ要請行動

2014年度予算編成時期を迎える中、地方交付税総額を確保し、安心できる社会保障制度の確立などを求める地方財政確立中央行動が10月29日、取り組まれた。全体集会を開いた後、参加者は国会議員への要請を行った。



星陵会館で行った決起集会

の冒頭、公務労協の田中地公部会議長は、「地域を守るのは私たち。高齢化時代を迎え、益々福祉が重要になる。地域財源を確立させよう」とあいさつした。

民主党、社民党など政党代表者も激励に駆けつけた。民主党の原口一博衆議院議員は、「公務員の労働基本権回復が地域と人権を守るために必要」と訴えた。

兵庫県本部からは、宮本誠之副委員長をはじめ6人が参加。「地域の財政需要を把握したうえで地方交付税の確保を」と参議院議員に要請を行った。

雇用と年金の接続を



市川町職でのオルグの様子

賃金抑制許さない

県本部 単組オルグで意思統一

秋学期の課題を意思統一するための単組オルグを、県本部は10月9、27日にかけて行った。人事院は勧告を見送ったが、地公賃金削減によるカットの復元や雇用と年金の接続などが重要な課題だ。また来年度には大幅な賃金合理化が狙われており、今確定からの闘争を鋭くも問われている。県本部は10月15日と22日にヤマ場を設定して交渉を行う。なお神戸市労連は14日、県職労は27日にヤマ場を迎える。

但馬波ブロック

但馬ブロック秋学期の取り組みについては、10月16、18日にかけて現業協議会主催による現業学習会を開催し、現業公企闘争の推進に向けた意思統一を行った。学習会では各単組の要求書提出状況や独自課題について報告を受けることも、統一行動日には全国の仲間と連動する。最低でも時間外職場集会を開催することを確認した。また、篠山市当局による現業賃金合理化提案がされるなど、現業賃金引き下げ攻撃が強

給与削減は今年度限り

企業職員の苦情処理も追及

県本部は11月5日、県市町振興課と定期の交渉を行い、地方公務員給与削減の未実施自体への引き下げ

要請を行わないことをはじめ、数点の課題について考え方を質した。給与削減については、現時点で国からの動きはないことや今年度限りの情報があるとの見通しを示した。県本部は法で定めた3月の終了を強く要請した。再任用制度の導入について、5団体が未制定であり、条例化に向けて助言して度から実施できる制度設計が必要だと早期の自治体への対応を要請した。苦情処理調整会議の設置については、助言していくとしたが、「企業職は「不服申し立てができない」との



確定闘争の課題を追及した

阪神淡路ブロック

阪神淡路ブロックでは、10月14日に阪神地区(北、南の2班)、10月23日に淡路地区のオルグを行った。



阪神人事協に申し入れを行った

まず県本部から、人事院報告の骨子ならびに現業公企統一闘争、賃金確定、一時金闘争の課題などについて説明した。特に、今闘争の重点課題として、来年4月からの無年金期間に対応するための新たな再任用制度の賃金(労働条件)の確保、そして人事院報告で触れられた「給与体系の総合的見直し」について提起し

県本部副委員長を先頭に単組オルグを実施し、闘争課題を意思統一した。但馬波地域においては新温泉町以外に再任用制度が条例上整備されているもの、これまで適用はほと

んどなく、新規採用との兼ね合いもあり、交渉が進展していない状況となっており、雇用と年金の確保を接続するためにも早急な対応が必要となっている。

しこう

今年の賃金確定一時金闘争もまた、県本部は15日と22日に統一行動を配置している▼このところのフベノ

淡路地区の4単組は、再任用規程がこれまで運用されていなかったことあり、今闘争での取り組みの強化を確認した。続いて、各単組から独自の課題について報告を受けた。尼崎市職労の課長補佐係長級の管理職手当廃止の案を提出し、三田市職労の図書指定管理者導入、宝塚市職労の賃金カット提案、西宮市職労伊丹水防の上下水道統合、南あわじ市職労の清掃センター職員配置など、各単組が直面する課題に対する具体的な取り組みについて、共同体制の確立を確認した。

見解を示したため、引き続き協議を進めていく。東日本大震災に関わる長期派遣者の健康管理については、県市と情報共有に努めるとともに派遣職員との意見交換や健康管理について通知しているとし、臨時非常勤の年金支給年齢引き上げに伴う雇用延長については、現行制度を前提に対応するとしたため高齢者雇用安定法の趣旨を遵守するよう強く求めた。

いまいち座

かくれんぼしてる間に寝てしまい



長谷川 昭三 (兵庫県職労)

第50回護憲大会

憲法理念を広げよう

沖繩から「平和・人権」を考える

憲法理念の実現をめざす 第50回大会(護憲大会)が11月3・5日、沖縄県那覇市内で開催され、1200人が参加。改憲阻止や日米軍事演習の全国化の問題などを討議した。

開会にあたって平和フォーラムの福山真劫代表は、集団的自衛権をめぐる動向に「今こそ大衆運動の強化を」と怒りを込めてあいさつした。

人権、いのち―憲法と沖縄をテーマにしたシンポジウムには、琉球大学の島袋純教授、琉球新報社の与那嶺路代記者、報道カメラマンの國吉和夫さんが登壇。復帰後も安保体制の

もて米軍の占領は継続している「日本の立憲主義は人権が法前に存在しない」と話した。2日目は「非核、平和と安全保障」「憲法」など7分科会と3つの交流ひろば、そして2つのフィールドワークで交流を深めた。東京新聞編集委員の半田滋さんは、非核、平和と安全保障の分科会で、「尖閣の状況を見て米海兵隊は抑止力になっていない。嘘だらけの政府に、そのことを認めさせる必要がある」と強調した。



自衛隊の現状や秘密保護法の危険性を語る半田さん

最終日には、憲法をいかに運動を全国で展開することを確認した。

秘密保護法案を廃案に

政府は、10月25日、「特定秘密保護法案」を閣議決定し、臨時会で審議がはじまった。知る権利が侵害され、民主主義の根幹に触れるにもかかわらず、多くの部分でこれほど曖昧な法律案はない。

政府は、10月25日、「特定秘密保護法案」を閣議決定し、臨時会で審議がはじまった。知る権利が侵害され、民主主義の根幹に触れるにもかかわらず、多くの部分でこれほど曖昧な法律案はない。

民主主義の根幹ゆるがす 集団的自衛権の行使とセツト

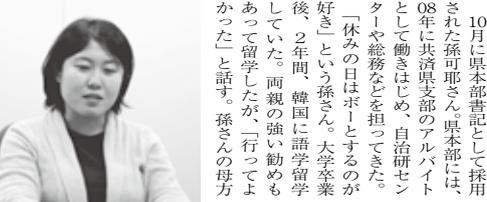
を強くする国家ほど、戦争をたやすくてできる国家あることは疑いようもない。多くの反対の声がある中で知葉が挿入されたが、それも努力義務に止まり、公務員への厳罰

家を無制限な恣意的判断を許している。特定秘密を指定するものが当該行政機関と関係していることからすると、重要な国家情報に関し、恣意的な情報統制情報漏洩ができるおそれがある。

刑が示され、国民の不利益に対する内部告発などは全く不可能になる。公務員に対する報道機関の取材も制約され、結果として国民の知る権利が侵害されるおそれがある。

このように、私たちが「特定秘密保護法案」に反対する理由は枚挙に暇が無い。特定秘密保護法案は、日本社会の後の在り方を左右するものであり、歴史の反省の上に立ち、断じて許されるべきものではない。私たちは、平和と民主主義を守るため、廃案に向け全力で取り組みなければならぬ。

孫可耶さん 韓国に語学留学 親せきとの関係深まる



10月に県本部書記として採用された孫可耶さん。県本部には、08年に共済兵庫支部のアルバイトとして働きはじめ、自治研センターや総務などを担ってきた。「休みの日はボーとするのが好き」という孫さん。大学卒業後、2年間、韓国に語学留学していた。両親の強い勧めもあって留学したが、「行ってよかった」と話す。孫さんの母方の親せきは、釜山にいるが、言葉の壁があつて子どもはあまりコミュニケーションがなかった。言葉や文化を学ぶことで、親せきとの関係も深まったと喜びをみせる。「日本で育ったが、韓国に行くことと落ち着くんですよ。年2、3回は「旅行で訪れるよ。父親は、在日外国人の人権確立の運動にかかわっている。その姿を見てきたためか、運動と仕事は別」と思ってきた孫さん。そんな思いとは異なる方向に進むことになった。「労働組合のことはわからないことばかりだけど、やるからには頑張つてみたい」と抱負を述べる。香川の大学に通っていたためうどんなにはうさぎ。県本部から少し離れたお気に入りのうたん屋さんまで、たまに運出するのが密かな楽しみとのこと。県本部では、総務、青年部、女性部を担当する。

辰巳さんが副事務局長に 地公賃金問題で支援求める

10月31日神戸市内で第14回定期大会が開催され、新・信彦前書記次長が選出され会長に辻治前事務局長、一た。有が保証されず、一部身元や官條による情報の占有が危惧される。特定秘密を取り扱う人のプライバシーについて、公私を問わず、調査し管理する「適性評価制度」が提案されており、秘密を取り扱う人への思想統制、差別、人権侵害が起こるおそれがある。



副事務局長に選出された辰巳さん(右から2人目)

来賓あいさつでは、神戸市長に当選した久元さとうさんがお礼と「生まれ育った神戸のために、全身全霊で仕事にあたりたい」と決意を述べた。質疑では、左川忍神戸市役委員長から神戸市長選のお礼、宮本誠之県本部副委員長からは、給与削減に対するたたかいへの引き続き協力、地方議員の推薦などについて差別地協の協力体制構築へ助言を、公契約条例の制定と非正規の組織化、処遇改善の取り組みへの協力、支援を要請した。

自治労臨職集会 雇用上限撤廃 継続の運動を

10月20臨時非労働者職員雇用上限突破!全国集会と均等待遇と雇定を求め、東京ビッグサイトにて10月20日2つの集会が行われた。氏家自治労委員長は「雇用上限撤廃、雇定継続の組織的な運動を取り組むため、現状

と運動の進め方を交流し、自治労内外に発信し、世論喚起をはかるために開催」とあいさつ。パネルディスカッションは「自治体や記者の立場から雇止めを考えよう」と、朝日新聞記者や福岡市図書館司書、長崎県職員のメンバーで行われた。分科会①(賃金労働条件の取り組み)組織拡大、兵庫からは山本三千子臨職事務局長が市町振興課交渉の取り組みを報告した。

Advertisement for 'Jichirou Mycar Kyosei' (じちろうマイカー共済) featuring a superhero character. The text promotes 'Standard Type' (標準型) insurance, highlighting benefits like peace of mind, basic compensation, and discounts. It includes contact information for the Jichirou Kyosei Main Office (自治労共済本部).

自治ひろこ

1421号

2013. 12. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 2日 2014春闘勝利!自治労青年女性中央春闘討論集会(自治労本部)
- 6日 第2回県本部代表者会議(東京グリーンパレス)
- 6-7日 連合第17期「女性リーダー養成講座」基礎編(ラッセホール)
- 7日 第33回自治労兵庫県本部囲碁・将棋大会(共催会場)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

民主主義の根幹ゆるがす

特定秘密保護法の廃案求め座り込み



政府の情報統制につながり、民主主義の根幹をゆるがす特定秘密保護法案の国会審議がヤマ場を迎える中、「法案反対」を訴える座り込みがひょうご憲法集会実行委員会(事務局)自治労の呼びかけで行われた。11月19日から3日間、三宮マイン前で午後3〜5時まで実施。延べ150人が参加した。

「国民の多くは反対している。政府はその声に耳を傾けてほしい」と参加者は訴えた。

「私たちが知る権利を守れ」と街頭から声をあげた



統一行動日に向け取り組むことを確認した

地公波及に区切りを

賃金削減は3月末で終了

13確定闘争勝利 県本部決起集会

県本部は11月8日、13確定闘争勝利!地方財政確立をめざす!決起集会を県庁前で開き、47単組650人が参加した。今確定闘争で①地公賃削減措置を3月末で終了させること②雇用と年金を確実に接続させることなどを統一課題として確認した。また、各ブロック代表からは、賃金独自カットの撤回や図書館の指定管理者制度導入反対などの決意表明があった。

確定闘争 神戸 住居手当の原資確保

13確定闘争第1波統一行動日の15日を背景に多くの単組で交渉が行われた。県職労は13日の交渉でも独自カットの回復は非常に困難。現給保障の廃止、高給層の昇給停止、昇格制度改善に加え、6級への任用上の措置廃止も含めて検討

冒頭、特定秘密保護法や原発輸出など、政治情勢に触れた本多義弘委員長は、「人権や生活を脅かす安倍政権のたたかいが求められている。確定闘争、地財確立といった目前の課題を

と、の当局回答に対して、27日のスト通告を行い再検討を求めた。

神戸市労連は11月14日の最終交渉で、住居手当の持ち家費を500円引き下げ7200円に、賃貸分は1900円増の1万1400円として原資分を確保し持ち家の手当を守った。

川西3単組共闘は14日の最終交渉で、一時金の役職加算の5%、8%に1%加算(今回限り)、夏期休暇5日に削減(現8日)は、

当分の間7日に縮小で、断腸の思いで妥協した。全体的には、第2波統一行動日に向けて交渉を強めている。

町職連協 再任用の実施めざす

条例化止まりの実態を改善

10月28日、町職連協は県本部会議室で単代会議を開催し、今確定闘争で再任用条例の運用をめざすことを確認した。

例年、10月末に現業公企の中間総括と確定闘争の意思統一を目的に2日間の日程で交流集会兼単代会議を開催していたが、今年は台風23号の影響で急きょ日程を延期し、単代会議のみとなった。

県内12町の最大課題は高齢者再任用の制度をどう構築し、運用するか。現在



午前中に決起集会を行った

神河町山名さん 無投票で再選

11月12日町長選挙 神河町長選挙が11月12日に告示され、組織内の山名さんが無投票で再選された。

町は、県の運用内容を参考にしながら定期に賃金労働条件をつめていくことと確認した。

した。出発集会で山名さんは「住んで良かったといわれるおつくりを引き継ぎ、取り組みたい」とかけつけ、支援者に訴えた。自治労が政権下で地方の情勢は厳しい中、山名さんへ期待も大きい。

青年女性性 職場で行動しよう

県本部決起集会の午前、青年部女性部は兵庫県民会館で、秋季闘争勝利!青年女性決起集会を開催した。集会には30単組85人が参加し、確定闘争やマ場の向け「賃金労働条件改善のため、青年女性性行動しよう」と全体で確認した。

開会にあたって青年部の藤原敏也部長は「本確定闘争は我々の今後を占う上で大切なたたかい。若者も関心を持ち、みんなとものに頑張ろう」とあいさつ。来賓には県本部の本多義弘委員長がかけつけた。

女性部の前垣志穂書記長より基調提題の後、青年部より藤原部長が10月28日の平瀬書記長が10月28日の町振興課交渉の内容を報告。「1残業デーを理由に超勤手当を支払わない問題については、青年部としてでも申し入れを行い、市町振興課も自治体が違反していること事態おかしといっているが、単組もきっちり動いてもらわないと変わらない」と呼びかけた。

いまいち座

氾濫する横文字...



大植 賢 (豊岡市職労)

しこう

先日同窓会があった。地元の小中学校の同級生で、中学校も他小学校からの合流はなく、9年間小・中1校だけのアットホームな環境でほぼ全員の名前をフルネームで覚えていた。男子達、女子達と呼び合っていた頃は速く残っていたが、どこかに面影が残っている。あちらの男子グループはゴルフの話をしていて、ボギーやスコアがどうとか話しているが、ルールがわからないので笑って聞く。こちらの女子グループはダイエットの話を。これ興味がある。「の春から3ヶ月やったのよ」「どうやって」「1ヶ月で定年退職してずっと家にいるストレッチでやせたのよ」女子会員うなずく。2013年度以降、年金の報酬比例部分の支給開始年齢が65歳から66歳へと段階的に引き上げられる。おまけに平均寿命は延びているので、貯蓄額では不安だ。年金満額支給まで定年延長で働いてもらうこと。家庭円満と家の健康のため、家庭円満で留守がいい」とは男子達に失礼か。

市民とともに考える

各戸ビラや講演会

図書館の指定管理導入に反対

三田市職労



ビラまき前段に状況報告を行った

三田市職労は、市立図書館への指定管理制度導入に反対する取り組みを続けている。図書館は、2011年1月、労使で「直営を堅持する」と確認したにもかかわらず、当局が一方的に破棄した状態となっている。指定管理の意義や必要性等具体的な議論がなされないまま、導入に向けた手続きだけが強引かつ拙速に進められており、市民に対しても、いまだ十分な説明は行われていない。

同労組は、この間、県本部や阪神淡路ブロックの各高砂市職は、現在、「処分を撤回せよ」の要因は当局に

「処分を撤回せよ」

高砂市職

えとうと取り組んでいる。市民ビラ配布を行った17日、図書館組合員の仲間あけて、啓発ビラの配布行動や、講演会の開催など、市民とともにこの問題を考

と、市民にも大きな影響がある」と参加者に訴えた。市当局は12月議会で指定管理者の承認を認めるとして、長期的な視点に立った資料収集ができなくなるな

ため市職は6月14日に1時間ストライキに突入した。スト回避できなかった責任は短い協議期間に加え、誠実な交渉を行わなかった市当局にある。県本部も交え今後の対応について協議の場を設定するよう申し入れてきたが、協議は行われていない。市当局は9月27日にスト実施に伴い、委員長に戒告をはじめ組合員247人に処分を発令した。

「国公給与削減の地公波及阻止のたかいは自治労あけてのたかいはあり、スト行使に対する処分は自治労全体への攻撃であると位置づけ、県本部も県内の各組、組合員の支援のもと処分撤回に向けたたかいを進めていく。

各地域ブロックが総会

非正規の処遇改善を

猪名川、芦屋、尼崎が発言

阪神淡路



新役員に選出されたメンバーがあいさつ

10月30日、淡路市の北淡震災記念公園セミナーハウスで、第43回阪神淡路ブロック定期総会を開催した。25単組63人が参加し、井正美議長があいさつした。

後、活動会計報告、方針予算案の提起を行い、意見質疑を受けた。単組からの発言として、猪名川臨職労の民間委託さ

れた学童保育事業を再直営化した取り組みをはじめ、三田市の市立図書館への指定管理制導入反対の取り組み、尼崎臨職労組の様々な合理化提案とのたたかい、芦屋指導員労組と尼崎嘱託労組からは臨時非常

勤職員の賃金労働条件の改善に向けての取り組みなどがあつた。役員改選では、新たに岡田光次、服部圭司副議長、橋本維文、岡本智依、岡事務局長を選出した。

「現業退職不補充という方針を変えさせることができたい」と、明石市職労など4人の代表が発言し、方針を豊富化した。

岡市職労代表員より公務災害認定闘争への更なる支援要請がされた。

今回の役員改選ではブロック議長に豊岡病院労組の隅田龍二さんを、副議長に豊岡市職労の山本陽一さん、八鹿病院職組の村上泰啓さん、朝来市職労の村上泰啓さん、丹波市職労の森本英行さん、事務局長に事務局より秦信昭さんを選出し、今後2年間の新体制を確立し、岡田新議長の団結ガンパローで総会を終了した。

スト処分の撤回、雇用と年金の接続を

播磨 冒頭、宮本誠之議長が「地公賃金7.8%カット問題において、高砂では市長が頑なに考えを変えず、職員に賃金を一律引き下げたため、ストを実施しなければならなくなった。スト実施に対して9月には処分を撤回した。処分撤回に向

85人が参加した。組み要請をお願いしたい。今回の確定は、まず7.8%カットについては約束どおり来年3月に止めさせなければならぬ。また雇用と年金の接続が重要となつてくるとにかく希望者全員の雇用を確保し、国公4級再任用賃金をめざした取り組みをお願したい」とあいさつした。

活動報告、方針案に対して「スト処分に対して撤回を求め、取り組みを進めて

但馬丹波ブロックの第43回定期総会が11月5日に豊岡市民会館で開催され、全体の拍手で運動方針を原案どおり可決した。

また総会では川端啓介豊岡市職労代表員より公務災害認定闘争への更なる支援要請がされた。

新議長に選出された隅田さん

「地公賃金7.8%カット問題において、高砂では市長が頑なに考えを変えず、職員に賃金を一律引き下げたため、ストを実施しなければならなくなった。スト実施に対して9月には処分を撤回した。処分撤回に向

「地公賃金7.8%カット問題において、高砂では市長が頑なに考えを変えず、職員に賃金を一律引き下げたため、ストを実施しなければならなくなった。スト実施に対して9月には処分を撤回した。処分撤回に向

じちろうマイカー共済は『標準型』から

ベースは『標準型』

組合員とその家族に手頃な掛金で安心を提供する「じちろうマイカー共済」の基本補償が「標準型」。この「標準型」をベースにさまざまな特約や割引、車両損害補償などを組み合わせ、よりニーズにあった補償にできます。

自治労共済本部

詳しくは組合までお問い合わせください

自治ひろこ

1422号

2013. 12. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守・編集人/宮本誠之

当面の日程

- 12~13日 自治労2014春闘討論集会 (TOC有明)
- 13日 豊岡過労自殺公災認定控訴審 第2回期日 (大阪高裁)
- 14日 第24回連合兵庫もちつきフェア (ポートアイランド)
- 21日 人権教育ひょうご青年交流会 (ラッセホール)

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920 E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

No	地区	日	場 所	単組数	人数
1	神戸	11月8日	ひょうご共済会館 ザルビア	3	14
2	阪神	11月11日	宝塚市役所	3	6
3	淡路	10月28日	海本市役所 南庁舎 会議室	3	14
4	播磨海部	11月5日	加古川・勤労会館	5	11
5	中播	11月7日	赤川町・就業改善 センター	3	7
6	北播	11月6日	加東・福祉センター	4	13
7	西播	10月28日	相生・福祉会館	6	26
8	南伊・丹波	11月7日	朝来・和山公民館	5	12
9	北伊	11月14日	豊岡市民会館	4	13

青年女性 地域別学習会に116人

青年部・女性部は、確定闘争を強化するため10月28日~11月14日にかけて県内9カ所で学習会を開催した。36単組116人が参加し、地公賃金カットの実損額を改めて確認するなどして「生活改善に向けたたたかう」と意思統一した。試験制度や現業賃金合理化などで賃金水準が低下しつつある。「生活給を保障せよ」と常任委員会では議論している。



県職労丹有支部での決起集会

11月26日を最終交渉とした県職労の確定闘争は、当局の不誠実な対応により12月3日にストを再設定した。12月2日の交渉は午前3時まで断続的に行われ、「独自カット」の一部緩和措置は昨年同様、今後の方向性は1月の行革交渉で改めて協議を確認し、ストを中止した。現給保障、勤務実績の給与一時金への反映は来年度改めて協議、6級への措置は今年度と同様の取り扱いを基本としたが、高給層の昇給、昇格の見直し

確定闘争第2波

三木は独自カット解除に

13確定闘争は県本部第1波(15日)、第2波(22日)を背景に多くの単組で回答を引き出し、交渉が行われた。給料表一時金の改定はなかったが、地公賃金削減措置の3月終了は県神戸をはじめ多くの単組で確認。三木は独自カットの解除を確認、再任用の賃金運用は淡路地区などで協議を継続、尼崎、芦屋で臨職の待遇を一部改善、高給層の昇給昇格の見直しや現給保障の廃止提案では厳しい交渉となった。

地公削減の終了確認

は1年延長の15年1月1日実施となった。

阪神淡路ブロック
阪神淡路ブロックでは、阪神間で尼崎市嘱託労組、芦屋嘱託共闘、臨職労が粘り強い交渉を進め、年末一時金アップを勝ち取り、芦屋水芳は再任用賃金3級(国公4級)を確認した。一方、伊丹市と川西市で

播磨ブロック
11月15日に4単組、22日に6単組がスト配置し交渉を実施した。

平均7%の賃金カットが実施されている三木市では、今年度末で解除することを確認した。

但馬丹波ブロック内各単組の確定闘争は月例給一時金の改定がない中での取り組みとなったが、豊岡病院労組はストライキを配置

三田市 図書館指定管理「反対」 伊万里の盛市議招き講演会



市民と図書館のかかわりを話す盛さん

三田市は、市立図書館に来年度から指定管理者制度を導入しようとする準備を進めている。図書館を利用する市民を置き去りに、市は性急な動きを止める気配すらなく、12月議会で業者選定を強行しようとしている。

11月23日、郷の音ホールで「私たちの図書館を育てよう」講演会が開催され、市民ら80人が集まった。講師は、佐賀県伊万里市で図書館づくりの市民運動に関わった、盛泰子さんが務めた。盛さんは、図書館学の学会や、他の図書館の見学などを行い、行政に提案する活動を展開。設計

度限りであることを確認したほか、来年4月からの再任用制度の内容について協議した。

脳で14年度は嘱託での採用を行うとの考えを示しており、引き続き再任用の義務化に向けた取り組みが必要となる。

但馬丹波ブロック内各単組の確定闘争は月例給一時金の改定がない中での取り組みとなったが、豊岡病院労組はストライキを配置

労使関係正常化 経営改善が課題 公営競技評 秋季オルグ



阪神競争労組での申し入れ

午前には、阪神公営競争労組(園田競馬)を訪ね、単組より労使交渉課題の報告を受けるとともに、松谷競馬事業をめぐり環境の整備を受けた。午後には、尼崎競馬場に移動し、競走馬が会労組尼崎の仲間から現場の説明を受けることになり、尼崎競馬場からは正常な労働環境となっており、課題は少ないと報告を受けた。

両場とも最大の課題は売上金の向上で労働条件や場の存続にも影響することから積極的な取り組みが望まれる。オルグ後は、売上げ協力を行った。

いまいち座
数の暴挙=強権

大西 英剛 (兵庫県職労)

しこう

「日本は神風が吹くから大丈夫。戦前の話になると必ず母親が話すエピソード。暗い雰囲気をおもくした」と父を遇った母親の言葉に祖父は「そんな風は吹かない」と一言。戦後、大人が早い時期から敗戦を感じていたと聞き、アメリカ映画を観てさらに「ガツカリ」労働組合が機能している職場は風運しがよくなる」と未組織の現場で説明することがある。仲間と自由に話し合い、使用者側と対等に交渉、意見交換するということ。慣れるまでに時間がかかる。いなく労働者保護の労働法制が整っていない。「言わない方がよい」「やめとこか」という自主規制が優先しがちになってしまっている。政権が変わる度に生活を取り巻く制度が度々変わっており、労働法制は改善が予想される。労働組合を保障する現行憲法施行前から労働組合という先人と「閉結」や「闘争」という言葉を重く感じる。自由と権利に慣れずきいたな。

地域の発信に奮闘

天才軍師 黒田官兵衛。彼がいなければ豊臣秀吉の天下統一はなかったともいわれている。2014年のNHK大河ドラマは「軍師官兵衛」だ。彼の生誕地であり、一族の家老から天下人の軍師へと飛躍する舞台となった兵庫県には、官兵衛ゆかりの地が多数ある。そして自治体ではドラマを機に、地域文化再発見に向けた啓発や、住民参加の町づくりが行われている。ドラマの舞台裏で、自治体職員が奮闘している。新春座談会では、官兵衛ゆかりの深い、姫路市、加古川市、伊丹市から参加をいただき、思いをうかがった。

ドラマ決定の裏側で

宮本 今年もよろしくお願ひします。1月5日からスタートするNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」では、官兵衛の生誕地である兵庫県が重要な舞台となる。各自自治体で、私たちの仲間が何を思い、どんな風に奮闘しているのか、一般誌(紙)とは違った角度から取りあげたい。まずは、各市と官兵衛の関わりを聞かせていただきたい。

宮本 全体的にも注目を集め、市民の関心も高いと思うが、町づくりをどのよう

新春座談会 官兵衛 飛躍の地 ひょうご



柿本 英夫さん

姫路市職、「官兵衛の人間性を育んだ姫路を知ってほしい」



中畔 明日香さん

伊丹市職、「官兵衛と村重の関係を学術的な視点で発信したい」

新発見 官兵衛の書状

市内あちこちに目薬の木も



かんべえくん

店舗が並んでいる。商店の方と協力して地域の名産を開発・宣伝したり、自分たちの住んでいるところは有岡城の中だよ」と知ってもらうため、P.T.Aと協力してスタンラリーを企画している。そういう意味では、大名になってからは、村重の家臣を抱えている。2人の本当の関係を学術的な立場から発信していくことも官兵衛を通して、他の自治体の方との交流が増え、刺



中村 匡希さん

加古川市職、「ドラマをきっかけにふる里意識を向上させたい」



宮本 誠之さん

県本部副委員長、教官

切れた。大河ドラマの力を痛感した。13年4月からは民間企業により月2回のツアーに事業化され、特に今年1月から3月までは毎週開催される。

宮本 苦労したこともあろうか？

柿本 かんべえくんの着る大きな羽織も、真夏には酸欠状態のように感じることもある。

宮本 県内の組合員の方々にも各市を訪れてもらいたい。担当のお勧めポイントは何ですか？

柿本 姫路の場合はやはり大河ドラマの世界を体感できる大河ドラマ館、天井が8m、中央には4mの物見櫓をかきびえ、従来に無い大きなスクリーンを味わってほしい。姫路城の歴史館とセットでぜひ見てもらいたい。

外せないのが広雲神社。歴史ある神社でこの重要文化財でもある。ここで重宝と一緒に家伝の目録を売って買ったことが大名への道に繋がった。御師が北は若狭から南は安芸あたりまで売り歩いてきたが、それが官兵衛の情報網の役割を果たしていたともいわれる。現在、市内のあちこちに目薬の木を植樹している。その他、官兵衛が山崎に1万石を賜ったとき、播磨

官兵衛ゆかりの地

有岡城跡(伊丹市)

戦国時代末期の天正2年(1574)、武将・荒木村重が伊丹氏に替わって伊丹城の領主となり、大改築を施したのが有岡城。侍屋敷、町屋を堀と土塁で囲んだ惣構えの城で、難攻不落の名城とうたわれた。

観音寺(加古川市)

曹洞宗寺院で本尊は観世音菩薩。官兵衛の妻・光が生まれた櫛橋家の居城・志方城がかつてここにあった。現在の観音寺の境内を本丸とし、内堀の周囲に二の丸、西の丸が考えられる。

広隆神社(姫路市)

奈良時代に吉備備前が創建した歴史ある神社で、国の重要文化財に指定されている。官兵衛の祖父・重隆は、広隆神社で御師と呼ばれる人たに、神社の神符ともうらうら財を成し、黒田家の礎を築いたと伝えられている。



てるひめちゃん

激になっている。有岡城主 荒木村重は、茶人で有名なので、抹茶の菓子も販売している。最近では、市民の方が外に出掛ける時、「伊丹はこんなところだよ」と地元の名産を土産に持っていることもある。市民自らが町をアピールする姿が嬉しく思う。

宮本 地域の活性化や歴史認識の深化という点で、官兵衛に関わっているが、どんな苦労や喜びがあるか？

中畔 13年の秋以降、取材が多くなって休みがほとんどない。タダで伊丹を全国発信できるのがいい。私自身、有岡城のそばに住んでいるし、仕事では有岡城の発掘調査に関わって

のお面をかぶってパレードをした。同じ黒田という点で、知らない人同士の交流になった。御着城跡のある御国野町では、12年11月には既に小学生ガイドが発足し、活動している。全国から訪れる観光客を、地域あげてもなそう盛りあげたい。

中村 志方町では、「光姫の会」が発足し、1月26日に光姫の花嫁行列を再現する。地元中学生が光姫役をするということになっている。先程も触れたように、加古川にも文化的にゆかりのあるところがある。ドラマを機会にふる里意識の向上につながるなど思っている。

中畔 有岡城下には、今は

加古川市職、「ドラマをきっかけにふる里意識を向上させたい」

宮本 全体的にも注目を集め、市民の関心も高いと思うが、町づくりをどのよう

中畔 伊丹は官兵衛を有岡城に幽閉した地として知られていて、これには学術上も異論があるが、便乗している観はあるが、12年10月、午後6時のNHKニュースで「大河ドラマに官兵衛決定」と報じられると、時間外にも聞けず市民から7、8本の電話がかかってきた。「伊丹は何をすべきか」と。市民の中に意識しているか。市民参加の取り組みは？

柿本 面白い企画として、姫路のお城祭りとして、市内の黒田さん96人集まっていた英賀合戦をイメージして「かんべえく

自治ひょうこ

1424号

2014. 2. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 31日 自治労結成60周年記念レセプション (東京・帝国ホテル)
- 2日 県本部青年女性2014年春闘討論集会(共済会館)
- 7日 県本部第196回中央委員会(共済会館)
- 8日 県本部2014春闘討論集会(共済会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

女性部・臨職評合同学習会

「仕事を頼みづらい」

正規、非正規の思い出し合う

女性部と臨職評の合同学習会が1月19日、ひょうこ共済会館で開かれた。6回目を数える学習会には、22単組45人が参加。地方自治総合研究所の上林陽治研究員の講演に学んだ。上林さんは、2005年以降の自治体正規、非正規の動向を分析した資料に基づき、課題にふれた。

教員職場では、05年以降臨時を含めて定員を満たさばいように制度変更がなされ、臨時が担任、クラブの顧問を担う現状になっている。事例を紹介し「限界集落」という言葉があるが、公務員職場は「限界職場」になりつつある。そして公務員職場の非正規化は、社会の矛盾を象徴している」と懸念を示した。

この間、正規が非正規に置き換えられてきたが、職別に異なる保育所、学校

ディスカッションでは、職場で起こる日常的な事例を取り上げ議論した。



あいさつする本多委員長。えさき参議員(右上)もかけつけた

給食の非正規率が高く、「もうした職場では民間委託も進んでいる。非正規と委託はコインの表裏の関係にある」と説明した。

最後に「組合がある職場では、時給や昇給がいい」と述べ、運動への期待を強調した。

職場や組合で生じる問題をディスカッションで取りあげ、全体で議論した。テーマは、①臨時職員にも1時金、退職手当の支給を②仕事は忙しいが、非正規の人に頼みにくい、の2点。



①では、「次小の裁判後、一時金が賃金に振り分けられた」「一時金がないのはおかしい」と怒りだして主張して当局は聞き入れない。基本賃金の改善も視野に取り組みたい。②では、「正規と同じように働いてもらわない」と困る実態がある。「保育士は、正規、非正規もまったく同じ労働。労働条件の差は、働きづらさになってきている。など」の意見が出された。それぞれの討論で上林さんから助言をもらった。

力を蓄える1年に

厳しい時代と立ち向かおう

県本部旗開き

新年のスタートを切る県本部新春旗開きが1月9日、神戸市内のラッセホールで開かれた。本多義弘委員長は、「厳しい時代が下を向いていてはいけない。たまたまを楽しむつもりで1年間頑張ろう」と呼びかけた。旗開きには、組織内のえさき参議員をはじめ、多くの来賓が駆けつけた。県内46単組91人を含む152人が参加した。冒頭、あいさつに立った本多委員長は、今年1月24日で県本部結成60年を迎えることにふれ「組合員が参加で

きたる取り組みを企画している。県本部を活気づけてもらいたい」と述べた。また、退職手当や地公賃削減攻撃、そして秘密保護法成立といった政治情勢の右傾化など、2013年の動きを振り返り「私たちが力を蓄える1年にしよう」と訴えた。特定秘密保護法の強行採決への怒りを表したえさきさんは、「戦争する国にしていけない。力いっぱい頑張る」と決意を述べた。

477人分の署名を提出

処分撤回、賃金カット復元求め

高砂市職

高砂市職の「処分撤回と一方的な賃金カットの復元」を求めたたなかを支援するため、播磨アロックスは12月17日、高砂市南庁舎会議室において「不当処分撤回闘争決起集会」を開催した。

集会を機により、高砂市当局から、「市長交渉を交え交渉を行う。」

設定する」との姿勢を明らかにさせた。

1月7日に、高砂市職は「処分撤回賃金カット復元」の477人分の署名を提出し、組合員の決意を当局に示してきた。これまでもたがいを背景に予算要求闘争後、早急に県本部を

2014春闘で賃上げを勝ち取るう!

県本部春闘討論集会に参加を
ひょうこ共済会館
2月8日(土) 9:30開会

連合は、「2014春闘を「賃上げ1%以上」としてたたかうことを決定している。自治労も民間の仲間と連帯して春闘を精いっぱいたたかう。とりわけ、給与制度の総合的見直しは大きな課題だ。討論集会で私たちの課題を確認しよう。」

＜講演＞
給与制度の総合的見直しについて

＜分科会＞

- ①給与制度の総合的見直しに対する取り組み
- ②雇用と年金の接続と高齢期問題
- ③臨時・非常勤等職員の待遇改善と組織化
- ④町職連協の取り組み

たなかと並行して、当時の委員長は、処分を不服として公平委員会に「不利

益処分に関する不服申立て」を行っている。また、一方的な賃金引き下げについては、勤務条件に関する措置要求」を公平委員会に行うこととしている。

同市職は、一律7.5%賃金カット強行に抗議し、昨年6月14日に1時間ストライキに突入した。市当局はその後策として、労使関係正常化に向けた労使協議に委員長(当時)に戒告をを行うことなど、9月27日に委員組合員247人に処分を発令していた。

確かに登りはじめて10分後には息が上がり、辛いなあとと思うことも多々あった。▼学校の卒業旅行で新穂高温泉に行き、そこで北アルプスの山々に魅了された。正面に岐阜県最高峰の笠ヶ岳の綺麗さには感動し、そこから山に取りつかれている。その登山道は笠新道という国内屈指の急登だったが、笠ヶ岳を知って27年を経てもっとトライした。頑張ったご褒美には360度パノラマ、穂高連峰からのご来光、雲海から遠くは富士山が拝み、その景色に感動した山行きだった。▼今年人事院の給与制度の総合的見直しによって厳しく険しい年になるかもわからない。等新道同様粘り強く取り組みなければならぬ。山は辛いながらも足元交互に出せば登れる。当たって砕けてはいけぬが、今一度、組合員誰もが諦めず、粘り強く1歩1歩前進できる組織の構築が必要と思う。

いまいち座

豆がたりない!!

不景気鬼、後景鬼、民化鬼、人前鬼

おやすみ漫

自治ひろこ

1425号

2014. 2. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 14～15日 県本部現業闘争2014交流会
(フルーツ・アワーパーク)
- 15日 町村会統一交渉を語る会 (共済会館)
- 16日 第5回ひろこ解放教育交流会 (姫路市内)
- 1日 シンポジウム「限定社員という働き方・問題点と課題」(チサンホテル神戸)

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
E-mail: hyogo@pchiro-hyogo.jp



自治労の春闘方針を議論した本部討論集会

2014春闘討議資料

賃上げで生活改善を勝ち取る

総合的見直し反対

全単組で取り組み強化を

連合は、2014春闘を「底上げ底支え」「格差是正」に向け、全ての働きの処遇改善の実現をめざし、公正で安心・安定的な社会の実現に向け邁進するとしている。

97年ピークに賃金は減少の途であり、雇用不安も増している。経済最先の政策のことで、痛く雇用労働条件の改善を、賃金を超え働く者の団結で取り戻す14春闘にしなければならぬ。「給与制度の総合的見直し」に反対し、生活改善のたかいを進めよう。

1 2014春闘をめぐる情勢

経済情勢と課題

一昨年末に発足した第2レ脱却と名目%以上の経済成長の達成をめぐり、デフレ・成長の達成をめぐり、企業業績の回復が労働者の賃上げをたらずとして、02年以降、戦後最長の景気拡大期において、賃金下落と非正規労働者が拡大し、生活不安が高

まっている。政府財界が、今春闘にあたって、ベア容認の姿勢を示したからといって、企業収益の増大が労働者全体の雇用や賃金にまわるとはならない。働きの団結を強め、労働組合に結果し、交渉でたかい取り戻さなければならない。

加えて、今春闘期には物価上昇や4月からの消費増税(3%)も予定されている。今春闘においては、賃上げが最も大きな課題となる。

こうした情勢の中、連合は1月23日、第2回中闘争委員会にて14春闘の進め方を決定し、14春闘を実質的にスタートさせた。

今春闘は、政府、労働界、そして経済界も含めてデフレ脱却に向け賃上げが重要な

この認識のもとで進められることになる。しかし、経済評論家の中には14年度の現金給与上昇率は0.6%程度、一方で全国消費者物価の上昇は5倍の3%になる見通しを発表している。

自治労の春闘課題

こうした春闘をめぐる情勢の中、私たち自治労にも課題が山積している。14春闘の取り組みとあわせ、課題克服に取り組みなければならぬ。

1つは、国公給与削減の地方公務員給与への波及阻止の課題であり、3月末で給与削減を確実に終らせなければならない。

2つは、人事院が13年8月、月例給、一時金の改定を見送った一方で、世帯間、地域間の配分見直しと、地方公務員給与と費用削減の一

方、防災減災事業、地域の元気づくり推進費等を設置するなど、地方自治体と十分な協議をしないまま、地方の固有財源である地方交付税削減を強行した。

自治体は、東日本大震災からの復興、社会保障分野

におけるセーフティネットの確立など、増大する財政需要に直面しており、これに見合う地方交付税の必要額を確保し、地方交付税の財源確保、財政調整機能を十分に発揮させることが不可欠である。

3つは、13年4月以降、公的年金の支給開始年齢が引き上げられた。13年度末に定年を迎える退職者以降、無収入期間が発生する

こととなる。雇用と年金の確実な接続を求めていく必要がある。

現行再雇用制度は、公的年金の一部支給を前提としており、給与水準が低位に位置づけられている。今後は公的年金が支給されないため、雇用と年金の接続を確保し、生活できる

給与水準の確保が必要となる

<2014春闘の行動日程>

- 要求書提出ゾーン
2月12日(水)～19日(水)
- 春闘キャンペーン統一行動日
3月6日(木)
ポケットティッシュ配布行動
- 集中取り組み期間
3月10日(月)～14日(金)
- 全国統一行動日
3月14日(金)
(29分時間内食い込み集会)

<自治労の2014春闘重点課題>

- (1) 地方公務員給与の回復と地方財政の確立
- (2) 人員確保および雇用と年金の接続
- (3) 臨時・非常勤等職員など非正規労働者の処遇改善と組織化の推進
- (4) 民間・中小の労働条件の底上げと労働者保護ルールを守る取り組み

<2014春闘「3.14全国統一行動目標」>

- (1) 公務・公務準拠単組
 - ① 給与削減措置を終了させるとともに、運用の改善等により積極的な賃金改善を図ること。給与制度の見直しにあたっては、十分な労使協議と合意を前提とすること
 - ② 臨時・非常勤等職員の雇用の安定と処遇改善を図ること
- (2) 民間労組
 - ① 組合の要求に基づき賃金改善を図り、早期に実施すること
 - ② 非正規従業員雇用の安定・処遇改善を図ること

「軍師官兵衛」自治ひろこ新年号でも取りあげた縁もあって、何年かぶりに大河ドラマを見た。2年前の「平清盛」も神が舞ったというところまであったが、今回は脱走。しかし、今回も「ナナバ」といって、信長、秀吉、家康重用された、戦国時代を生きた歴史の大変異、NHK「官能大冒険」NHK「カインズ」知恵泉と「黒田官兵衛」関連番組も、つい見えてしまった。▼ドラマ初回、小田原城攻めで官兵衛は、丸腰で城門の前に立ち、一命を粗末にされる。生かされよ、と、程々その言葉で城は明け渡された。▼「あり得ないやろ」とつこみを入れたが、「人を殺すのを嫌い、生かして使うことを心がけた戦国では一風変わった人物」であった。そう思えば、単身で有岡城に乗り込んで行ったというのさもありなし。今後の展開に期待を持って、せつなか娘路が舞台なので春には広家神社や御着城址などゆかりの地も訪ねてみたい。(誠)

いまいちば

頑張れ！イクメン！



吉田ノボ

しこう

「軍師官兵衛」自治ひろこ新年号でも取りあげた縁もあって、何年かぶりに大河ドラマを見た。2年前の「平清盛」も神が舞ったというところまであったが、今回は脱走。しかし、今回も「ナナバ」といって、信長、秀吉、家康重用された、戦国時代を生きた歴史の大変異、NHK「官能大冒険」NHK「カインズ」知恵泉と「黒田官兵衛」関連番組も、つい見えてしまった。▼ドラマ初回、小田原城攻めで官兵衛は、丸腰で城門の前に立ち、一命を粗末にされる。生かされよ、と、程々その言葉で城は明け渡された。▼「あり得ないやろ」とつこみを入れたが、「人を殺すのを嫌い、生かして使うことを心がけた戦国では一風変わった人物」であった。そう思えば、単身で有岡城に乗り込んで行ったというのさもありなし。今後の展開に期待を持って、せつなか娘路が舞台なので春には広家神社や御着城址などゆかりの地も訪ねてみたい。(誠)

自治労のヤマ場は3月14日

2014春闘の具体的な取り組み

「連合春闘のポイント」

連合は、2014春闘を「デフレから脱却し、経済の好循環をつくり出す」ことを実現するための「底上げ・底支え」格差是正に向けた取り組みと位置づけ、正規・非正規組織・未組織に関わりなく、「全ての働く者の処遇改善の実現をめざし、公正で安心・安定的な社会の実現をめざす」としている。

等・均衡処遇の実現、就業率向上など、ワークライフバランスの実現③日本経済・社会の不安定化の克服に向け、労働運動の社会化を進め、波及力のある運動を展開するとしている。

14春闘は、地公給与波及阻止の取り組みの成果課題の延長線上で、今年3月の国公・地公給与の臨時特例法の終了、今年8月の人事院勧告における「給与制度の総合的見直し」を見据えた取り組みとして推進することである。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

基本的な考え方は、①景気回復と物価上昇の局面を踏まえ、定昇・賃金カーブ維持相当分(約2%)を確保し、過年度物価上昇分はもとより、生産性向上分などを賃上げ(1%以上)として求め、加えて、格差是正・配分のゆがみの是正(1%を目安)を求め、取り組みを進める②社会における格差やゆがみを是正し、働くことを軸とする安心社会の実現に向け、ディーセント・ワークの実現、最低賃金の引き上げ、非正規労働者の均

等・均等処遇の実現、就業率向上など、ワークライフバランスの実現③日本経済・社会の不安定化の克服に向け、労働運動の社会化を進め、波及力のある運動を展開するとしている。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、地公給与波及阻止の取り組みの成果課題の延長線上で、今年3月の国公・地公給与の臨時特例法の終了、今年8月の人事院勧告における「給与制度の総合的見直し」を見据えた取り組みとして推進することである。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

3 人事院の給与制度の総合的見直し

「情勢および動向」

人事院は報告の中で給与制度の総合的見直しの検討について表明し、地域間・世代間の配分の在り方や職務や勤務実績に応じた給与、技能・労務関係職種との給与水準などについて検討を行うとした。とりわけ地域間の格差については、昨午人事院自ら格差は「取れんできてきている」として検証を終えたばかりであるにもかかわらず、新しい比較方法を用いて恣意的に格差を編み出し、合理的な説明がなされないまま制度見直しの検討が進められようとしている。

13年8月に人事院が明らかにした「給与制度の総合的見直し」は、①民間の組織形態の変化への対応②地域間の給与配分のあり方③世代間の給与配分のあり方④職務や勤務実績に応じた給与のあり方等が検討事項としてあげられている。特に地域間配分の見直しについては、地方公務員給与の引き下げに直結する問題であることから、地域における取り組み体制を確立する必要がある。

各検討事項については、次のような問題が懸念される。

①については、現行民調の役職定義に該当せず調査していない「基幹となる役職段階(部長、課長、係長、係員)の間に位置付けられる従業員」について、14

各検討事項については、次のような問題が懸念される。

「取組みの考え方」

13年8月に人事院が明らかにした「給与制度の総合的見直し」は、①民間の組織形態の変化への対応②地域間の給与配分のあり方③世代間の給与配分のあり方④職務や勤務実績に応じた給与のあり方等が検討事項としてあげられている。特に地域間配分の見直しについては、地方公務員給与の引き下げに直結する問題であることから、地域における取り組み体制を確立する必要がある。

13年8月に人事院が明らかにした「給与制度の総合的見直し」は、①民間の組織形態の変化への対応②地域間の給与配分のあり方③世代間の給与配分のあり方④職務や勤務実績に応じた給与のあり方等が検討事項としてあげられている。特に地域間配分の見直しについては、地方公務員給与の引き下げに直結する問題であることから、地域における取り組み体制を確立する必要がある。

13年8月に人事院が明らかにした「給与制度の総合的見直し」は、①民間の組織形態の変化への対応②地域間の給与配分のあり方③世代間の給与配分のあり方④職務や勤務実績に応じた給与のあり方等が検討事項としてあげられている。特に地域間配分の見直しについては、地方公務員給与の引き下げに直結する問題であることから、地域における取り組み体制を確立する必要がある。

4 人員確保および雇用と年金の接続

「人員確保関心」

地方公務員総数は、1995年以降、自治体財政の逼迫や05年の集中改革

地方公務員総数は、1995年以降、自治体財政の逼迫や05年の集中改革

地方公務員総数は、1995年以降、自治体財政の逼迫や05年の集中改革

連合兵庫

春闘政策要求実現総決起集会

と き 3月8日(土) 午前11時
と ころ 神戸・東遊園地

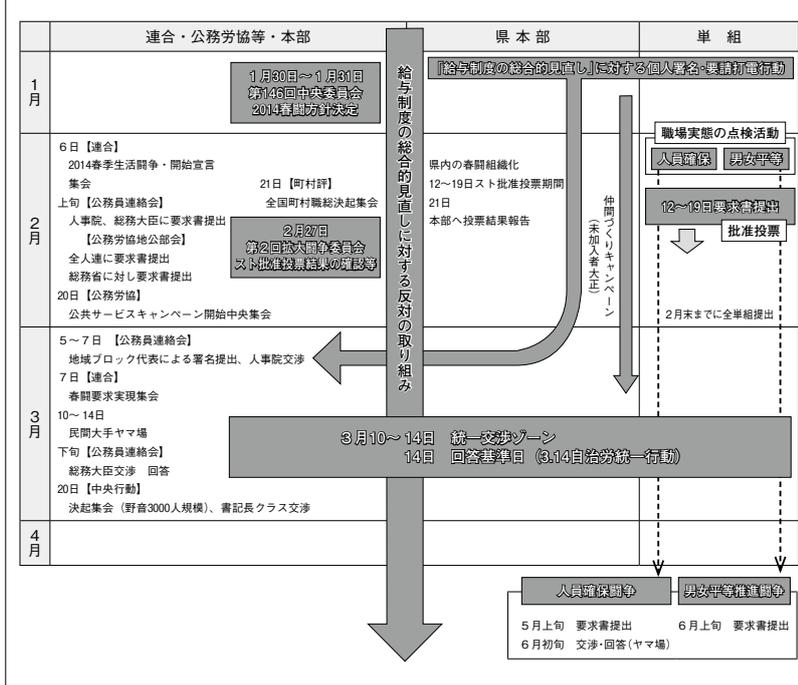
官公部門連絡会総決起集会

午前10時20分(場所・日にちは上記と同じ)

※この集会を県本部決起集会と位置付け、全単組の結集を呼びかけます

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

【図1】1月から春闘期の取り組みイメージ



【図2】人事院「給与制度の総合的見直し」に反対する取り組み

- ① 総合的見直しの問題点
- 1) 恣意的なラスパイレース比較 (これまでのブロック単位でのラス比較から、散在する民間賃金の低い県のみを抜き出したうえで比較し、「2ポイント台半ば」の官民較差を捻出) を根拠とした地域間配分の見直しによる俸給表のさらなる引き下げ。
 - 2) 50歳台の官民較差・官民給与カーブの差は、人事管理の違い (民間企業は「役職定年制度」等により50歳台前半をピークとして給与が下がる傾向にある) から生じているもの。無理に解消することは、職務給原則や、同等比較を基本とする官民比較の根幹に関わる問題。
 - 3) 技能・労務関係職種との給与のさらなる水準抑制、地域手当など諸手当への影響等も危惧される。
- ② 拙速な見直しを阻止するため春闘期から重層的な取り組み (交渉・協議、署名、ブロック別上京行動など) を配置し、本部・県本部・単組が一丸となって取り組みを進める。

また、臨時・非常勤等職員が組合加入している自治体と、していない自治体の比較では、組合加入している自治体では、賃金はもちろ昇給制度や一時金退職金、夏季休暇、育児休暇、生理休暇などの労働条件において、全てが高い割合で制度化化されていることが明らかになっている。

- ④ 組織機構の見直しや民間委託指定管理にあたっては、労使協議を行うこと
- ⑤ 雇用と年金の接続をはかるため、希望者全員の再任用、再任用者の国公行 (一) 4級賃金以上での運用を行うこと
- 【闘争スケジュール】
- 春闘期 (2月~4月)
- 4月 職場実態の点検活動
 - 5月上旬 要求人員の確定
 - 6月初旬 交渉・回答
 - 6月6日 統一行動日 (予定)
- ① 恒常職に就く臨時・非常勤職員の年度変わりによる雇用止め防止
- ② 雇用上限制限の撤廃
- ③ 任用と任用の間の「空白期間」の設定の廃止
- 【処遇改善の取り組み】
- ① 全単組でモデル要求の「最低到達条件」の実現
- ② 労働基準法や総務省通知を最低基準とした通勤手当 (費用弁償、時間外勤務手当の全額支払い、病気休暇、忌引休暇など諸休暇制度の整備)
- ③ 雇用と年金の接続については、正規職員に準じた制度化

年齢職員の給与構造の見直し (ウ) 職員の能力・実績のよりの確な処遇への反映など給与体系の抜本改革に取り組み 2014年度中から実施に移すとし、早急に具体的な措置を取りまとめるよう人事院に申し求めた。これを受け、同日人事院総裁も「検討を早急に始め、必要な報告を行う」旨の談話を公表している。

これは、まさに政府・自民党と人事院が歩調を合わせているものであり、今後、労働基本権を制約しながら、人事院を利用して総人員費削減を進めることを基本姿勢として示している。さらには国家公務員については、給与原資の中での職員間の配分変更であるもの、地方公務員に関しては結果として賃金水準そのものの引き下げに直結するものであることから、人事院が予定する14人事院勧告までの間、組織全体として「賃金水準の引き下げおよび地域間格差の拡大

に位置付けられる従業員」について、14年から官民比較の対象とする方向で具体的な検討を進めるとして、定義の変更に伴う水準低下が懸念される。

②については、これまで地域的につながらりのあるブロックを単位に、ラスパイレース比較を行っていたものを、散在する民間賃金の低い県のみを抜き出した上で「2ポイント台半ば」との官民較差を捻出している。俸給表のさらなる引き下げを想定している。現在でも手当により2割近く (地域手当・本府省手当等) が存在しており、これ以上の較差の拡大は、職務給の原則、同一価値労働、同一賃金の原則からは認められない。

③については、給与構造改革における現給保障の廃止後に残る50歳台後半層の給与差が問題視されているものであるが、給与構造改革の結果、直近で50歳前後の年齢階層では民間が公務を上回って

自治体財政のひっ迫や05年の集中改革プランをたどっている国からの強制により、減少が11年には279万人に減少している。

一方、新たな行政ニーズや事件・事故等に対応する立法によって、事務量は増大している。生活保護を例にとっても、被保護世帯数は10年間で約2倍に増加しているうえ、雇用教育、医療部門との連携が重要となり、福祉事務所の事務は多様化・複雑化している。

自治体では、臨時・非常勤職員や任期付職員を増やし、定数外職員で乗り切ろうとしているが、限界がある。職場では超過勤務が増え、過重労働による「心の病」や健康破壊が増えている。行政改革に際しては、人員確保が大きな課題となっている。

【雇用と年金の接続】

県内においても、全ての自治体が3月

ある。雇用と年金を確実に接続すること が火急の課題となっている。

自公民3党による定年の段階的引き上げの検討に関する合意を踏まえ、16年度には定年延長できるよう取り組みねばならない。当面は、希望者全員の再任用の義務化を徹底して取り組む。

臨時・非常勤職員においても、高年齢者雇用安定法の趣旨から、雇用と年金の接続は当然であり、希望者全員の雇用継続に向けて取り組む。

【産別統一目標】

5 臨時・非常勤等職員の処遇改善

県本部は、臨時・非常勤労働者の雇用安定と処遇改善に向け全力をあげてきた。このことは、同じ自治体で働く仲間であるが、不安定な雇用と劣悪な条件で働く臨時・非常勤等職員の生活と権利を守る 自治労本部が2012年に実施した「臨時・非常勤等職員の実態調査」では、自治体に働く臨時・非常勤等職員は70万人と推計され、正規との平均比率は33.1%となっている。そして、多くの臨時・非常勤職員が年間賃金200万円以下の「官製ワーキングプア」の実態にあることが浮き彫りとなった。

また、臨時・非常勤等職員が組合加入している自治体と、していない自治体の比較では、組合加入している自治体では、賃金はもちろ昇給制度や一時金退職金、夏季休暇、育児休暇、生理休暇などの労働条件において、全てが高い割合で制度化化されていることが明らかになっている。

こうしたことからも、各単組は臨時・非常勤等職員のさらなる組織化と雇用安定、処遇改善を重要課題と位置づけ以下取り組みを進める。

特に年度替わりにおける雇用止め、任用更新時の「空白期間」などの課題については春闘期の重要な課題と位置づけ取り組みを進める。

【仲間づくりキャンペーン】

① 臨時・非常勤等職員の組織化が進んでいない単組においては、県本部産別建設センターと協力し、組織化への取り組みを推進

② すでに臨時・非常勤等職員の組織化を行っている単組および臨時・非常勤等職員の単組は、本部作成の「仲間作りキャンペーン」リーフレットやDVDを活用し、未加入者の組合加入・拡大の取り組みを実施

【雇用継続の取り組み】

6 民間・中小の労働条件底上げ

労働組合の組織率が低下する中、民間労働者の賃金は、97年をピークに15年間で59万円(12.9%)も下がっている。また、非正規労働者は、雇用労働者の38.2%となった。賃金水準の引き上げと非正規労働者の組織化促進改善で、貧困化、雇用の劣化に歯止めをかける必要がある。

【全ての職場で要求確立に取組む】

(1) 企業の枠を越えて組織労働者の共同共同として、一定の社会的相場(社会的な賃金水準を含めた労働条件の改善)を経営の社会的責任として引き出すたか

(2) 経営困難な職場にあっては、①財務諸表等を開示させ、企業実態の分析②経営改善の要因分析、経営環境の検証、労組としての経営改善の提言③一時的に合理化を受け入れざるえなない場合は回復措置の明確化に取組む

(3) 賃金改善が困難な職場にあっては労働条件の引き上げ、労組活動上の権利拡充、職場環境の改善等の要求に取組む

【春闘学習会(3月1日)に結集し、全ての単組で統一要求労働安全衛生に取組む】

【春闘学習会(3月1日)に結集し、全ての単組で統一要求労働安全衛生に取組む】

県本部結成 60年 1954~1963年

今年1月24日で県本部は結成60年を迎えた。県本部は60周年記念事業PTを立ち上げ、種々の企画を議論しているが、その環として、本紙で60年の歴史を振り返る連載を行う。

1954年1月24日、芦屋市の宮川小学校で自治労兵庫県連(61年名称変更)の結成大会が行われた。26組合1万9000人の組合員でスタートを切った。

54年に空前の赤字決算となった地方財政を建て直すため、自治労主導で財政再建計画が進められていた。こうした動きを背景に、人事院は54・59年まで勤



芦屋水労結成に関わった新垣さん

賃金闘争の礎を築く 人権見送り打破した産別運動

告を見送り。自治体労働者の賃金は劣悪な実態にあり、その改善が大きな課題であった。

県本部が誇る歴史の1つに、町村職連(のちの町職連協)による町村会との統一交渉および町村会準則の確立がある。この礎を築いてきたのは、この時期であり、「町村職員の不当な賃金実態を改善したい」との怒りと情熱であった。

当時の機関紙にも「低すぎる町村給与」「定昇給を確立」などの見出しが並ぶ。そうしたたたかいを積み上げ、59年には公務員として初めて、まとまった賃金闘争を行い、60年には7年ぶりに人事院勧告を行わせた。

その後、男女賃金格差解消

(60年、清掃闘争(自治労産別闘争、62年)と、たたかいが発展し、現在の闘争スタイルが確立されていった。

5000円で食えるか

芦屋水労の結成(52年)に市職から分離、その後55年に地方営企業法適用による水労を結成)に関わった新垣亀一さんに当時の様子を伺った。

7 平和・人権・政治闘争の推進

安倍政権は、金融緩和に伴う円安株高による企業利益の回復などを背景に、依然高い支持率を維持している。政府与党は、「強多弱」の国会構構のもと、第185回臨時国会で特定秘密保護法案を強行採決により成立させた。特定秘密の範囲が拡大し、政府にとって都合な事実が隠される恐れがある。「国民の知る権利」を真に向か否定し、国民主権から国家主権

定期昇給相当分4500円、生活向上分(賃金引上げ1%含む)4500円、格差是正分3000円。格差是正は生活向上の要求設定を行い、全ての労働者の底上げをめざす。

野古移設反対の現職の稲嶺市長が勝利した。県内移設は認めないという市民の意思の表れである。今後の平和フォーラム等と連携し反対の取り組みを進めなければならない。

自民党は、憲法改正の手続きを定めた国政投票法の改正議論を加速させている。同法は、2007年に公布され、10年5月に施行された。しかし、公務員法の附則において施行までには、附則において施行までには「公務員が国民投票に際し(中略)制限されることとならないよう」に「検討を加える必要措置を講ずる」とされたが、未措置の状態となっている。憲法で推薦して取組む。

新春クイズ 体操の「白井健三」選手でした

自治ひろこクイズワードクイズの解答は、「白井健三」でした。応募総数は294人、正解者は285人でした。当選者は次の通り。

【商品券】

西田 大吾(神戸市職) 平田 紀子(神戸市職)

西田 隆美(尼崎市職) 上田 茂勝(神戸市職)

辰巳ひとみ(尼崎市職) 吉田 悦子(宝塚市職)

船本 淑子(姫路市職) 愛甲 太洋(川西市職)

塩澤洋次郎(豊岡市職) 牧部真奈美(淡路市職)

前田 克子(明石市職) 小林 豊(姫路市職)

廣瀬 美鈴(小野市職) 田中 弥生(新温泉町職)

ZENROSAL NEWS 51138057

いざというとき、大丈夫ですか?

風水害から盗難まで保障、地震にも備える

自然災害共済 毎月加入できます!

大型タイプ

風水害などのケース 毎月4,200万円

地震などのケース 毎月1,800万円

全労済 全日本労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

自治ひろこ

1426号

2014. 3. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 5日 県本部卓球大会主将会議 (県本部)
- 6日 2014春闘上京行動・人事院へ署名提出 (東京)
- 7日 県本部病院集會 (共済会館)
- 8日 連合兵庫官公部門連絡集會・2014春闘県本部総決起集會 (神戸・東遊園地)
- 11日 豊岡過労自殺公災認定控訴審第3回期日 (大阪高裁)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920 E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

地域間格差つけるな

2月8日、県本部春闘討論集會



雇用問題でたたかう三田市職労集會参加者から撒布を渡した

全国的に大勢となった2月8日、県本部は共済会館で14春闘討論集會を開いた。道路事情で参加を断念した。今春闘は、「賃上げ」が

賃下げ競争はやめよう

焦点となっているが、自治体労働者には人事院による総合的給見直しという賃下げ攻撃がかけられている。方針提起に立った森藤守書記長は、「①国公営金削減による地公賃金カットを3月末で終了させる②給与制度見直し反対の運動強化③雇用と年金の確実な接続④非正規の雇用確保と処遇改善の4点を強調した。



要求をまとめるグループ討論

「春闘情勢と給与制度見直し」について、本部の森本正宏・労働条件部長が講演。「安倍首相は労働組合などをつくりたい」と分析した森本さんは、「生活実態から私たちが賃上げをたたかれば成果は得られない。特に自治体の場合は、

①俸給表の運用改善②自治体最賃の確立など3力を入れよう」と述べた。給与制度見直しでは、「賃金水準が低い地域と急速に競争させるような地域間配分の見直しは問題。年齢間賃金も官と民では人事管理のあり方が異なる」と指摘した。35人が参加した。藤原潤子女性部長は、「職場は人が減って忙しくなる

いまいち座



だぶるばいんど

不満を要求に模擬交渉 青年女性が春闘討論集會

「不満を要求にし、声をあげていこう」と、2月2日に行なった青年女性春闘討論集會では、模擬交渉を行った。35人が参加した。藤原潤子女性部長は、「職場は人が減って忙しくなる

模擬交渉は4つの労組(グループ)に分かれて実施。要求項目では、現行の会館時間では、施設の清掃が間に合わない。地域団体との調整に個人の携帯電話を使用せざるを得ないなど、日常の不満が取りあげられた。



58人の中央委員が参加した

春闘方針、60周年記念事業を承認

県本部は2月7日、共済会館にて第196回中央委員会を開催し、「2014春闘方針」・「60周年記念事業」等の4議案について協議した。本多義弘委員長はあいさつで「給与の総合的見直しは勧告するな。再任用のちゃんとした制度設計をつくって」と強調。非正規の底上げを」と強調。「60周年事業のカンボジアの寺子屋・文房具を送るための組合員1000円カンパに協力を」と訴え、質疑では4単組から発言があり、議案は全て可決した。「給与制度の総合的見直し」・「反対署名の全組合員集約」要求書を提出。3月8日の決起集會、14日の全国統一行動に結集し交渉を強めよう。

第196回中央委員会

質疑では、高砂市職から不当処分について12日に市長交渉を予定。交渉決裂の非を認めさせ、労使関係の正常化に向けて確認したい。県労からは、「10日が第3次行革プラン交渉の最終局面。独りカットの回復へ今後の方向性を明らかにさせたい。明給労からは、「自治労が仲間づくりにキャンペーンの提起。退

職不補充で臨職の採用が継続。田市職からは、「図書館の正規の理解と協力を。三一方的な指定管理者制度の

2・12市長交渉

高砂市長より謝罪 労使正常化に向け確認

高砂市が「賃金カット7・5%強行実施した問題について、県本部が求めた高砂市長との交渉が

2月12日に行われた。交渉にあたって県本部は、今回の問題について市長からの謝罪を求めた。市長は、「当初給与カットはしないとしていたが、結果的に職員に負担を強めたことは申しわけない。十分

説明しなかったことや、組合に対して強気に出たことは反省している。今後は労使協調を進めていきたい」と答えた。

最後に本多義弘委員長は、「合意のない議会提案は今限りになるよう今後

は合意に向けた努力をしてもらいたい」と締めた。県本部はスト後の対応に、高砂市当局に協議を求めたが、昨年12月の「不当処分撤回闘争決起集會」を背景にようやく交渉が実現し、労使正常化に向けて確認することができた。高砂市職は引き続き賃金削減の撤回に向けた労使交渉の強化と「不当処分撤回」に向けた公平委員会等でのたたかいを進めていく。

「自治労の重点課題」

- ①地方公務員給与の回復と地方財政の確立
- ②人員確保および雇用と年金の接続
- ③臨時・非常勤等職員など非正規労働者の処遇改善と組織化の推進
- ④民間・中小の労働条件の底上げと労働者保護ルールを守る取り組み

導入、嘱託臨職の首切りに対し、雇用を守るため2月末締めざし取り組んでいくとの発言があった。また、4月20日の西宮市長選(河野昌弘)、5月18日の船岡町長選(古谷博)、10月予選の川西市議選(北上あきひろ)、多入和佳子の推薦を決定、古谷博福美町長からは、推薦の挨拶と決意表明がされた。

6年前に脳梗塞で倒れ、車いす生活を送る夫を持つ友人に久しぶりに会った。「生寝たきりになる」と医者に告げられたときは、一瞬時が止まり、頭が真っ白になったという。▼タバコは遠い昔にやめ、酒は休みの前には飲まず、減塩を心がけ身体を動かすことも気を付けていた。なのに血管が詰まって倒れた。▼今まで、マスコミで若返るや身体に良い、血液さらさらというコマーシャルを見ては心が揺れていたが、健康主義の彼が倒れたことで、今の生活を改めるのはやめた。▼生活の方は障害者年金、生計を立てていた。▼そして、生計を立てていた。▼そして、生計を立てていた。▼そして、生計を立てていた。



14春闘 分科会の報告

分科会の報告

分科会では、冒頭、自治労本部の北川啓子オルグから説明を受けた。本部が作成した非正規の組織化の意義をまとめたDVD上映に続き、組織拡大パンフレットを紹介した。北川さんは、「現在「仲間づくりキャンプ」を行っているが、既に活動している組合に対して働きかけ、リフレットやDVDを活用し、未加入者に説明するためだけでなく、正規組合員に対しても臨時、非常勤の活動を知...

未組織への情報提供 正規との連携が鍵

非正規の処遇改善と組織化

取り組みを通して10人の新加入者があったこと、伊丹社労より月1回の加入説明会を行い、ポウリング大会の開催と新聞の発行を...

し、組織拡大に向けて福利厚生活動の充実と組合員であることの魅力を訴えているなど、奮闘が語られていた。意見交換では、「職種が多く多様な問題を抱え、それらに対応できるか不安」。明石では、市職労と協力して組織化をしようとして、「ユニオン」を立ち上げたことも報告された。反面、「声をかけ側の問題意識がない」など組織化は難しく、正規組合との協力態勢の課題がある。非組合員にも情報を提供し、労働環境条件の変化によって組合に関心を持つ人がいるので、そのタイミングで話してみる。オルグで大事なのは聞くことである。正規組合の理解と協力、覚悟が必要だと意見交換した。

例年、町職連協では春闘期に町職組交流集会を開催しているが、今年度は春闘討論集会に結果することとし、町職分科会(単組12人)を開催した。分科会の座長は、町職連協の北川寿一事務局長、稲美町職が努め、「町村会交渉が終えんとして、各単組がバラバラにされている。そうした中で各単組ができることを確認して、きたい」と交渉の趣旨を説明した。組織強化につながる具体的な活動報告として藤田悦孝さん(播磨町職)より、この間、播磨町職で取り組んでいる活動内容について報告を受けた。町職連協では職場オクルグを通じて意見交換を実施し、職場の生の声を交渉にいかしているとの...

町職運動の前進へ “できること”を模索

町職連協の取り組み

報告が行われた。参加単組からは秋学期以降の交渉取り組み状況が出され、議論を深めた。特に持ち家に係る住手担当...

引き下げや通勤手当の改善など、共通した攻撃への対応に意見が集中した。県本部組織部からは、各町職単組での役員任期や執行委員会の開催状況、学習会の取り組みなど、組織強化に関わる部分での確認がなされた。行委員会の開催状況、学習会の取り組みなど、組織強化に関わる部分での確認がなされた。や、県本部の統一闘争に向けて全12町が一体となって交渉を実施してきた。今後議論してもらいたい」との要請があった。報告にあったように同様の当局提案がある中、12町がこれまで以上に連携、連帯し、統一交渉に取り組むことが、町職単組の前進につながることを確認し、分科会を終えた。

全国に誇れる制度

町村会交渉の教訓振り返る



3月15日、町職連協が2005年まで取り組んだ町村会との統一交渉を振り返る集いが、町職連協と自治研センターの共催により開かれた。昨年末、自治研センターが、この取り組みを検証した書籍を発刊したのを機に開催。2部制の集いに、町職連協役員やOB、や現職を中心に40人が参加した。町職組織と町村会の交渉で、県下町職員の間で...

準を決める方式は、全国で唯一のもの。書籍は自治研センターの小島修二理事長が執筆したもので、この統一交渉が成立した背景や取り組み、その意義等をまとめ、貸金調書のあ...

自治研センター 町職連協

シンボルマークを決定



結成60周年を迎えた県本部は、年間を通じて様々な企画を準備しているが、2月28日の執行委員会でシンボルマークを決定した。まんが集団の大橋賢代表豊岡市職労が作成した。

るべき姿を示唆する。1部は県本部や町職連協の役員やOBが参加し、2町村会統一交渉を語る会を開催。2部は、当時の県地方課(現市町振興課)課長他の来賓も加え、会食を兼ねた懇親会で、統一交渉を振り返った。

OBらは、「これを第一回とし、こうした集いを続けたい」と、現役への叱咤を熱く語り、全国に誇れる取り組みを担った闘士の片鱗をのぞかせた。

県本部結成 60年 1964~1973年

64年の東京オリンピックの開催、東海新幹線の開業、大阪での70年万博の開催、71年のドルショック、73年の第1次オイルショックと続く10年間。政治的には、日韓条約批准反対闘争、ベトナム反戦闘争、70年安保闘争、沖縄返還闘争がたがわった。自治労は統一行動、ストを重ね、70年に人事院勧告完全実施を実現、自治労初の66年1021ストは県本部80単組が実施した。68年からの第1次現業統闘争では、差別的低賃金改善闘争を展開、68年の新潟県立病院の2・8闘争は全国に広がり、豊岡神戸、県伊丹病院などで夜勤制限増員を確認した。68・69年には定年制反対でスト、盛り込み行動を実施。町職連は64年、町村会との統一交渉で賃書による賃金決定基準を確立。71年3地域ブロックが発足した。1人夜勤の心細さ。県職労は70年に「複数夜勤のもと、たたくかに参加した。

統一行動、ストを重ね 人勧の完全実施を実現



小西さん◎と東野さん

「病棟での1人夜勤の心細さ、怖さは忘れられない。当直の先生も1人、「今日は重症じゃないか、やっていたら」と心配で聞いてくる。働いていくことの不安。複数夜勤の要求は本当に切実だった。」 「夜勤回数増えもいらいなら」という当局に対し、5病棟まで...

が夜勤拒否の組合タイプ(オレンジタイプ)に入った。当局は他病院から総務部長クラスが来たが、患者が診れないので帰す強引に退院させた。玄関の横の会議室が団交の場、患者が帰るのが見える、家族が待つ。何を求めているんだろうと思った。ここまでしないとわからない。当局への怒り、患者を巻き込んだのがつらかった。県本部がたたかいたを構え、組合タイプに入り、組合員で会議室がいっぱいになって交渉してきた。そして看護師の完全充足を確認した。これらのたたかいは通じて、院内保育所、看護学院、夜勤者のタクシードライバー、看護師の定着が進んできた。東野さんは、「過去のたたかいの成果や組合の必要性を次世代に伝えることが課題」と振り返った。

第24期労働学校 受講生を募集中

県本部の第24期労働学校を右記のとおり開始します。組合活動の基礎を中心に学びますので、青年層を中心にご参加下さい。詳細は組合事務所に問い合わせを。

■前期講座■

日程 4月19日(土)~20日(日) 場所 ひょうご共済会館 内容 ①労働組合は何のためにあるの? ②ワークショップ「身近な組合づくりを考える」 ③賃金の基礎中の基礎をまなぶ

■後期講座■

日程 5月10日(土)~11日(日) 場所 コープこうべ共同学苑(三木市内) 内容 ①職場の問題を改善しよう ②組合の基本は支え合い。自主福祉とは? ③平和や人権も労働組合の課題

自治ひろこ

1428号

2014. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 6日 守れ憲法!許すな秘密保護法!関西集会 (扇町公園)
- 12~13日 地連・組織拡大アクション21 (神戸グリーンヒルホテル)
- 13日 但馬丹波ブロック臨職評学習会 (養父公民館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

地域間格差の拡大は不当 人事院交渉で182万筆の署名提出



交渉支援を行う兵庫の参加者

公務員連絡会自治労は、人事院の「給与制度の総合的見直し」に反対し、3月5、7日と2日連続して、3月6日の行動に14人が参加し、決起集会、代表団による「反対署名」第1次集約の提出と人事院交渉、人事院前交渉支援行動に取り組んだ。代表団は人事院に反対署名を提出し、「特例減額措置が3月末で終了するのにもかかわらず、また見直しを同じ仕事をしているのに、勤務する地域で給与差が付くのは納得できない」と、現職職員の賃金引き下げには断固反対だ」と職場と生活の実態を訴え、「総合的見直し」の中止を求めた。反対署名は第1次で382万筆を集約し、「地域間配分の見直し」「高齢層の大幅な賃上げに全ての組合がこ



淡路3市の青年女性部長会議の様子。右端が藤本さん

組合は成長できる場

青年女性部が 新入職員に説明会

南あわじ市職労

記録的な豪雪をもたらした4月が終わり、4月を迎えました。本紙を読まれている方の中には、新しく自治労の仲間になられた方もおられることでしょう。今号では、新入職員のみならず最も年齢が近い青年女性部(青女部)の活動を紹介します。青女部では、様々な取り組みを通じて、交流や学習を深めています。協力いただいたのは、南あわじ市職労青年女性部長の藤本佳幸さんです。

「組合に入ったから、職員とか賃金闘争というイメージが先行してしまいます。それが重要ですが、私たちの職場は、ある意味、運命共同体なんです。何十年と顔を合わせ、仲間として一緒に活動していかないと、自分一人では生きていけない。組合という存在が、私たちを支えているんです。」

「組合に入ったから、職員とか賃金闘争というイメージが先行してしまいます。それが重要ですが、私たちの職場は、ある意味、運命共同体なんです。何十年と顔を合わせ、仲間として一緒に活動していかないと、自分一人では生きていけない。組合という存在が、私たちを支えているんです。」

豊岡裁判闘争 基金本部 上告断念、判決確定へ

豊岡の過労自殺公務員災害認定闘争で大阪高裁は3月11日、地方公務員災害補償基金本部の上告を却下する判決を下した。判決では、豊岡市職労組合員が2009年4月に社福係課地域福祉係へ異動となり、通常業務が過重で

高裁も「公務上」認める

連合兵庫は3月8日、神戸東遊園地で、「2014春闘総決起集会」を開催した。辻芳治連合兵庫会長は「賃上げに全ての組合がこ

交通の必要性訴え 取り組み進めよう 都市交評、春闘学習会開く



28人が参加した学習会

「絶えず財政状況を把握し、交渉を進めなければならぬ。今年度も厳しい状況で、判断行なった(神戸)」。27年度末をもって事業廃止する「尼崎」、「行政職上表」から行先への賃金問題が大きな課題(伊丹)と報告した。最後に兵庫交通の平田副委員長が、「今後交通の必要性を追求し、取り組みを進めていかなければならない」と結んだ。

いまいち屋

使ってるの? 使われてるの?

今年も桜の季節がやってきた。職場から多くの仲間が去っていき、今年定退職を迎えた方々から76年頃に就職された方々が大半である。春闘での賃上げ率が過去最大となったのが74年32.9%であり、その前後に就職された世代である。当時の日経連(日経連)の結果を受けて、賃金抑制攻撃を強めた。春闘再構築をたかたかとしてこられた世代、長い間ご苦労さまでした。一方、この季節は新しい仲間を迎える。学校を卒業しても就職できなかったという不安の中で、厳しい競争にさらされてきた世代だ。当然、賃金や労働条件へも影響は現れており、労働組合の必要性はますます高まっている。先日も開かれた県本部の「組織化重点集約会議」で「声をかけてもなかなか組合に入ってくれない」という状況が指摘された。いかに労働組合の必要性を理解してもらうのか。毎年のこの季節は、声をかける私たちが「組合とは何か」を自問自答する季節でもある。

大植 賢 (豊岡市職労)

地域・職場で全国署名を

「集団的自衛権」の容認反対

戦争をさせない100人委員会

3・20出発集会



今日の情勢への危機感を訴える大江さん(写真左上)と落合恵子さん(同右)

3月20日、悪天候の中、4000人(主催者発表)が参加し、東京・日比谷野外音楽堂で憲法を破壊する集団的自衛権行使容認に反対する「戦争をさせない100人委員会」3・20出発集会が開かれた。集会では、開会あいさつで呼びかけ人の1人ルポライター鎌田慧さんが、集団的自衛権行使容認、突進安倍政権と対決し、戦争をなくし、みんなが明るく生きていける社会をめざす運動として「1000人



自治労綱領を採択したのである。一方、73年のオイルショック以降、財政危機を背景にした合理化が強まり、賃金引き下げや民間委託提案が示された。しかしこれらの攻撃も跳ね返し、県本部の団結を強めていった。県本部運動では、74年に部落解放運動との連帯を確認、狭山

国民生活を引き上げ

職場改善から健福闘争へ

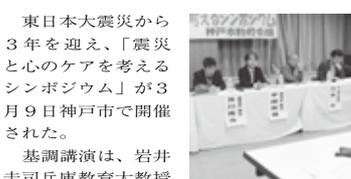


淡輪さん

淡輪さんは、町職協で事務局長などを務めた。経歴採用、ひどいときには容姿などで処遇が異なっているのが一般的で、先進的な単組が改善に立ち上がり、町職全体の運動へと発展した。64年に町職賃金の初任給や昇格基準を確認したが、町職員の賃金はまだまだ

差別裁判闘争の全面的な支援ははじまった。79年には、25周年企画として、野球、パレーポール大会がスタートしている。準則交渉で格差是正兵庫の賃金闘争について、町村会準則交渉が果たした役割は大きい。1940年産まれの子が、74年以降は、準則水準を守ら

孤立させないことが大切



東日本震災から3年を迎え、「震災と心のケアを考えるシンポジウム」が3月9日神戸市で開催された。基調講演は、岩井圭司兵庫教育大教授が行い、復興期の心のケアと題し、「阪神・淡路大震災の苦い経験をいかしていかなければならない」と訴えた。シンポジウムでは、4人のパネラー(写真)が参加し、山元町に派遣された神戸町の職員は、「被災地では職員の体職が絶えない。職員を孤立させないことが大切だ」と教訓を語った。県本部としても引き続き、被災地派遣職員へのメンタル対策を訴えていく。

不適切な再任用の運用調査を約束



給与制度見直しについても追及した

県本部は3月11日、県市町振興課と春闘期の交渉を行った。町職協と春闘期の交渉をまず、国公臨時特例法の

- 結成60周年事業の紹介**
- 県本部は、結成60周年事業として以下の取り組みを実施します。
- カンボジア寺小屋への支援
 - 組合員カンパで、文房具を送ります
 - 第1回自治労カップ全兵庫県日本少年野球大会兵庫県予選大会への支援
 - 兵庫県軟式野球連盟と連携し、少年野球大会運営を支援します
 - 結成60周年記念集会
 - ロングランゴルフコンペ
 - ボウリング大会

県本部は、地域手当のない自治体との格差が拡大される矛盾を県としても国に意見するよう要望、現業賃金は労使協定事項であると改めて確認を迫った。再任用については、条例化されたものの嘱託制度で運用する不適切な自治体があることを指摘し、今後調査することを約束させた。

入ってもいいですか?

新入組合員のみならず、はじめまして。私たち「自治労共済」は、非営利で共済事業を営む生活協同組合です。ご加入いただき、一緒に「助け合い」の輪を広げていきましょう。

どうぞ、どうぞ遠慮なく自治労共済へ。

公共サービスに携わる、全国の仲間が集う助け合いの共済です

●安心のラインナップ

総合共済 基本型・大型 | 団体生命共済
長期共済 / 税制適格年金 | 親子共済
自動車共済 | 火災共済 / 自然災害共済

●詳しくは所属する組合までお問い合わせ・お申し込みください

戦争をさせない全国署名で

止めることができる



1500人が参加し、集会後はデモを行った

戦争をすすめる 「集団的自衛権の行使」反対

4・6関西集会

安倍政権は昨年、「特定秘密保護法」強行採決...

の呼びかけで3月には一戦争をさせない1000人委員会...

いる。集団的自衛権の行使容認は平和憲法の放棄になる...

病院集会 「年休が権利、知らなかった」



分散会の様子

衛生医療評は3月7日、共済会館で病院集を開き...

分散会では、7つに分かれ職場の課題を交流...



1984~1993年

83年末に県本部は、全国で最初の完全組織化を達成...

たたかいは楽しく

自分たちが声あげてはじまる



初代全国議長も務めた中谷さん

給食労働組合を結成した。ところが、毎年月に契約更新...

臨時評議会の結成へ 自治労へは87年に明給労と同時に加盟...

優勝は神戸市職労

第9回県本部卓球大会



12チームが出場した

第9回県本部卓球大会は3月15日、養父市つるぎが丘公園八鹿総合体育館で...

安倍政権下で進む“壊憲”の危機

5・3兵庫憲法集会に結集し、戦争準備をストップさせよう!

5月3日 13:30~16:00 講師 河上 暁弘さん

広島市立大学広島平和研究所准教授

神戸市勤労会館 大ホール

【60周年記念事業】

ゴルフロングランコンペの案内

開催期間 6月1日(日)~8月31日(日)

開催場所 西脇カントリークラブ

参加対象は組合員または自治労共済加入者。詳細は、各単組に案内します。

Advertisement for Jichiro Mutual Insurance, featuring a car and text about insurance benefits and support.

自治ひろこ

1430号

2014. 5. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 3日 憲法67年、5・3兵庫憲法集会(神戸市勤労会館)
- 10~11日 第24期県本部労働学校・後期講座(三木市)
- 16~17日 2014反行革・組織集会(いこいの村はりま)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

戦争をさせない全国署名

スタート

1人5筆以上

安倍政権は昨年12月、特定秘密保護法を強行採決した。国会では、憲法9条を空文化する「解釈改憲による集団的自衛権の行使容認」へと踏み込もうとしている。

こうした動きに対抗しようと、「戦争をさせない1000人委員会」が発足し、全国署名運動がはじまった。家族・友人など、1人5筆以上を目標に取り組もう。

第1次集約
5月16日(金)

労組や賃金の基礎学



ワークショップの発表を行い全体で共有した

第24期労働学校・前期

県本部は第24期労働学校の前期講座を4月19~20日、ひよこ共済会館で開いた。13単組42人が参加し、労働組合や賃金の基礎を学んだ。「身近な組合づくりを考えた」と題するワークショップでは、「先輩との人間関係がうまくいかず、退職した」という事例をもとに課題と解決策を考え、職場の交流づくりや苦情処理設置なども労働組合の役割と確認した。参加者からは、「働きやすい職場をつくるためには、こだわることが大切だ」との感想が出された。

前期は、第1講座「労働組合って何のためにあるの?」第2講座「賃金の基礎から学ぶ」の2講座。賃金の基礎から学ぶワークショップ「身近な組合づくりを考えた」をテーマに学習を深めた。開会にあたって宮本誠之副委員長(県本部教育部長)は、「労働組合は仲間をつくる場、2日間の労働学校で交流を深めていこう」とあいさつした。

第1講座の講師を務めた松丸重子さん(伊丹病院労組)は、「なぜ看護師は定年まで働き続けられないのか?」第2講座「賃金の基礎から学ぶ」の疑問を抱き、「働き続けられる職場づくりを進めてきた」と自身の原点に触れた。有給休暇取得日数や平均勤続年数を向上させてきたが「労務対策の組合があつたから」と強調した。第2講座を担当した県本部の西岡裕書記次長は、ベースアップや昇給と昇格など、賃金の基礎用語を説明した。また、かつては使用者のさじ加減で個別に「職場の交流が不足」「苦情処理など相談機関が必要だ」との意見が出された。

6月27日 臨時大会

法人格取得も確認

執行委員会
県本部は4月7日の執行委員会において今後の取り組みを確認した。人員確保(夏季一時金闘争)の日程、人員確保(男女平等差別闘争)については、6月6日に統一行動(1時間ストライキ)を配置してたたかを進める。夏季一時金闘争は、6月13日に統一行動日

新制度下で課題山積

保育を考えるつどいに参加を

子ども子育て支援制度の実施に向け、地方自治体では、事業計画や条例等の策定作業が進められているが、保育幼稚園職場の公立・私立を問わず、幼児教育施設への置き換えや施設転移の民間委託、委託が急



元町駅での街宣行動

労働保護ルール改悪阻止で訴え

連合兵庫は、4月2日の午後5時より、JR元町駅周辺で「労働者保護ルール改悪阻止」街宣活動を実施した。アピール文を添えた

連合兵庫が街頭で

ティッシュとバンドエイドを配布し、国会で行われようとしている①労働者派遣法改悪反対②パートタイム労働法改正の早期実現について訴えた。

この行動には、民主党から各級議員の参加もあり、働く者の環境整備に向けて一緒に声をあげた。



古谷博さん

第3回保育を考えるつどい
とき 6月22日(日)
ところ じばさんTAJIMA
講演 「保育が育てる 自尊感情と自律」

古谷博さんは、2期8年間、町民との対話を重視し、生活者重視の町政の実現に向け取り組んできた。4月からは、自校直営方式で中学校給食を実現するなど公約を実行してきた。

共通する課題については、保育を考えるつどいでは、深く取り組むの意思統一をはかる。ぜひ参加を。

5月15日は休刊です

本多委員長の近畿ろうきん常務理事選出に伴い、県本部役員に欠員が生じたため、第197回中央委員会(6月27日)を臨時大会に切り替え、役員補充選挙を行う。

古谷博さんが3期目に挑む

5月18日補選長選 5月18日告示、18日夜開票で行われる補選長選挙で県本部は、組織内候補として古谷博現町長の推薦を決定している。

古谷博現町長は、2期8年間、町民との対話を重視し、生活者重視の町政の実現に向け取り組んできた。4月からは、自校直営方式で中学校給食を実現するなど公約を実行してきた。

いまいち座

できるか! STAP細胞?



おやすみ漫

しこう

プロ野球が開幕。いきなりホームラン攻勢です。昨年はホームランが飛び出した。飛ぶボールが世の中の議論は飛ぶのが当たり前か? 「飛んでもいいじゃんか?」見ている方は面白くない。プロ野球協会は開幕前に周知し、選手には「飛ばすな」と伝えるべきである。労働協約の変更は労働協約協定の必要である。トップは現場で起こっていることをしっかりと把握していない。一部の声や報道等に流され、本場で大々的な議論ができていない。飛ぶからダメの整理では話にならない。事前協議を行い、確認することが必要である。現在、セリーグの広島の得点率はセリーグ最下位、でも防御率はセリーグ首位を走っている。飛ぶのであれば飛ばさないようにしよう。さあもうすぐこの日、セリーグ首位のコイもまだ元気な泳ぎである。(024)

「定時で帰れるのが当然」

播磨・但丹で春闘期交流会

青年女性部

泊りで夜まで懇親深める

播磨・但丹の各ブロック青年女性部は、14春闘期に交流会を開催した。職場実態や賃金交渉を話し合い、春闘への結集をはかった。

2月28日、3月1日、新温泉町内で開いた但丹ブロック交流会には、9単組から35人が参加。2日間にわたる分散会では、職場の

現状を話し合い、「部署によって超勤が少ないところがある」との不満に「本来は定時で帰れるのが当然」と応じる場面もあった。

播磨ブロックの交流会は3月20、21日に宍粟市内で

休憩とれない、高温・騒音

尼崎斎場で職場安全点検

阪神淡路ブロック現業評議会は3月25日、尼崎市立弥生ヶ丘斎場で職場安全点検を実施。当該職場の尼崎環境財団職員労働組合の組合員を含め5単組13人が参加した。

現評議長、斎場所長のあいさつ後、当該の組合員から、職員体制や業務内容、労働条件などについての説明を受けた。

ここでは課題として、炊

気づいた点について意見交換を行い、次のような意見が出された。

- ・施設内の殺菌などの注意表示が少なく、通路の安全が確保されていないところがある。
- ・収骨室など、ご遺族が利用する場所で温度が高くなる場所がある。
- ・電気系統の点検に必要な照明が確保されていない。

今後は、出された意見をあらためて現評評事会で議論し、改善の要望を行っていく予定である。

あいさつ後、当該の組合員から、職員体制や業務内容、労働条件などについての説明を受けた。

ここでは課題として、炊

その後、運ばれてきた遺体の受け入れ、遺族が別れをし、火葬骨上げと進む一連の流れとともに作業環境について、詳しく説明を受けながら、危険な個所はないか施設の点検を進めた。

最後に、施設点検を踏まえ、参加者それぞれの



炉の裏を点検する様子



但丹ブロックでの分散会と神戸交通労組青年部との交流会



94年に村山連立内閣発足。95年の阪神淡路大震災、大きな被害を受け、必死で取り組んだ震災復興。しかし、これ以降、震災による財政赤字を口実とした行革合理化のたたかいが続。97年に消費税5%に、99年に多紀郡4町が合併、02年に初の給与引き下げ勧告が出た。

震災当時の清掃職の実態について神戸市環境支部の南典昭支部長に話を伺った。当日は車が動かず、昼間支部事務所へ着くと、全国から「応援に行く」と電話がかかってきた。当時は、災害が起こったときの「マニュアル」はなく、支部

日本の公務員」と題し講演を受けた。参加者からは日本と外国の権利意識の違いや労働組合の影響力の違いに驚いた、などと感想が出た。

神戸交通労組と交流

県本部青年部と神戸交通労組青年部の交流学習会を4月5日、神戸交通労組事務所で開催した。自治労と都市交が昨年6月に統合してから青年部レベルでは初

開き、前兵庫地方自治研究センター理事長の小島修二さんから「世界の公務員と



神戸市従の南さん

所確保した。昼間は車が動かないから、夜10シフトで処分地へ持って行った。し尿は600カ所の避難所、仮設トイレ100基くらい、とりに行けず。パキウム車の応援もついで処理場へ運んだ。

約1ヶ月休みなく、走り回って何とか定曜日収集の形に戻れた。

直営の大切さ実感

阪神淡路大震災からの復興

と当局と話を進めていった。事業所もライフラインが全滅。でも被災者が避難へと続々とやってきていた。クリーンセンターも被害を受け、燃やせな所。街中に出られぬ。避難所のごみもとれない。避難所から仲間が応援に来てくれた。泊る所はない、事業所！

震災後に高齢者独居者宅まで安否確認を行いながらの「ひまわり収集」をはじめた。「ひまわりパトロール」(毎日走っている260台の清掃車が、学校周辺公園等回って子どもたちの安全確認)もしている。「市民救命止」は90%以上取得。応急措置ができる。AEDを事業所に設置。防災も大切だが、減災も大切(特に人命)。災害応援に備え事前に派遣順番を組んで、災害が発生すれば全国に応援に行っている。

将来必ず起きるといわれる南海トラフ地震、津波も心配である。高齢者は逃げ遅れる。震災の教訓、災害応援の経験。うちで何ができるのか話している。自保のサーティエーネットとしての役割を担って南さんは、当時を振り返って南さんは、短く語った「直営でない」と神戸の復興はなかった。」と。

[60周年記念事業]

カンボジア寺子屋事業への支援カンパ

— ご協力をお願い —

県本部はエファジャパンの協力のもと、カンボジアの寺子屋で学ぶ子どもたちに文房具等を贈呈します。ご賛同をいただき協力をお願いします。

組合員 1人100円

最終集約 6月20日(金)

意見交換では神戸交通労組から「統合のメリットは、」などの質問があり、「組合の最大の武器は数」などのやりとりが行われた。

県本部からも神戸交通労組ではどのような活動をしているかを質問、「交流会を開催したり、市民アピールとして、年2回車両をデレインションしたバスを運行している」などの回答があった。お互い積極的に質問しあう有意義な学習会となった。

ZENROSAI NEWS 51734271

基本補償(標準型) + 特約・割引 = あんしん 共済

特約をプラスして、さらに広がる安心! 家計にうれしい割引制度で、掛金がおトク!

じちろう

マイカー共済

自動車総合補償共済

カーライフを応援する、頼れる補償

ご契約にあたっては/シンプレトをご覧ください。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

自治労共済本部

全労連、産別を問わず、保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と幸福を創りだすために活動しています。就業先が不明な方、フリーランスの方は、各就業先へお問い合わせください。

自治ひろこ

1431号

2014. 6. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 2日 第9回執行委員会 (県本部会議室)
- 7日 第17回平和・人権・環境を考える集い (丹波市)
- 9日 自治労公務員連絡会東西ブロック2014
人動方針説明・学習会 (神戸市)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp



少年野球大会に協賛

「自治労カップ」に36チーム出場

県本部は、結成60周年記念事業の青少年育成事業として、県軟式野球連盟主催の「全日本少年軟式野球大会兵庫県予選会」に「自治労カップ」と冠し協賛を行った。

5月3日の開会式当日、県内各地区の子選を勝ち抜いた36の代表チームが、同じく予選を勝ち抜いた学童32チームとともに、尼崎市ベイコム野球場で、力強く入場行進した。来賓の1人として県本部森藤書記長が子どもたちを激励しあいづつした。

大会は3日間行われ、5日の決勝戦で宝塚代表の長尾中学校を接戦で破った、尼崎代表の塚口中学校が優勝した。閉会式で、宮本誠之副委員長が自治労カップ(優勝杯)を塚口中学校に授与した。この自治労カップには24単組の野球部が協賛し、県本部とともに、大会運営を支えていた。



加古川市議会選挙
松崎さんを推せん
6月22日 投票開票

6月15日告示、22日投票開票で行われる加古川市議会選挙で県本部は、組織内候補として「反行革の立場」でともに活動してきた。市民の立場で市民病院の統合計画

画の見直しや、中学校給食早期実現と自校調理方式に向け取り組んでいる。7期目の挑戦となる。

稲美町長 古谷博之さん
無投票で3選果たす
13日告示された稲美町長選挙で、組織内候補で現職

の古谷博之さんが無投票で3選を決めた。

古谷さんは、2期8年間自校調理方式での中学校給食を実現するなどの実績を踏まえ、3万5000人から自立するまちづくりをめざし、地域福祉の充実や商工業、農業の振興を公約としてあげてきた。

小学校に連子
読書を毎日聞き、
かれこれ10年
なる。今日も聞
きながら小学校
2年の教科書に
載っているスイ
ミーの話をもど
思っていた。ス
イミーは小魚で
はみんな赤い。ス
イミーは真っ黒な魚。兄弟
だけは真っ黒な魚。兄弟を
大きなマグロに食べられて
しまい、スイミーだけが助
かる。スイミーは岩の陰に
隠れてマグロに怯えながら
暮らす兄弟をそっくりの赤い
魚たちを見つけ、一緒に
泳ぐと誘うが、マグロが
怖くからと小魚たちは出て
こない。そこでマグロに食
べられることなく自由に海
を泳げるように、みんなで
集まって大きな魚のふりを
して泳ぐことを提案し、小
魚たちはマグロを追い払い
、岩陰に隠れることなく
海を泳げるようになった
という物語。私たち労働
組合も同じように、組合
員みんなが団結すれば問題
解決にもつながる。
これから人動期に向けて
国という巨大マグロに、み
んなで立ち向かっていか
なければと再認識させら
れた。

基本はオルグと学習会



基調講演を行う 松谷副委員長

12単組15人が参加した。冒頭、県本部の宮本誠之副委員長が、「この間、各自治体職場では人員不足が過重労働による精神疾患や東北への職員派遣によって厳しい職場実態になって

いる。改めて人員確保闘争を強化し過重労働の解消につなげていかなければならぬ」とあいさつした。

明石市職労、三田市職労の2単組から闘争を取り組む報告を受け、各単組からは現状の報告を受けた。

執行委員会から問題提起を受け、その後、男女がともに担う組織実態を点検し、議論を深めた。

「全雇用者が占める女性の割合は増加しているが、就労形態を見ると非正規の増加にすぎない」と野角さんは女性の社会進出の内幕を説明した。また自ら非正

規として組合結成、職場改善に取り組んできた経過に触れ、「女性だから、非正規だからと人権が保障されない現状を変えていこう」と結んだ。

組織実態点検では、労働組合のジェンダー監査を参加者で行い、単組や県本部の組織実態点検で、「非正規の組織化ができていない」と工夫が出された。

「部内の掃除やお茶出し」は女性が行っている「非正規の組織化ができていない」と工夫が出された。

「三役に女性はいない」
組織実態点検 議論深める

反行革・組織集會

組合員の声を要求に

県本部は5月17日、加西市で「反行革組織集會」を開催。本多義弘委員長は「学習、交流、意思統一を進めてほしい」とあいさつ。集會基調では、①6月6日統一行動の人員確保男女平等差別統一闘争の強化②給与制度の総合的見直し③阻止への取り組み④単組の強化⑤組織拡大⑥臨職、社協、自派関連団体等」を柱に組織強化④「100万人署名」1人5筆をとりきょうと提起した。

基調講演で松谷尚彦自治労委員長は、「組合員の意見が聞け職場オルグ、簡素なものでも組合ニュースの発行、重要な取り組み課題は必

ず学習会をやる」と、組織力強化の強化を訴えた。

取り組む報告は、2単組から。豊岡市職から、4月に異動、福祉の仕事は初めて、重い仕事を持たされ、月115〜88時間の超勤持ち帰り残業も、うつ病になって自殺。公務が原因と公務災害認定を求め、3月に大阪高裁勝利まで10年以

上かかった。多くの協力署名やカンパ、裁判傍聴の支援にお礼」と、播磨町職から、「組合員の本音を聞くためオルグを実施。事前にアンケートをとり、①固有の問題を洗い出す②世代を超えた問題点を共有化③不足人員の算出超勤、必要人員、オルグ結果はニュースで伝え、意見は独自要求に盛り込んでい

課題として、時間外勤務の縮減を訴えることが人員要求につながる、しんどい職員をつくらぬよう対策が必要と再度確認した。

向けて交流、分科会2では4分科会に分かれて交流した。各分科会の報告は別掲。

いまいち座
俺たちみんなサルだからどうぞ

労働安全衛生集會に参加を
とき 6月17日(火) 午後1時30分開会
ところ 神戸市教育会館
テーマ 過重労働の影響と対策

しこう
地球人

いのちをくらし、平和を守る憲法

改憲でなく、理念の実現を

5・3兵庫憲法集会

憲法施行67年目を迎えた。自治労兵庫県本部は、神戸市勤労会館で「やめる安会実行委員会(事務局)自倍ストップ戦争準備」を



憲法集会で話す河上さん。5月10日大阪府の関西集会で開かれた平和フォーラム

して坂本三郎副実行委員長(一部解放同盟兵庫連委員)が、安倍政権による

平和憲法がつかない危機にある。各地で改憲を許さず憲法を守る運動を進めていこうとあいさつ。

「日本の誇りを取り戻すこと」と強調した。

その後、課題別報告として①労働法制改悪の沖縄基地問題②慰安婦問題の報告が行われた。

最後に「憲法を私自身の手で行く」と宣言し、参加者全員でたたかいを誓い合った。

集会後、参加者は三宮センター街をデモ行進し「平和憲法を守れ」集団的自衛権容認反対」と力強く訴えた。



本部結成60年 2004~2013年

また、この10年で私たちの賃金労働条件は大きく変わった。「50年に1度」といわれた給与構造改革、そして「平成の大合併」である。

超勤完全支給のたたかい。全国に先駆け、99年に合併した篠山市。市職労で初代書記長

の任に就いた酒井和正さんに取材した。「当事者としては、「先駆け」という意識はなかったが、結果的にそうだった。兵庫県内はか富士や鳥取など、全国に講師として招かれた。伝えたかったのは、「合併はスタートするまでが重要なこと」ということ。

勤務手当支給との書面を交わしていたが、瀬戸市長(当時)が反故に、「予算を超える分は支払わない」との態度に出たのである。完全支給を求め、県本部現地調査部を設置しての取り組みもつた。

「県内はもとより、全国の先例として県本部からハッパをかけられていた。町村会交渉から自立した労使関係の構築が問われていた」と闘争の意義を振り返る。「未支給額を計算して、みんなで公平委員会に申し立てた(04年8月8日)。以後、毎月8日を「8の日行動」と位置づけ学習会などを行った。ワッパン着用や各支所での集会など、初めての経験ばかりで大変だったが、完全勝利とはいえないながらも、組織の必要性を実感でき、組織の強化につながったと感じている」

労使協議をしっかりと合併はスタートまでが重要



時間外手当の完全支給を求めて03年8月には本庁前で決起集会を開いた

目的、賃金労働条件をしっかりと労使で協議しておくことだ。

合併後の単組運動で最も印象に残ったのは、時間外手当完全支給のたたかいだ。合併後の混乱や業務の変化によって職員の時給が増えた。市職労は03年に「02年度時間外

が開催され、12単組22人が参加した。この講座の1日目は青年部女性部が企画、県本部の藤原敏也青年部長の提起に続き、第三講座として、徳島県本部の谷西健司青年部長が「職場の問題を改善しよう」と題して、2日目は「自治労共済」入権平和運動について学習した。

第24期労働学校では、8人が終了した。

「気付けなくなる。問題を見抜くためには仲間との討論が必要。苦しい時こそ「外に出よう」と強調した。

その後、分散会で職場実態を交流。参加者からは「他単組の状況を聞き自分の単組の改善点が見えた。」などの感想が寄せられた。

「労路にはいろいろな観光スポットがあるが、最近では築100年たった古い民家を改装したカフェが増えていて、新たな旅路の魅力」と地元をアピールする。

「間違えないよう必死です」

く者が自分の意見を主張しているんだと価値観が変わった」と話す。

「労路にはいろいろな観光スポットがあるが、最近では築100年たった古い民家を改装したカフェが増えていて、新たな旅路の魅力」と地元をアピールする。

県本部では財政を主に担うが、今は間違えないように必死。今後の活躍に期待したい。

「初めて組合事務所へ勤めて働

「初めて組合事務所へ勤めて働

「初めて組合事務所へ勤めて働

労働学校 忙しいときほど交流が必要

「忙しいときほど交流が必要」

「忙しいときほど交流が必要」

「忙しいときほど交流が必要」

「忙しいときほど交流が必要」

「忙しいときほど交流が必要」

新書記紹介 瀬合 宏江さん

「間違えないよう必死です」

県本部書記の瀬合宏江さん。4月に採用された。生まれも育ちも淡路だ。県職労で臨時職員として働いていた経験もあり、「初めて組合事務所へ勤めて働

筆を使った描き方学ぼう

まんがが集団は4月26日、第27回例会を県本部会議室で開いた。長谷川昭三幹事(当時)から、筆を使ったまんがの描き方を学んだ。

長谷川さんは墨と筆を使った制作を日課にしている。素速く数枚描いた長谷川さんは「下書きをしないので、同じ線がない。筆の勢いが魅力」と説明した。

大植賢代表は、県本部のコンクールですそ野を広げようと提案、参加者で確認した。

作品を紹介する長谷川さん

ZENROSAI NEWS 0130208

総合共済 団体生命共済 長期共済/税制適格年金 親子共済 火災共済+自然災害共済 マイカー共済

組合員のみ皆さまに充実した内容の共済をご提供いたします

ご不明な点があれは、まずは組合にご連絡ください

全労済 全日本自治労共済生活協同組合連合会

自治労共済本部 全日本自治労共済生活協同組合

※ご契約にあたっては必ずプリントをご覧ください。

保障のことなら全労済

電車寝過ぎし何度も

過酷な夜勤実態、改善が必要

ナースアクション

衛生医療評議会が毎年 会館において開催し、14 組17人が参加した。飯 組17人が参加した。飯 ショーンを5月31日、私学 田雅子議長(西神戸医療セ ンター)は、冒頭のあいさ つで、「私たち医療労働者 が自ら行動し、発言しない と何も改善しない。職場 地域で声をあげよう」と参 加者に訴えた。

澤本明事務局長の提起で は、「夜勤の苛酷さから、何 度も電車で乗り過ぎしてし まった」「からついてバス に乗れず、タクシーで帰宅 した」など、自身の経験 に触れ、職場改善を訴えた。 また、今日の政治情勢に関 連し、医療労働者が有事の 際に動員される危険性、 組合員の権利を代弁する候 白衣を着て、元町駅前 で看護師と介護士の処 遇改善を訴えた。



伊丹病院労組の4単組が 行った。会場からは「育児 休業者をスムーズに復帰さ せる取り組み(県職労)」「夜 間の入院患者受入に手当支 給(赤穂)」の報告に質問 や感想が寄せられた。

集会後は、元町駅周辺と 大丸前交差点に会場を移 し、市民に向けて看護師と 介護士の労働実態を訴える とともに、労働環境改善に 向けて活動の支援を呼びか けた。

公災認定求め 支援団体を結成 明石アスベスト災害 阪神淡路大震災のれき 処理でアスベストを吸い、 悪性腫瘍や皮膚癌を発症した として公災災害の認定を申 請したが、「公務外」とされ た明石市の職員の遺族 が、決定不服として5月 21日、地方公務員災害補償 基金神戸支部に対し「審査 請求」を行った。

公務災害認定を支援して きた明石市職労によると、 中皮腫はアスベスト吸引引 外で発症することほなく、 震災時のれき処理等によ るものが考えられたいと している。残念ながら職員 は昨年10月にお亡くなりにな ったが、遺族らは、支援 団体を結成し公務災害認定 に向け取り組みを進めてい く、県本部も支援すること を確認している。

証拠開示と事実調べを 再審を求める狭山市民集会

51年前、石川一雄さんが 不当逮捕された5月23日、 「狭山事件の再審を求める 市民集会」が、東京におい て開催された。

集会では、東京高裁、検 察、弁護士による三者協議 の状況が報告され、石川さ んの無実を示す新証拠を提 出、証拠開示と事実調べ、 再審開始を東京高裁へ求め てゆくと、世論を大きく していかうと呼びかけた。



集会後、東京駅までデモ行進した

県本部人権学習会

7月12日(土)午後1時30分

部差差別に基づくえん 罪事件として、早期再審 実現に取り組んでいる狭 山事件。昨年発生から50 年を迎えたことを機に、 ドキュメンタリー映画 「SAYAMA みえない手 錠をはずすまで」が制作 された。

県本部は人権学習会の 一環として、映画上映と 合わせ、狭山事件の歴史 や非民主的な日本の司法 制度などを学習する。 詳細は単組または県本 部まで問い合わせを。

【神戸会場】 神戸市勤労会館
【姫路会場】 姫路勤労市民会館

優勝は三田(野球) 女子バレーは宝塚

阪淡ブロック

阪神淡路ブロック野球大 会が、5月17日と24日、淡 路市で開催され、7単組が 熱戦を繰り広げた。 準決勝を勝ち上がり県本 部大会出場を決めた宝塚市



淡路で行った野球大会

県本部 スポーツ大会

出場めざし各ブロックで熱戦

職労と三田市職労が、決勝 をたたかった。息詰まる接 戦の末、安定感で勝った三 田市職労がサヨナラ勝ちでブ ロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で 開催された。

4チームがエントリー して、2つの県本部出場枠を めざしたかった。変則 宝塚の優勝が決まった。

チーム力で上郡町職がト ーナメントを勝ち上がり切 勝。県本部大会出場の切 手を手にした。もう一枠の出 場権をかけてブロック都市 職野球大会が6月上旬に姫



健闘した上郡の投手

豊病が初優勝(女子) 野球は新温泉が接戦制す 但丹ブロック

但丹ブロック野球予選大 会については5月17日と18 日の両日に新温泉町で開 催し、9チームが熱戦を繰 り広げた。



アタックを決める豊病

試合は新温泉町職対と篠 山市職労が順調に勝ち進み 決戦は豊病対新温泉町職と なり、フルセットの末豊病 病院労組が2対1のセット カウントで激戦を制し悲願 であった予選大会初優勝の 栄誉に輝いた。

果、優勝が加東市職。準 優勝に佐用町職、第3位に 神河町職となった。上位2 チームが県本部大会に出 場。また、前年度県本部大 会優勝の小野市職も出場権 が初回2点を先行すれば その裏山が2点を取りし 返す一進一退の攻防とな ったが、同点で迎えた5回に 新温泉が一挙3点を入れ 7回にもグメ押しした3点に より、11対5の大差で優勝 の栄冠をつかんだ。

決勝に進出、決勝戦は新温 泉が初回2点を先行すれば その裏山が2点を取りし 返す一進一退の攻防とな ったが、同点で迎えた5回に 新温泉が一挙3点を入れ 7回にもグメ押しした3点に より、11対5の大差で優勝 の栄冠をつかんだ。

また、女子バレーボ ール予選大会は善交市内で5月 24日に開催し6チームが出 場、決勝戦は豊岡市職対と 豊岡病院労組のたかいたと なり、フルセットの末豊岡 病院労組が2対1のセット カウントで激戦を制し悲願 であった予選大会初優勝の 栄誉に輝いた。

高まる訴訟リスクに備え、安心して公務に従事していただくための保険です。

自治労の公務員賠償責任保険 スタート

(公務員賠償責任保険+看護職賠償責任保険+薬剤師賠償責任保険)

一般職(事務職の他、農業・土木・電気等の技術職も含みます)の他、毎月15日締切、翌月1日発効
専門職(保育士や社会福祉士、建築士等)も加入できます。

●保険料が現行制度より安く、補償が厚くなりました。
●専門職(看護師・保育士等)の業務に起因する事故も補償します。
●初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償します。

全国署名175万筆を提出

国会前阻止行動も継続

戦争をさせない1000人委員会



日比谷野音には3000人が集まった

戦争をさせない1000人委員会は、集団的自衛権の行使容認の閣議決定強行に反対する集会を6月12日、日比谷野音で開いた。あわせてこの間取り組んできた全国署名175万筆(署名は継続中)を衆参両議長宛に提出した。

主催者あいさつを行ったルポライターの鎌田慧さんは、「戦後レジームからの脱却とは、私たちが築いてきた戦後民主主義を破壊しようという野望だ」と批判。その後、大江健三郎さん、菅原文太さん、香山リカさんなどがかけつけ激励した。



「子どもと楽しく遊ぼう」のワークショップ

現場の思いを支援事業計画に

子ども・子育て支援制度

第31回保育を考えるつどい

県本部は6月22日、豊岡市内で第31回保育を考えるつどいを開催し、230人が参加した。

社会福祉協議会の内海千寿議長は「子ども子育て支援新制度の本格実施が来年4月に迫っている。各単組で学習会を開催し、自分の自治体の子ども子育て支

援事業計画の内容や今後の動きについて当局、協議、現場の思いや組合の要求が反映できるように取り組んでいただきたい。この保育を考えるつどいは、労働組合としての人員確保や非正規職員の処遇改善など職場改善とあわせ、日々の保育に役立つ専門的な知識の研修の場でもある。互いの報告に学び合い、実りあるつどいにしていただきたいと主催者あいさつを行った。また、本多義弘委員長、太

県本部労安集会 「メンタルで休む人多い」

上野さん 予防活動の重要性訴える

6月17日、県本部労働安全衛生集会が開催され、17単組30人が参加した。開会にあたって草本誠之副委員長が、「この集いを機に各単組、職場で労働安全衛生

(労安)の取り組みを進めてほしい」とあいさつした。取り組み報告では、豊岡

市過労自殺公務災害認定闘争の勝訴、明石市震災アセスメント公務災害認定の取り



自治労顧問医の上野さん

講義は、「過重労働が心身に及ぼす影響と対策」と題して自治労安全衛生対策室顧問医の上野満雄さんが行った。上野さんは地方公務員の自殺や心身の疾患、セクハラ、パワハラ、いじめなど職場の人間関係の問題に触れ、労安委員会は、過重労働だけでなく、ハラスメント、環境改善などありとあらゆる内容が議題となる。予防活動としてしっかりとやしてほしい」と訴えた。分談会では、各単組での労安の取り組みを交流した。

試験の仕方は工夫を 雇用は協議が必要

臨職評が対県交渉で確認



追及する臨職評の前田議長

県本部臨職評は6月12日、市町振興課と教育委員会との交渉を行った。交渉には加古川パート分会、三田

嘱託分会、伊丹市職労臨職部も参加。それぞれが抱える問題を訴えた。市町振興課交渉では①試

験制度②空白期間③年休の繰り越し④外部委託などについて訴えた。市町振興課は試験について能力の実証として必要、しかし試験の仕方は各自自治体で工夫できることを助言すると答えた。また、雇用と年金の接続のため、60歳以降の雇用について今年申入書に付け加えた。そして臨職等の任用根拠や処遇について、総務省と本部臨職協との協議を確認事項を、各市町に徹底することや、関係担当者会

議等での更なる徹底を再度確認した。教育委員会交渉では児童の命に係わる多岐のアレルギーや伝染病などの研修が研修を受けられるように各自自治体への助言を求めたところ、教育委員会も助言していると述べた。また外部委託導入による臨時職員の雇用問題は、市の雇用者責任で丁寧な協議が必要、総務省通知の主旨は指導したいと答えた。

南あわじが見事優勝

県本部女子バレーボール大会



優勝した南あわじのメンバー

第36回自治労県本部女子バレーボール大会は、6月14日、丹波市柏原住民セン

ターで丹波市職労協力のものと開催し、南あわじ市職労が見事優勝に輝いた。

大会は、予選を勝ち抜いた県職労神袖、神戸市職労、宝塚市職労、南あわじ市職労、小野市職、加東市職、佐用町職、豊岡市職、豊岡病院労組、丹波市職の10チームが参加し、熱戦を繰り広げた。大会はトーナメント方式で行われ、初戦で前年度優勝の小野市職がセットカウント2-0のストレート負けという展開の中、終始安定した試合運びを進めた南あわじ市職が優勝した。準優勝には佐用町職が輝いた。

じちろう
マイカー共済は
『標準型』から

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全国日本自治労労働者共済生活協同組合

詳しくは組合までお問い合わせください

ベースは『標準型』

組合員とその家族に手頃な掛金で安心を提供する「じちろうマイカー共済」の基本補償が「標準型」。この「標準型」をベースにさまざまな特約や割引、車両損害補償などを組み合わせ、よりニーズにあった補償にできます。

丹波と明石、反核リレーを紹介

分科会 地域の平和運動



報告する右より川崎さん、藤原青年部長、狩郷さん

「地域の平和を考える」は、伊波さんを助言者に迎えて実施。冒頭、3人から報告を受けた。

「担い手づくり」などで交流

県職労の川崎さんは、憲法たんばの取り組みを紹介。情勢にあわせて講演会や映画会を企画し市民にも呼びかけてきた。一定の市民権を得ている」と述べた。明石市職労の狩郷さんは、ピースネット明石のとりくみを紹介。「02年の有事法制化に危機感を覚え、地域レベルの運動がスタートした。現在は、ピースネット明石とピースフェスタ明石が地域を網羅する運動として定着している」と説明した。

県本部青年部の藤原部長は、今年で30年目を迎える反核平和の火リレー運動を報告する。分科会は自治研センターが担当し、集団的自衛権の問題点を考えた。この分科会は自治研センターの理事を務める丹治初彦弁護士の講演を中心に進めた。同氏は、県本部の顧問弁護士であり、刑法への造詣が深い。開会にあたり、同じくセンターの理事に就く大野県本部副委員長が分科会の趣



講演する丹治弁護士

旨を説明し講演に入った。丹治理事は冒頭、安倍政権について、「第一次政権や祖父の政治にも通り解読し祖父の岸総理は改憲論者で戦前体制の復活をめざした。第一次安倍政権は、教育基本法改悪、防衛庁の省へ昇格、国民投票法を成立させたことを報告した。これはもう「保守」ではなく反動」と厳しく非難。立憲主義や法を無視する姿勢は、絶対君主制と言え、「法の体をなさない」と指摘した。

後の討議では、「対抗する具体的方法は」などの発言があり、大野理事からの「企画、提起している1000人委員会への取り組みに結集されたい」をまとめとし、分科会を締め括った。

「平和・人権・環境の集い」分科会報告



「総合的見直し」反対「人権闘争の意思統一」を行った単代会議

安倍首相は7月1日、臨時閣議を開き集団的自衛権行使を容認する決定を行った。平和憲法の柱である第9条を空文化するもので、「戦争には参加しない」と

いう日本の政策を180度転換することとなる。ひよこ憲法集会実行委員会事務局・自治労県本部は2日、この選挙の抗議行動呼びかけ、三宮で

街頭宣伝を行った。県内各地から約100人が集まり、「戦争に参加すると殺し殺されることになる。子どもたちにそんな未来を残していいのか」「国民を抜



きに国の基本政策を変更することは許せない」などと訴えた。閣議決定を受け、今後自衛隊法や周辺事態法など関連法の改正が行われる。国会内外のたたかいは強め、憲法理念を守る必要がある。とりわけ6月に発足した「戦争をさせない1000人委員会・ひよこ」の賛同呼びかけられている。全単組が賛同団体になり、運動を盛り上げよう。

人事院要請はがき集中を

「見直し」で2割以上の格差

県本部単代会議・決起集会

人事院勧告まで大衆行動を背景に人事院交渉を強化していく」と訴えた。県本部としても、「人事院への要請はがき」行動や9日の上京行動、29日中央行動に結集しながら人権闘争を強化していく。「見直し」の問題点

①全国一律の賃金水準の引き下げ、②高齢層の賃金水準の引き下げ、③現業職の賃金水準引き下げなど。人事院は2013年賃金センサスによる比較で、

意意的に民間賃金の低い12県だけを取り上げ官民格差が2ポイント半ばとして全国共通の俸給表水準を引き下げようとしている。2006年の給与構造改革で現在、地域手当の支給されていない地域と東京特別区の間には18%の差があるが、見直してさらに2割以上に格差になる。これ以上の地域間格差は職給格差にも反する。

全単組の賛同団体を

1000人委員会・ひよこ



6月に発足した「戦争をさせない1000人委員会・ひよこ」の賛同団体が呼びかけられています。全単組の賛同をお願いします。

国民ぬきの変更許せない

憲法守る、関連法阻止

集団的自衛権閣議決定抗議

じちろうマイカー共済は『標準型』から

全共済 自治労共済本部

詳しくは組合までお問い合わせください



ベースは『標準型』

組合員とその家族に手頃な掛金で安心を提供する「じちろうマイカー共済」の基本補償が「標準型」。この「標準型」をベースにさまざまな特約や割引、車両損害補償などを組み合わせ、よりニーズにあった補償にできます。

自治ひろこ

1435号

当面の日程

- 4～6日 原水禁・広島大会
- 6日 水の浄水工程と水循環を考えるツアー
(神出浄水場、舞子海上プロムナードほか)
- 7～9日 原水禁・長崎大会
- 9～10日 県本部2014現業評議会総会・各種集會
(舞子ピラ)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

2014. 8. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

職種別分散会で改善点をさぐる

青年女性中央大交流集會



台風の影響により参加できなかった仲間も多かったが、21人が集った。

7月11日、山梨県で自治労青年女性中央大交流集會が開催され、兵庫県内から11単組21人が参加した。基調講演では埼玉大学教授

授の伊藤修さんより講演があった。伊藤さんは「労働時間の規制緩和は労働時間の増加につながる」と政府が推進する規制緩和政策の問題点を指摘した。夕方は文化交流として、中国地連北信地連、関東甲地連から構成の発表があった。

2日目は本集會のメイン開催され、1日かけて同職種の入と職場実態、組合の取り組みなどを交流した。「同職種の仲間と業務の詳細など」を話していき、とても有意義だった。などの感想が出された。夕方には兵庫、秋田、栃木、大分で越県交流を行い、組

8月上旬と見られる人事院勧告まで「人事院総裁宛要請はがき行動」や対人事院交渉を強化しながらたたかいて進めていく。

反対の意見反映
賃金水準確保を
県人妻員会へ申し入れ

県本部は7月18日、県職員とともに「兵庫県人事委員会勧告」に対する申し入れを行った。

兵庫県においては独自のカットが7年目に入り、職



7月9日上京行動での兵庫・近畿の参加者

7月16日に、自治労公務員連絡会人事院が検討を進めている「給与制度の総合的見直し」に対し、最後のたたかいを進めている。7月には全国各地からの上京行動を背景に人事院交渉に臨むとともに、29日には中央行動決起集會を開催し、たたかう決意を表明した。

7月16日に、自治労公務員連絡会人事院と交渉を行った。交渉に先立ち、「給与制度の総合的見直し」に反対する2万3487の職場決議を提出。4月の245万筆の署名とともに、決議の内容を踏まえた対応を強く求めた。

人事院は、「地域間世代間の給与配分を適正に行うことが全体としての組織活力の維持に繋がる」との考

えに終結した。

連絡会は、「特に被災地で復興再生に尽くしている国地方の公務員に対して給与の引き下げは到底士気の向上には繋がらない」と強く抗議した。

交渉では他に、勤労作業の進捗、住居手当や通勤手当などの諸手当、再任用職員などの給与、超勤の削減など労働条件の改善、非常勤職員制度等について質した。

集団的自衛権は断じて認めない

第30回反核リレーがスタート



第1ランナーのメンバー

30回目を迎えた反核平和合の取り組みについて実態を話し合った。

3日目は分散会報告を受けた後、記念講演として人材育成コンサルタントの幸淑さんよりお話があった。講演の中で幸さんは第2次世界大戦で日本は政府のいうことを疑いもせず受け入れたことによりあのような惨劇が起きたと指摘した。「騙された」とも指した。現在も別の嘘に騙されつつある。問題がここにあるのかを見続け、反対の声をあげ続けてほしい」と訴えた。

最後に佐々木伸吾部長の団結ガバナローで集會を終了した。

減り続ける正規保育士

淡路地区保育所学習交流集會が7月15日、淡路市内で行われ71人が参加した。子ども子育て支援新制度の概要と問題点をテーマにブロック事務局の根川美佐男さんの講演があった。本会が、いずれも「正規保育士が減り続け、保護者の多様なニーズに十分答えられない。正規保育士の増員を求め、聞き入れてもら



会場いっぱい集った

えない」などの厳しい職場実態が報告された。

学習会では、「新制度で、消費税増税分の内300億が保育の質の向上に使われる。そのために保育労働者の処遇改善を強く求めて行く」と訴えられた。

減り続ける正規保育士

が3市の組合が団結して、より良い保育環境を確保していかなければならない」とあいさつを述べた。

淡路の蓮川美代子さん、洲本の小川恵美子さん、本田部会長が活動報告を行ったが、いずれも「正規保育士が減り続け、保護者の多様なニーズに十分答えられない。正規保育士の増員を求め、聞き入れてもら



会場いっぱい集った

えない」などの厳しい職場実態が報告された。

学習会では、「新制度で、消費税増税分の内300億が保育の質の向上に使われる。そのために保育労働者の処遇改善を強く求めて行く」と訴えられた。

確保など6項目にわたって申し入れた。



確保など6項目にわたって申し入れた。

で殺されるような社会にしてはいけない」と決意を述べた。

自治労関係では、県本部県職労が激励のあいさつを行った。また、組織内の黒田一美課長は、「まもなく原爆投下の日を迎える。被爆者の思を若い人につなぐでもらいたい」と思いを述べた。

出発式には、民主党、社民党、新社会党からあいさつメッセージが寄せられた。県行政からもあいさつがあった。

午前10時、県庁前を7人のランナーが元気に出発した。

2014年3月期決算で役員報酬1億円以上を明示した上場企業は191社、人数は366人で過去最高。昨年同期より60人増加した(東京商工リサーチ)。円安・株値上昇が寄与し、大手企業を中心に好決算が反映されたと見られる。日産のカルロス・ゴーン社長は役員報酬が9億5000万円(全国5位)と明らかにしたが、株主から「いすぎでは」と指摘もあつた。不可解なのは、純損益1283億円の赤字だった121の平井社長が3億5900万円の高額報酬▼労働者は赤字で賃下げを強要されながら、社長は赤字でも報酬アップ。社長は赤字あり。これこそ「お手盛り」だ▼変わって連合の春闘結果は平均5928円、207%。7月1日。昨年よりは若干上がったものの、この結果がどうなるのか。企業大儲けの一方で、自治体労働者の賃金引き下げがはかまされようとしている。労働者の「怒」の結果はいつになるのか。(誠)

いまいち座

こんなものが出てきた

おやすみ漫

衛生医療評 対 交 渉

「医療勤務環境 改善センター」は情報交換を

人員確保、労働条件改善へ



衛生医療評の交渉団

衛生医療評議会は、県に 対して「2014年度兵庫 県の医療・介護の環境改善 を求める要求書」を6月16 日に提出、7月15日に幹事 など10人で交渉、意見交換 を行った。例年なら健康福 争として年度末に行ってい たが、今回は衛生医療評議 会が、今年度末に交渉書 を提出した。

冒頭、飯田雅子議長が「医 療福祉現場の厳しさは、年々 増している。兵庫県として も責任ある指導をお願いし たい」とあいさつを述べた。

要求書は「医療体制の整 備拡充」と「人員確保と労 働条件改善」に大きくよめ、「看護師業務計画に組合 の意見を反映すること」介 護職の処遇改善を行うこと など」を基本に今後、各 病院に対して医療の充実に 向けて適切な指導が行われ るよう強く要請した。 今年度から取り組まれる 「医療勤務環境改善支援セン ター」の設置については、 現場で働く職員の代表であ る労働組合と十分に情報交 換を行い、進捗状況などの 情報を提供を求め終了した。 また、各自自治体・病院で 取り組みを要請している「医 療提供体制の整備に向けた 「新たな財政支援制度」に 対する要請書」を衛生医療 評としても提出し、県内の 自治体病院診療所への必 要な基金が配分されるよう 要請した。

篠山8回目の優勝 神戸市従と近畿大会へ 県本部野球大会



雨の中、篠山対県職労

7月5日と8日加西市で 第36回県本部野球大会が開 催され、篠山市職労が8回 目の優勝をかざった。 大会には神戸市職労、新 温泉町職労、上郡町職、加

各地域ブロックで新入組合員交流会

若年層は低賃金 阪淡B泊りで交流深める

阪淡ブロックは5月31日、6月 1日、洲本市内で青年女性交流会 を開催した。採用から3年目まで の新規組合員を対象に実施し、4 単組39人が参加した。

アンケートをもとにグループ討 論を行い、仕事の実際などを交流

賃金の基礎を学ぶ 播磨B夜はBBQ

7月4日に神戸市のセンター長 谷で播磨ブロック青年女性部新入 組合員交流会が開催された。



まず賃金学習会として、県本部 書記次長の西岡裕さんを講師に迎 え、賃金の基礎を学んだ。 その後、分散会で職場実態を交 流。比較的時間外勤務は少ないと

縄跳びで汗流す 但丹B 55人が参加

6月20日から21日に、豊岡市の シルク温泉やまびこで但丹プロッ



講演では藤原敏也青年部長が 「新入組合員のみならず」と題 し、労働組合とは何か、どんなこ とをしているかを解説した。 その後、分散会交流が行われ 日々働く中で自分自身がおかし いと感じていることなどを話し合っ た。 また、2日目は「団結縄跳び」 (大縄跳び)が行われ、仲間ととも に汗を流し団結を深めた。

特別割引の案内

明石海峡ぐるり〜んクルーズ

運航日	8月24日(日)	
料金	クルージング料金	特別割引料金
	(大人) 3,900円	3,300円
	(小人) 1,900円	1,600円
	(幼児) 1,000円	700円

申し込み方法 フェリーさんふらわあ予約センター (電話06-6614-1013)へ、直接、お申し込みをお願いします。その際、必ず「コード番号Y(ワイ)の割引です」とお伝えください。 http://www.ferry-sunflower.co.jp/

じちろう マイカー共済

カーライフを応援する、頼れる補償

車両損害補償の

「おすすめ安心タイプ」は

一般補償 + 付随諸費用補償



大切な愛車だから さまざまな損害に備えておきたい。

事故はもとより、盗難、いたずら、身の回り品の損害まで補償!

詳しくは組合まで お問い合わせください

全労済 自治労共済本部

(単位:百円)

Table with 10 columns (1-10) and 35 rows (1-35). Each column contains numerical data representing financial figures for various categories. The table is organized into sections labeled 1 through 10, with each section containing 3 rows of data.



行政職俸給表(一)

Table with columns for grade (1-5), salary type (Basic, Family, etc.), and salary amounts. It lists various administrative positions and their corresponding pay scales.

行政職俸給表 (二)

(単位: 百円)

Table with columns for grade (1-5), step (1-10), and salary. Includes a summary row at the bottom.

給与動告の骨子

○ 本年の給与動告のポイント

月例給、ボーナスともに7年ぶりの引上げ

- ① 民間給与との較差(0.27%)を埋めるため、世代間の給与配分の観点から若年層に重点を置きながら俸給表の水準を引上げ
- ② ボーナスを引上げ(0.15月分)、勤務実績に応じた給与の推進のため勤労手当に配分

俸給表や諸手当の在り方を含めた給与制度の総合的見直し

- ① 地域の民間給与水準をふまえて俸給表の水準を平均2%引下げ
 - ② 地域手当の見直し(級地区分等の見直し、新データによる支給地域の指定見直し)
 - ③ 職務や勤務実績に応じた給与配分(広域異動手当、単身赴任手当の引上げ等)
- * 平成27年4月から3年間で実施。俸給引下げには3年間の経過措置。段階的实施に必要な原資確保のため、平成27年1月の昇給を1号俸抑制

I 給与動告制度の基本的考え方

- ・ 国家公務員給与は、社会一般の情勢に適切するように国会が随時変更することができる。その変更に関し必要な動告・報告を行うことは、国家公務員法に定められた人事院の責務
- ・ 動告は、労働基本権制約の代償措置として、国家公務員に対し適正な給与を確保する機能を有するものであり、能率的な行政運営を維持する上での基盤
- ・ 公務には市場の抑制力という給与決定上の制約がないことから、給与水準は、経済・雇用情勢等を反映して労使交渉等によって決定される民間の給与水準に準拠して定めることが最も合理的

II 民間給与との較差等に基づく給与改定

1 民間給与との比較

約12,400民間事業所の約50万人の個人別給与を实地調査(完了率88.1%)
 * 民間の組織形態の変化に対応するため、本年から基幹となる役職段階(部長、課長、係長、係員)の間に位置付けられる従業員の個人別給与等を把握し官民の給与比較の対象に追加

<月例給> 公務と民間の4月分給与を調査し、主な給与決定要素である役職段階、勤務地域、学歴、年齢の同じ者同士を比較

- 民間給与との較差 1,090円 0.27%(行政職(一)…現行給与 408,472円 平均年齢 43.5歳)

(俸給 988円 はね返り分(注) 102円)
 (注) 俸給等の改定に伴い諸手当の額が増減する分

<ボーナス> 昨年8月から本年7月までの直近1年間の民間の支給実績(支給割合)と公務の年間の支給月数を比較

- 民間の支給割合 4.12月(公務の支給月数 3.95月)

2 給与改定の内容と考え方

<月例給>

(1) 俸給表

- ① 行政職俸給表(一)
 - 改定率 平均0.3% 世代間の給与配分の見直しの観点から若年層に重点を置いて改定
 - 初任給 民間との間に差があることをふまえ1級の初任給を2,000円引上げ
- ② その他の俸給表 行政職(一)との均衡を基本に改定(指定職俸給表は改定なし)

(2) 初任給調整手当

医療職俸給表(一)の改定状況を勘案し改定

(3) 通勤手当

交通用具使用者に係る通勤手当について、民間の支給状況等をふまえ使用距離の区分に応じ100円から7,100円までの幅で引上げ

(4) 寒冷地手当

新たな気象データ(メッシュ平年値2010)に基づき、支給地域を見直し

<ボーナス>

民間の支給割合に見合うよう引上げ 3.95月分→4.10月分
 勤務実績に応じた給与を推進するため引上げ分を勤労手当に配分(一般の職員の場合の支給月数)

		6月期	12月期
26年度	期末手当	1,225月(支給済み)	1,375月(改定なし)
	勤労手当	0.675月(支給済み)	0.825月(現行0.675月)
27年度	期末手当	1,225月	1,375月
	以降	0.75月	0.75月

[実施時期等]

- ・ 月例給: 俸給表、初任給調整手当及び通勤手当は平成26年4月1日
- ・ 寒冷地手当は平成27年4月1日(所要の経過措置)
- ・ ボーナス: 法律の公布日

III 給与制度の総合的見直し

次のような課題に対応するため、俸給表、諸手当の在り方を含めた給与制度の総合的見直しを動告

○ 民間賃金の低い地域における官民給与の実情をより適切に反映するための見直し

- 官民の給与差をふまえた50歳台後半層の水準の見直し
- 公務組織の特性、円滑な人事運用の要請等をふまえた諸手当の見直し

1 地域間の給与配分の見直し、世代間の給与配分の見直し

[俸給表等の見直し]

- ① 行政職俸給表(一) 民間賃金水準の低い2県を一つのグループとした場合の官民較差と全国の較差との率の差(2.18ポイント(平成24年~26年の平均値))をふまえ、俸給表水準を平均2%引上げ。1級(全号俸)及び2級の初任給に係る号俸は引下げなし。3級以上の級の高位号俸は50歳台後半層における官民の給与差を考慮して最大4%程度引下げ。40歳台や50歳台前半層の勤務実績に応じた昇給機会確保の観点から5級・6級に号俸を増設
- ② 指定職俸給表 行政職(一)の平均改定率と同程度の引下げ改定
- ③ ①及び②以外の俸給表 行政職(一)との均衡を基本とし、各俸給表における50歳台後半層の在職実態等にも留意しつつ引下げ。医療職(一)については引下げなし。公安職等について号俸を増設
- ④ その他 委員、顧問、参与等の手当の改定、55歳超職員(行政職(一)6級相当以上)の俸給等の1.5%減額支給措置の廃止等

[地域手当の見直し]

- ① 級地区分・支給割合 級地区分を1区分増設。俸給表水準の引下げに合わせ支給割合を見直し
 1級地20%、2級地16%、3級地15%、4級地12%、5級地10%、6級地6%、7級地3%

* 賃金指数93.0以上の地域を支給地域とすることを基本(現行は95.0以上)

* 1級地(東京都特別区)の支給割合は現行の給与水準を上回らない範囲内(全国同一水準の行政サービスの提供、円滑な人事管理の要請等をふまえて地域間給与の調整には一定の限界)

- ② 支給地域 「賃金構造基本統計調査」(平成15年~24年)のデータに基づき見直し(級地区分の変更は上下とも1段階まで)

- ③ 特例 1級地以外の最高支給割合が16%となることに伴い、大規模空港区域内の官署に在勤する職員に対する支給割合の上限(現行15%)、医師に対する支給割合(同)をそれぞれ16%に改定

2 職務や勤務実績に応じた給与配分

- (1) 広域異動手当 円滑な異動及び適切な人材配置の確保のため、広域的な異動を行う職員の給与水準を確保。異動前後の官署間の距離区分に応じて、300km以上は10%(現行6%)、60km以上300km未満は5%(現行3%)に引上げ
- (2) 単身赴任手当 公務が民間を下回っている状況等をふまえ、基礎額(現行23,000円)を7,000円引上げ。加算額(現行年間9回の帰老回数相当)を年間12回相当の額に引上げ、遠距離異動に伴う経済的負担の実情等をふまえ、交通距離の区分を2区分増設
- (3) 本府省業務調査手当 本府省における人材確保のため、係長級は基準となる俸給月額額の6%相当額(現行4%)、係員級は4%相当額(現行2%)に引上げ
- (4) 管理職員特別勤務手当 管理監督職員が平日深夜に及ぶ長時間の勤務を行っている実態。災害への対応等の臨時・緊急の必要によりやむを得ず平日深夜(午前0時から午前5時までの間)に勤務した場合、勤務1回につき6,000円を超えない範囲内の額を支給
- (5) その他 人事評価結果を反映した昇給効果の在り方については、今後の人事評価の運用状況等をふまえつつ引き続き検討。技能・業務関係職種給与については、今後もその在職実態や民間の給与等の状況を注視

3 実施時期等

- 俸給表は平成27年4月1日に切替え
- 地域手当の支給割合は段階的に引上げ、その他の措置も平成30年4月までに計画的に実施
- 激変緩和のための経過措置(3年間の現給保障)
- 見直し初年度の改正原資を得るため平成27年1月1日の昇給を1号俸抑制

IV 雇用と年金の接続及び再任用職員の給与

○ 雇用と年金の接続

- ・ 公務の再任用は短時間が約7割、補充的な業務を担当することが一般的
- ・ 平成28年度に年金支給開始年齢が62歳に引き上げられ、再任用希望者が増加する見込み。職員の能力・経験の公務外での活用、業務運営や定員配置の柔軟化による公務内での職員の活用、60歳前からの退職管理を含む人事管理の見直しを進めていく必要
- ・ 本院としても引き続き、再任用の運用状況や問題点の把握に努めるとともに、民間企業における継続雇用等の実情、定年前も含めた人事管理全体の状況等を詳細に把握し、意見の申出(平成23年)をふまえ、雇用と年金の接続のため適切な制度が整備されるよう積極的に取組

○ 再任用職員の給与

- ・ 転居を伴う異動をする職員の増加と民間の支給状況をふまえ再任用職員に単身赴任手当を支給【実施時期:平成27年4月1日】
- ・ 本年初めて公的年金が全く支給されない民間の再雇用者の個人別給与額を把握。今後その動向を注視するとともに、各府省の今後の再任用制度の運用状況をふまえ、再任用職員の給与の在り方について必要な検討

自治ひろこ

1437号

2014. 9. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

当面の日程

- 6～7日 第31回自治体に働く障害労働者のつどい (いこいの村はりま)
- 6～7日 第57回平和友好祭兵庫県祭典(養父市)
- 10日 但丹ブロックボウリング大会(豊岡)
- 12日 阪神淡路ブロック淡路地区ボウリング大会(南あわじ市)



キャンプシュワブ前での抗議行動

県本部は7月11日、13日、第16次沖繩視察団を派遣した。13人が参加し、基地の現状や戦野の歴史を学んだ。団長を務めた隅田龍副委員長は、「日常的に上空を戦闘機が飛び交うなど、本土とは異なる現実を通して、平和について考えてほしい」とあいさつした。

視察団は、初日に普天間基地、嘉手納基地などを訪問。北谷町役場では、池原誠町職労委員長に基地返還後のまちづくりについて説明を受けた。

2日目は、首里城(日本軍司令部跡)、ひめゆり資

防衛局が工事強行 反対へ支援と行動を

第16次沖繩視察団

辺野古 新基地建設 反対へ支援と行動を

料館など戦跡をまわった。沖繩訪問中、新基地建設反対闘争が続く名護市建設古で、「新基地着工に向けてのフェイクを搬入」とのニュースが流れた。防衛局が反対運動の阻止行動を避けるため、20日未明、45台のトレーラーを連ねてキャンプシュワブ(米海兵隊基地)に機材を運び込んだ。

20日早朝から現地では抗議行動が続けられ、視察団参加者も有志で合流した。連日行われる住民の抗議行動を排除するため、防衛局はキャンプシュワブゲート出入り口にギザギザの鉄板を敷きつめた。基地建設によって、環境や生活が奪われる住民の表現の自由さえ認めないのだから、政府のこうした暴挙はほとんど報じられていない。政府の基

地公の賃下げ狙う

給与制度見直しを勧告

14人勸と課題

人事院は、8月7日7年ぶりに月例給を1090円・0.7%に引き上げた。その一方で、「給与制度の総合的見直し」と称し、私たちの反対にもかかわらず、給与制度の平均2%引き下げと地域手当の級別区分、支給割合の見直しや高齢階級職員の賃金引き上げなど、27%、一時金を0.15月引き上げる勧告を行った。その一方で、「給与制度の総合的見直し」と称し、私たちの反対にもかかわらず、給与制度の平均2%引き下げと地域手当の級別区分、支給割合の見直しや高齢階級職員の賃金引き上げなど、27%、一時金を0.15月引き上げる勧告を行った。

①民間賃金の低い地域における官民の給与差を踏まえ、俸給表の水準を平均で2%引き下げ
②俸給表水準の引下げに伴い、地域手当の支給割合を見直し(3%～最高20%)

(民間賃金の低い地域の場合) (東京都特別区の場合)

見直し前の俸給水準
新俸給水準
Δ2%
地域手当20%

①月例給の較差1000円・0.7%については、若年層に重点を置いて俸給表を引き上げ(俸給表988円はね返り分1020円)。
②一時金は4月10月(0.15月引き上げ)で、引き上げ分は全て勤続手当に配分(民間支給割合4.12%)。
③交通用具使用者にかかる通勤手当について、使用距離の区分に応じて100、700円の引き上げ。寒冷地手当(香美町のみ)については、水準を維持した上で新たな気象データに基づき支給地域の見直しを行う。級別区分を

直しが行われ、これについては2015年4月1日実施とする。同時に、廃止となる地域について経過措置が設けられた(詳細は別途協議)。

「給与制度の総合的見直し」
①行政職俸給表(以下、行)の水準を平均2%・(0.4%)引き下げ。ただし、級番号「および」級の初任給にかかる号俸は引き下げない。3級以上の級の高位号俸は50歳台後半層における官民の給与差を考慮して最大4%程度引き下げ(その他の俸給表については行(一)の均衡を基本とし、各俸給表における50歳台後半層の在職実態等にも留意しつつ引き上げ(医)は引き下げなし)。
②地域手当は、厚労省の「賃金構造基本統計調査」(2003年)・2012年のデータに基づき見直しを行い、級別区分を

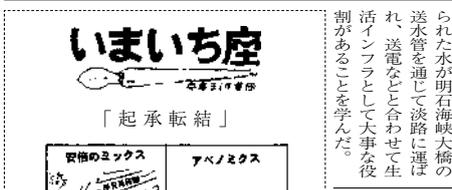
1区分増設し、俸給表水準の引き下げにあわせ支給割合を見直し(ただし級別区分の変更は上下とも1段階区分)とする。
④広域異動手当(単身赴任手当) 本府省業務調整手当などを引き上げ。

今後の取り組み
今後は、政府による勧告の取扱いが焦点。「給与法案」が内閣により提案されるかどうかにかかわらず、公務員連合会は以下の考え方を基本に政府との交渉を進めていく。まずは、本年の官民較差に基づき給与引き上げを確実に実施することを求める。「給与制度の総合的見直し」については一方的な見直しに反対し、公務員連合会との十分な交渉協議を行い、「見直し」勧告報告の実施を見送ることを求める。(勧告の詳細内容は、前号を参照)

浄水の流れを学ぶ 「自治労水週間」でツアー

県本部公営企業協議会は、第30回自治労水週間の取り組みの一環として、8月6日に、大人21人、子ども10人の計31人参加のもと、水の浄水工程と水循環を考えようツアーを開催した。

最初に、兵庫県企業庁の神出浄水場の見学を行い、呑吐ダムなどの水源から、どのようにして水道水ができるのか、ピーカーに濁った水を入れて、実際に使用できか混ぜ、濁りが固まってピーカーの底に溜まっていく様子など、綺麗な



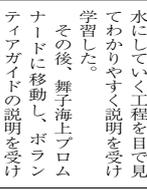
水にしていく工程を目で見てわかりやすく説明を受け学んだ。

その後、舞子海上プロムナードに移動し、ボランティアガイドの説明を受けながら、神出浄水場で行われた水が明石海峡大橋の送水管を通じて淡路に運ばれ、送電などと合わせて生活インフラとして大事な役割があることを学んだ。

最後にトーチの火を納火して、3週間に及んだりレリーヌを終了した。

県内自治体で 800人が走り抜く 平和の火リレー

7月16日に兵庫県庁前を出発した第30回反核平和の火リレーが8月6日15時30分過ぎに神戸市役所前に到着し、到着式が行われた。まず平和友好祭の藤原敬典部長が青年が一体となって反核反核に取り組み意識を高めたいと決意を述べた。来賓として栗原富夫神戸市長が「来年で終戦70年、非核平和方式が採択されて



水にしていく工程を目で見てわかりやすく説明を受け学んだ。

その後、舞子海上プロムナードに移動し、ボランティアガイドの説明を受けながら、神出浄水場で行われた水が明石海峡大橋の送水管を通じて淡路に運ばれ、送電などと合わせて生活インフラとして大事な役割があることを学んだ。

最後にトーチの火を納火して、3週間に及んだりレリーヌを終了した。

いまいち座
「起承転結」

安徳のメッス アベノメッス

安徳の身 康子 スクニノヘア

吉田ノボ

現評の学習会でグループに分かれて模擬団交交渉相手の総務部長・課長は現評議長や事務局局長が務める当局側より手引引き下げの提案。市の財政状況、国・県の指導、議会の動きなどがあり、本来なら廃止を望むが、現場の厳しい状況もわかっていて、半減は未確定で、理解を促すというのあり。内容が組合側から、財政状況を踏まえたは、削減は未確定でなく、上の方をやり、毎日きつい、危険な仕事をしている。手当を半減、仕事の価値も半分になったのか。危険な仕事をしていると、議分に説明しては。事故をなくし、職場を安全にしてから提案して。財政が理由なら、好転すれば戻しにくいのか、僕らの思いを理解してほしいと、切実な訴えと怒りの声。時間関係で団交は途中まで。団交の続きは、一時的実施をさせず、減額阻止(現業、公費統一闘争で頑張ろうとまとめた。(上)

7月に公企評を結成

36協定締結、議長に吉谷さん

但馬丹波ブロックでは、県本部方針に基づきブロック連携した取り組みを進めてきた。3年前より交流会を開き、今年3月7日の交流会では役員体制を協議し、更に5月23日の交流会において具体的に幹事会制について確認する中、7月18日に新温泉町「ゆめ春来」において、水道下水道等公営企業職場で働く各単組組合員を中心に、但馬丹波ブロック公営企業評議会(略称「但丹ブロック公企評」)を結成した。



ブロック旗を掲げる吉谷議長と古谷事務局長

今後、但丹ブロック公企評として総会方針に基づき、①幹事会を開催し各単組の職場実態交流を行う②職場安全点検活動の実施③県本部公企評の各種集学習会への積極的参加④単組での「苦情処理共同調整会議」の設置⑤36協定の締結、をめざし取り組みを進めることと確認した。

なお、ブロック公企評二役については、議長に豊岡市職労の吉谷藤昭さん、副議長に丹波市職労の荒木敏明さん、事務局局長に篠山市職労の古谷重樹さんを選出した。

神戸市従が全国大会 南あわじ、篠山は惜敗 近畿地連スポーツ大会



優勝した神戸市従のメンバー

第36回自治労近畿地連スポーツ大会が、8月4～5日にかけて、京都市で行われた。

バレーボール大会は、ハンナリーザアリーナで行われ、南あわじ市職労は1回戦で東近江市職労と対戦し、接戦の末、セットカウント1対2で敗れた。結果、豊中市職が優勝した。

野球大会は、わかさスタジアム等で行われ、篠山市職労は1回戦で自治労寝屋川と対戦し2対4で惜敗した。神戸市従は決勝戦で自治労寝屋川に、5対1で勝利し、2年連続3度目の優勝を果たした。優勝した神戸市従は、9月に北海道で開催される全国大会への出場権を獲得した。

「真摯に対応」を確認 尼崎市バス民間移譲問題

尼崎市は、市営バス事業について2016年3月末をもって一括して民間事業者に移譲することを決定し、その準備が進められている。しかし、事業移譲まで2年を切っているにも関わらず、ほとんど職員の出遇に関する協議が行われておらず、不安を抱えながら働

会議を設置し、8月19日には、県本部市交評、尼崎交通労組連名で有川康裕事業管理者に対して「尼崎市交通局事業民営化に関する要求書」を提出した。

提出にあたっては、五百旗は「職員の不安を私しよく見ておられ、誠意ある対応を強く求めると厳しく申し入れを行い、当局からは、「真摯に対応を進めていく」との回答を引き出し、早急に具体的な協議を進めていくことを確認した。

テーマは「落書き、似顔絵」 県本部まんがコンクール募集中

- ①テーマ 「似顔絵」「落書き」
- ②応募メ切 9月19日(金)
- ③応募対象 組合員、組合員の家族、退職者
- ④賞金 入賞者には、商品券を贈呈
- ⑤作品規格 B5版。1コマ・4コマ自由、カラー・白黒 各自由
- ⑥応募点数 1人3点以内
- ⑦作品送り先 県本部教宣部まで

阪淡ブロック (水道)ボルトや夜間照明 安全衛生委の開催(給食)

阪神淡路ブロックでは、水道部会が7月25日に尼崎市神崎水場で、現業評議会が8月7日に淡路市給食センターで、それぞれ職場安全点検活動を実施した。

神崎浄水場(写真)では、施設概要、安全衛生の取り組みの説明を受けた後、各施設を巡視。参加者からは、フェンスのボルトの老朽化や夜間照明について指摘があった。安全衛生委員会の定期開催や各施設の安全対策など、他施設の模



神崎浄水場(写真)では、施設概要、安全衛生の取り組みの説明を受けた後、各施設を巡視。参加者からは、フェンスのボルトの老朽化や夜間照明について指摘があった。安全衛生委員会の定期開催や各施設の安全対策など、他施設の模

各ブロックで職場安全点検

7月17日に播磨ブロック医療評は高砂市大病院で点検活動を実施した。はじめに高砂市職より病院の概要について説明を受けた。診療科目19科で一般病棟は2010年竣工の新しい施設となっており、ICUやCCU、人間ドック、緩和ケアなど合わせ、全体で290床となること。概要説明の後、ブロック医療評幹事を病院内の点検活動を実施した。この施設は、院内保

意喚起の表示の少なさなどについて意見が出された。今後は各部会の幹事会で活動を経験し、成果の活用を協議する予定である。

廊下に物が多い(病院) 播磨ブロック

274床ありICUやCCU、人間ドック、緩和ケアなど合わせ、全体で290床となること。概要説明の後、ブロック医療評幹事を病院内の点検活動を実施した。この施設は、院内保



この施設は、院内保

結露対策を(水源地) (給食)台車の改良必要

但馬丹波ブロックでは、公営企業評議会が7月18日に新温泉町新市水源地の点検を実施した。この施設は無人の施設であり、機械設備を中心に点検を行った結果、室内は明るく、全体的に照度が保たれており室内通路は整理整頓がされている。また、現業評議会は8月6日に豊岡市出石中学校給食センター(写真)の職場点検活動を実施した。この施設は昨年稼働した新施設であり、機械設備を中心に点検を行った結果、適正な空調管理のもと、調理室出入口には自動ドアが完備され、動線が動きやすいように設計されている。一方、一部通路についてコンテナ搬入時に接触した跡が

公務員賠償責任保険制度

地方公務員の訴訟リスクは、ますます高まっています。

保険料・補償内容(支払限度額)	タイプS (30万円)	タイプA (100万円)	タイプB (300万円)	タイプC (500万円)
年間の保険料	7,440円	6,240円	5,040円	3,840円
法律上の損害賠償金	3億円	1億円	5,000万円	3,000万円
訴訟対応費用	500万円			
知事対応費用	500万円			

2013年度制度改定のお知らせ

- 国民生活センターによる監督委員の選任
- 地方自治法243条の2第1項により事務官の職務を兼任する
- 国家賠償法第2条により4,000円(従来100万円)の賠償責任限度額を引き下げます。
- セワハラ・パワハラ等の被害者に対する救済措置を強化します。

加入対象者は自治労兵庫県本部かつ地方公務員団体または特定地方独立行政法人(公務員型)に所属する職員(特別職、教員、警察官は除く)となります。

● 加入期間 2013年10月1日午後4時～2014年10月1日午後4時まで

● 加入受付締切日 2013年9月13日(金)

12月17日 「高砂市職不当処分撤回」を求め決起集会

播磨プロック共闘会議は12月17日、高砂市役所南庁舎内会議室で「高砂市職不当処分撤回闘争決起集会」を開催した。国による給与削減強制問題で各単組が交渉を行っていた今年6月、高砂市当局は「一律7.5%カットを行う」との回答に終始した。年収ベースで換算すると若年層のカット率の方が高くなることから、高砂市職は国と同様に「若年層に配慮したカット率」を求めたが、当局は一律カットに固執。やむなく同市職は1時間ストライキを行った。

果本部、播磨プロック、市職の三者で6月24日に市長へ申し入れを行い、7月23日には「双方が検証・総括したうえで労使関係の構築について協議する」と文書回答があった。しかしその後の協議がなされないまま、当局は9月27日、委員長(当時)に戒告をはじめ組合員247人に処分を発令した。11月18日、三者は交渉を申し入れたが、指定日が過ぎても協議日時の設定すら行われず、今回の決起集会にいらした。

集会を目前に控えた12月16日、当局から「副市長との協議を持ちたい」との打診があり、播磨プロックの宮本誠之議長、市職労の山下忠之委員長、石野功書記長で協議を行った結果、副市長から交渉日程の遅れに列する謝罪と「市長交渉を設定する」との回答を受け、17日の屋外集会を屋内に変更して実施した。



労使対等の原則を無視するな!

播磨管内から22単組99人が駆けつけ、会場を埋めた。

果本部の本多義弘委員長は、「若年層を守る」という組合の主眼は当然、団結を強化し、粘り強くたたかおう」と激励のあいさつを行った。播磨プロックの宮本議長は、先日の副市長との協議で、①当局の説明責任が果たされていない②合意に向けた努力が行われていない③職員は7.5%カットにもかかわらず市長は5%カット。ストに追い込んだ市長の責任の所在④自治労の全国闘争として取り組んだ結果、労使合意の努力を行わず、ストに追い込んだ市長の責任のみ。事の重大さの認識を、と4点にわたって訴えたことを説明した。市職労の石野書記長は、「給料を勝手に下げて、文句をいえば処分という理不尽な手法がまかり通れば、今後働く者の権利はどうにでもできることになる。労使対等の原則を無視した市長の姿勢は大きな問題」と、闘争の根柢を強調した。

中播地区(神河町職)、西播地区(宍粟市職労)、北播地区(加東市職労)の仲間が、「高砂市当局は労使対等をわかっていない」「他の自治体は若年層に配慮している。当然だ」などと、高砂市職のたたかいを激励した。

【決起集会で確認した決議文】

決議文

高砂市当局は、国からの要請を受けて独自の全員一律7.5%カットを労使の合意なく市議会に強行提案したため、高砂市職は6月14日に1時間ストライキを実施した。

東播磨においては他の各自治体では削減措置を行わなかった。また、県下においても他の単組は緩和措置を取るなどして労使合意で決着している。交渉において高砂市職は削減やむなしと譲歩し合意点を見出そうとしたにもかかわらず、「全員一律削減」という組合として到底呑めない提案に固執した高砂市当局の姿勢を疑わざるを得ない。

ストライキ後、果本部、播磨プロック、高砂市職は連名で高砂市長に対し、「協議の場を設定し、今後に向けた誠意ある対応を」申し入れた。副市長名で「新たな関係の構築についての協議を行うことについて同意します」と回答したにもかかわらず、その後一切協議も行わずに、9月27日に突如として高砂市職の当時の委員長に戒告をはじめ組合員247人に処分を発令した。ストライキに至った理由は、交渉で何ら具体的な譲歩案を示さなかった高砂市当局にあり、市長と市職の責任を取らずに組合員のみ処分を押しつける事は許すわけにはいかない。

そもそも交渉において、労使は対等の立場であり、労働条件の一方的な不利益変更は不当労働行為である。高砂市の一方的な賃金カットは使用者としての高砂市長の責任が問われる。高砂市当局は労使正常化に向けた努力を行うべきであり、早期に組合との交渉に忠じなければならぬ。自治労播磨プロックは、高砂市職の「処分撤回と一方的な賃金カットの復元」を求めたたかいに連帯し、ともにたたかいをすすめていく。

以上、決議する。

2013年12月17日
自治労播磨プロック 共闘会議